

年ふりた…… 27号

- 929 『エコー』1938年6月号(370号) 長田恒雄▷32頁、表紙
写真・門拳／空の随筆／流行時評／創作・てれん・てくだ(城
昌幸)他、少シミ少疲 1938 三省堂書店 10,000
- 930 『エコー』1938年7月号(371号) 長田恒雄▷32頁、北園
克衛／木山捷平／水木洋子／河野鷹思／創作・冷徹無比(高橋
新吉)他、擦れ少シミ 1938 三省堂書店 12,000
- 931 『エコー』1938年8月号(372号) 長田恒雄▷32頁、野長
瀬正夫／「別れのブルース」夜話(藤浦洸)／音楽時評他、少シミ
少疲 1938 三省堂書店 10,000
- 932 『エコー』1938年11月号(375号) 長田恒雄▷32頁、金子
光晴／伊波南哲／感覚通信／創作・進水式(中村地平)他、少シ
ミ少疲 1938 三省堂書店 10,000
- 933 『新文学』1946年1月号 菅守常▷68頁、藤澤桓夫／室生犀
星／上林暁他、ヤケシミ疲／個人印 1946 全国書房 800
- 934 『新文学』1948年1月号 齋藤菊太郎▷74頁、秋声の文学
碑(廣津和郎)他、背下痛／シミ／不美／2頁ヘン 1948 全国
書房 800
- 935 『新文学』1948年3月号 齋藤菊太郎▷60頁、特集ヴォル
テール研究／三島由紀夫／網野菊他、少シミ少疲／個人印
1948 全国書房 1,000
- 936 『新文学』1948年11月号 齋藤菊太郎▷64頁、キク・ヤマ
タ／眞鍋呉夫他、少シミ少疲 1948 全国書房 1,000
- 937 『新文学』1949年2月号(6巻2号) 齋藤菊太郎▷96頁、国
会図書館旧蔵印／「索引済」印／少シミ少疲／1頁8センチ裂
1949 全国書房 2,000

ご注文に際して≫

□凡例……

- ◇は、新書・文庫判であることを表す。
〔 〕は、小間の注記を表す。



Kanazawa Bumpokaku
金沢文圃閣

2024年7月迄有効 頒価440円(切手可)

◎ 920-0867 金沢市長土堀2-16-30

◎ Tel 076-261-8884 / Fax 233-3111

◎ Email / kabumpo@beach.ocn.ne.jp

- 目録掲載書籍は、その性質上在庫1点限りのもの
ですので、お早めにご注文ください。
- 初発目録発送後、約10日後抽選いたします。
- ご注文は葉書FAXメール等でお願いたします。
往復ハガキによるご注文以外は、売切の場合の
ご返事はご容赦ください。
- 公費でご注文の際は必要書類・書式などを
あらかじめご指示ください。またご担当者の
部署・お名前をお書添え下さい。
- ご送品はメール便・宅配便にてお送りします。
送料は実費を頂戴いたします。
- 価格税別。代金は着本後、同封の郵便振替用紙・
銀行口座にてお願いいたします。
- 2023年8月末までにご注文の方……
消費税サービス申し上げます。

- 1 『学芸手帖』1958年2月号(雑誌) 民間伝
編編集部・戸田謙介編▷36頁/並、竹内
正一「引揚げまで」/長谷川瀧「ソヴェート
映画雑感」/青木実「新刊展望」他、少ヤケ
少疲 1958 六人社 1,200
- 2 事件報道の手引 北国新聞社編集部▷17
頁 1985 北国新聞社 1,500
- 3 猿児好日 小西賢一▷カバ221頁/並、一
九三六年南滿洲鉄道(株) 営口医院に就職/
一九四三年帰国後梶井重雄に師事、極少疲
1995 北国新聞社 1,500
- 4 『自分史虹の中へ』1999年5月(33号)
(雑誌) 自分史同好会編集室編▷76
頁/並、石川製作所の頃/山口幸夫「『文
華』創刊を偲ぶ」/パヴァ・ニューギニアへ
の慰霊友好親善の十日間他、少シミ少疲/少
えんびつ 1999 石川県教育文化財団 1,500
- 5 杉並区立図書館電算システム説明資料▷
B4判・11枚/図書館学研究者旧蔵書入れ、経
年劣化 1984年か 1,500
- 6 目黒区図書館情報システムの概要目黒区立
守屋図書館改築の概要(資料) 東京都目
黒区立守屋図書館▷B4判・15枚、経年劣
化 1991 東京都目黒区立守屋図書館
2,000
- 7 「図書館システム構想」についての中間報
告(1981年1月30日) 目黒区図書館連絡
会▷26頁、「図書館システム」を検討課題
とした理由他、少朱/経年劣化 1981 目黒
区図書館連絡会 3,500
- 8 「図書館システム構想」について(1982年3
月31日) 目黒区図書館連絡会▷60頁/
並、守屋図書館の内部改装についての検討依
頼書および回答他、経年劣化 1982 目黒区
図書館連絡会 6,500
- 9 八雲・東が丘・柿の木坂地域の図書館建設
運動資料(1990年5月1日) 八雲・東が
丘・柿の木坂に図書館をつくる会▷38
頁、2頁朱 1990 八雲・東が丘・柿の木坂
に図書館をつくる会 4,000
- 10 『レコード新着案内』1983年7月(1号)
(雑誌) 品川区立品川図書館▷12頁、
ヤケ 1983 品川区立品川図書館 1,500
- 11 団体貸出ー最近の本から 品川図書館団体
▷13頁/並、団体室の利用案内図、経年劣化
1983 品川図書館団体 3,000
- 12 八雲子ども図書室利用者アンケート報告書
(1991年8月) 八雲・東が丘・柿の木坂に
図書館をつくる会事務局編▷16頁/並、
良くないところーマンガが少ない、経年劣化
1991 八雲・東が丘・柿の木坂に図書館をつ
くる会 2,000
- 13 利用者実態調査ー1983年11月実施アンケー
ト報告 品川区立五反田図書館▷20頁/
並、レファレンスサービス/職員についてー
「仕事はそう面白いこともないでしょうが、何
か活気のない表情の方がいらっしやいます
ね。(主婦)」、少ヤケ 1984年か 品川区立
五反田図書館 3,500
- 14 中学生の読書 東京都品川区立五反田図書
館▷20頁、定期的に買っている雑誌/自由
意見ーB.G.Mなどを時々ながしてほしい・親
切にしてほしい・あまりいい所じゃない・不
愛想(8件)、少ヤケ少疲 1983 東京都品川
区立五反田図書館 6,000
- 15 『学生通信』1958年8月15日号(雑誌) 宮
沢国広編▷4頁、感銘をうけた本/ベスト
セラーに反発ー健全な読書傾向/好きな作
家、ヤケ疲痛 1958 三省堂 2,200
- 16 印刷界の内幕 船山豪/現代企業研究会編
▷94頁/初裸本/並、少シミ少疲 1978 現
代企業研究会 4,000
- 17 下中弥三郎遺歌選集 下中弥三郎▷120
頁/並、「かへりみて/くひなし」世界大百
科/世にこれにしく名著はあらじ」、極少疲
経年劣化 1962 下中弥三郎伝刊行会 800
- 18 『北國文化』1950年6月号(53号)(雑誌)
浜中助三郎編▷88頁、高谷敬「取次商売
繫盛記一本の卸業」、少シミ少疲/頁下少欠
1950 北国新聞社 2,500
- 19 テレビを楽しむ人のために 永野譲編▷
223頁/カバ/並、合理的なテレビの買ひ方、
選ひ方/あなたのテレビを美しく見るには
他、ヤケ少疲 1959 ラジオ科学社 1,200
- 20 くろはえ(歌集) [著者「講談社」専務
他] 尾張穂草▷245頁/初箱、「少年俱
楽部」編輯長/印刷工場/大陸の旅他、箱シ
ミ 1953 大日本雄弁会講談社 1,000
- 21 『ノック・ノック』1983年2月(見本雑誌)
島村栄一編▷20頁、こんな英語雑誌がほし
かった!/40万人以上の人たちがTOTTO-
CHANを読んだ!/英語を楽しむ雑誌/ご期待
ください!、少シミ少疲 1983 創元社
3,000
- 22 新聞をどう読むか(BIG BACKS) 武田
勝彦▷233頁/初カバ、ユニークなコラム
の<ラジオ週評>(読売)/貴重な雑誌情報
<マガジン>(毎日)/新聞小説と連載もの
の読み方/マッカーサーを熱烈に賛美した「朝
日」の社説他、少シミ少疲 1978 講談社
800
- 23 『キング』1957年5月号(雑誌) 原田裕福
▷350頁、大島康正「週刊誌文化と現代の世
相」/田中寿美子「戦中派独身婦人の実態」
他、少シミ少疲 1957 大日本雄弁会講談社
1,500
- 24 サンデー毎日十人集 サンデー毎日編集部
編▷428頁/重版裸本、宇井無愁「ヤミの
英雄」/付・大衆芸芸募集史他、少シミ少疲
1948 毎日新聞社 800
- 25 『グッドリッチ』1935年3月[横浜ゴム]
(雑誌) 島崎敬夫編▷20頁、後藤元治
「雑誌グッドリッチ発刊満三周年を迎えて」/
ダットサン三年新形発表/グッドリッチ写
真ニュース/漫画他、頁3枚3×3センチシミ
1935 横浜護謨製造 4,500
- 26 『秋田』1935年12月号(雑誌) 鷲尾よし
子編▷88頁、安達元之助「離村婦人の指導
を」/台湾実業界三人男他、記名/少シミ少
疲 1935 月刊秋田社 1,500
- 27 『秋田』1936年1月号(雑誌) 鷲尾よし子
編/福田豊四郎/岸田國士他▷109頁、
『新潮』社長・佐藤義亮「初日の出」、記名/
少シミ少疲 1936 月刊秋田社 2,500
- 28 『作家群』1936年4月号(雑誌) 打木保
綱/上田廣/『早稲田文科』森田素夫/平
林彪吾他▷74頁/並、珂珙粧二特輯号他、
少シミ少疲 1936 作家群社 2,000
- 29 『隨筆雑魚』創刊号、2、4、6、8、10、11
号、不揃7冊分(1962〜64年)(雑誌)
雑魚編集部編▷厚さ1センチ/1962年12

- 月／1963年2、5、8、11月／1964年3、5月、狩野鐘太郎「老父の戦災手記」／宮川一正「太宰治」他、少シミ少疲／記名／1冊トジ痛 1962～ 雑魚編集部 3,000
- 30 歳月の滓（川上喜久子遺詠・遺稿集）川上洗編／滋賀瑛子編 ▶ 75頁／並上、「一九四二年陸軍報道部の女流作家南方派遣の話が決まり…」／日記帳より／年譜他、極少疲経年劣化 1986 川上洗／滋賀瑛子 5,000
- 31 『日本海政経レポート』1982年3月（321号）〔発行地・金沢市〕（雑誌）木道茂久編 ▶ 12頁、回想・四十五年／ふたりの大記者一わが師・名主事 鴨居悠氏／颯爽たり！青年編集長一恩師第一号／辻豊次氏、少シミ少疲 1982 日本海経済研究所 6,500
- 32 『サブ』季刊3号（1971年10月）（雑誌）小島素治編／横尾忠則／浅井慎平／本間健彦／辻まこと他 ▶ 142頁、特集・世紀末としてのファッション／富士正晴「同人雑誌VIKING 小史」他／鈴木均「戦後私史的ジャーナリズム論—セールスマン回顧録（平凡社）」「世界大百科」、ヤケ大少痛 1971 サブ編集室 15,000
- 33 『日本乃日本人』1911年6月1日～1915年10月15日号、不揃4冊分〔表紙「発売禁止」ペン書／ラベル「禁閲」〕（雑誌）八太徳三郎編 ▶ 厚さ3センチ／1914年3月15日／1915年10月1日、玉石同架—新刊寄贈雑誌他、印／シミ疲／1冊トジ穴 1911～ 寄教社 8,000
- 34 『文庫』1904月2月（雑誌）木下洋真編 ▶ 278頁、地方新聞の初刷／苦学生「感ずべき書肆（金港堂）」／熊井秋菊「書籍売出し店頭雑記、ヤケシミ疲 1904 内外出版協会 2,500
- ◎
- 35 『俳樹』1930年2月号（雑誌）鈴木源吉編 ▶ 32頁、報知吟社の鳴雪翁／武田鶯塘「中外俳壇の創始者として」、個人印／少シミ少疲 1930 俳樹発行所 1,500
- 36 『新若人』1944年4月号（雑誌）池田佐次馬編 ▶ 106頁／並、横井保平「戦死の哲学」／口絵「農村に戦ふ学徒」／新若人文芸他、少シミ少疲 1944 旺文社 2,500
- 37 『新若人』1944年7月号（雑誌）池田佐次馬編 ▶ 74頁／並、宗宮寛「研究動員に於ける基本問題」／杉山謙治（外学徒兵及遺族）「学徒兵通信」他、少シミ少疲 1944 旺文社 3,000
- 38 『新若人』1944年8月号（雑誌）池田佐次馬編／石田幹之助／中山巍他 ▶ 74頁／並、早大錬成部長・杉山謙治他「学徒勤労働員への期待（座談会）」、少シミ少疲 1944 旺文社 3,500
- 39 『大阪文学』1943年8月号（雑誌）田島義男編／青山光二／安西冬衛他 ▶ 48頁、織田作之助「大阪出身作家研究」／杉山平一について」他、少ヤケ少疲 1943 輝文館 4,000
- 40 『北辰』1942年7月（151号）（雑誌）伊藤武雄編 ▶ 118頁、松本亨「日本文化試論」／西義之「創作・蟋蟀」他、個人印／少ヤケ少疲 1942 第四高等学校北辰報団 1,800
- 41 『女学生文芸』1928年2月創刊号（雑誌）菊嶋善右衛門編 ▶ 160頁／並、懸賞大募集／神戸市親和高等女学校々長・和田豊「他山の石」／作文・モダンガールについて、少シミ少疲 1928 東亜之日本社 18,000
- 42 『叢蘭』1927年4月号（1巻3号）（雑誌）内野善三編 ▶ 54頁、佐野保夫「ポーの生涯と其の作物」／叢蘭文壇他、ヤケシミ痛／資料ナラ可 1927 仁風社 3,000
- 43 『東京新人作家協会文芸誌—自由人』1931年6月号（雑誌）中村美佐雄編 ▶ 30頁、少シミ少疲 1931 東京新人作家協会文芸評論社出版部 3,000
- 44 『きやうだい』1933年1月号（42号）〔発行地・京都市〕（雑誌）寺川湛然編／亀川教信（龍谷大学教授）他 ▶ 32頁、北米開教総長・増山顕珠「最後の勝利」、少シミ少疲 1933 きやうだい社 2,500
- 45 『少年倉庫』2号（1931年11月）〔発行地・石川県大聖寺〕（雑誌）吉井啓伍編 ▶ 34頁、学級の組織／第一回学芸会／作文／童謡／自由詩他、ヤケ疲 1931 大聖寺小学校五ノ二学級自治会 6,000
- 46 『名勝の日本』1929年3月～1930年7月号 揃、17冊分（12～28号）（雑誌）河崎松太郎編 ▶ 厚さ5センチ／1929年4、5、6、7、8、9、10、11、12月号／1930年1、2、3、4、5、6月号、大連神明高女・中沼美育「母国見学旅行記」／長南倉之助「台湾北部の名勝を巡りて」／坪谷水倉「台湾蕃界の桜の名所」／武蔵野自動車旅行記／小石川非道「旅行漫談の産れた夜の話」／帝都の復興と史蹟名勝天然記念物／宮音松「東京市内電車考古」／団体旅行の増加に際し旅館業者に望む他 1929～ 名勝の日本社 85,000
- ◎
- 47 緑地帯（隨筆集）林政武／高橋寛吉編 ▶ 318頁、その頃の雑誌『大学評論』（1916年）／北國毎日新聞夕刊紙上に連日執筆…、個人印／少ヤケ少痛 1941 北國毎日新聞社 1,000
- 48 『共助』1917年12月（47号）（雑誌）▶ 74頁超、改刊の劈頭に当りて／平尾丹治「広告に就て」／陳列館販売品案内／木工品展覧会／図案及応用作品展覧会景況／出品者住所氏名、シミ少疲背痛 1917 石川県物産陳列館内出品人共助会 30,000
- 49 『共助』1918年5月（48号／九谷号）（雑誌）▶ 70頁、九谷号発刊の辞／九谷陶工史／九谷名工及業者略伝／陳列館出品品「九谷焼新販売品案内」他、シミ痛／資料ナラ可 1918 石川県物産陳列館内出品人共助会 40,000
- 50 『きやうだい』84～91、98、99、101、102、106、107、123号、不揃15冊分（1936年7月～1939年10月）〔発行地・京都市〕〔布教／本願寺他〕寺川美根子編 ▶ 厚さ3.5センチ／旧蔵者糸綴合本／1936年7～1937年2、9、10、12月／1938年1、5、6月／1939年10月号、創刊七周年を祝福して／アメリカ開教使・寺川抱光「落ち葉」／大日本同心聯盟とは何か、慰問袋の中へきやうだい誌を入れて贈られる方が随分沢山／台湾きやうだい、篠生光「人情小説—荒波の音」／陣中のきやうだい—舟本伊沙緒（富山出身）「事実小説—大陸の聖愛」、3冊余白少欠 1936～ きやうだい社 38,000

- 51 『The Current of The World (ザ・カレント・オヴ・ザ・ワールド)』1941年12月号(雑誌) 世界時潮研究会編 ▶ 162頁、山県五十雄「森鷗外、若松賤子、及び其の他の翻訳家」/和文英訳練習欄/大戦に因める新語他、少シミ少疲 1941 英語通信社 4,000
- 52 『The Current of The World (ザ・カレント・オヴ・ザ・ワールド)』1941年12月号(雑誌) 世界時潮研究会編 ▶ 146頁、清澤淵「明治外交の語学」/重慶に饑民の群(グラフ)/第一回カレント関東読者会記録他、少シミ少疲 1941 英語通信社 4,500
- 53 『The Current of The World (ザ・カレント・オヴ・ザ・ワールド)』1942年3月号(雑誌) 世界時潮研究会編/花園兼定他 ▶ 146頁、Roy Budoni(台北)「比島俘虜訊問記」/和文英訳練習欄他、少シミ少疲 1942 英語通信社 4,000
- 54 『The Current of The World (ザ・カレント・オヴ・ザ・ワールド)』1942年7月号(雑誌) 世界時潮研究会編/大槻憲二/小川芳男他 ▶ 147頁、昭南島の白人捕虜風景他 1942 英語通信社 4,000
- 55 『The Current of The World (ザ・カレント・オヴ・ザ・ワールド)』1942年9月号(雑誌) 世界時潮研究会編 ▶ 147頁、寮左吉「米陸軍弱体の真相」/英文解説練習欄他、少シミ少疲 1942 英語通信社 4,000
- 56 『The Current of The World (ザ・カレント・オヴ・ザ・ワールド)』1943年7月号(雑誌) 世界時潮研究会編 ▶ 112頁、大東亞共栄圏語彙/戦時下アメリカ文学の動向/関西カレント愛読者懇親会報告他、少シミ少疲 1943 英語通信社 4,000
- 57 『The Current of The World (ザ・カレント・オヴ・ザ・ワールド)』1943年8月号(雑誌) 世界時潮研究会編 ▶ 113頁、井坂光太郎「戦時下雑誌広告欄の変貌」/ヤンキー学生の迷答・珍答/ソ連文芸短通信他、少シミ少疲 1943 英語通信社 4,000
- 58 『The Current of The World (ザ・カレント・オヴ・ザ・ワールド)』1943年12月号(雑誌) 世界時潮研究会編 ▶ 96頁、山県五十雄「比島独立についての回顧」/語学教育研究所大会雑記、少シミ少疲 1943 英語通信社 5,000
- 59 青年の演劇—正しい芝居のやり方 堤安彦/菊地史郎/発行者・河野来吉 ▶ 初稿本/155頁/並、少シミ少疲/個人印 1947 労働文化社 1,500
- 60 男と女とはどう協力しているか(性教育読本) [発行地・金沢市] 原田一/発行者・辻豊次 ▶ 68頁、シミ少疲 1948 大地社 3,500
- 61 労働組合の実際(新労働運動叢書) 細谷松太/発行者・坪井正 ▶ 初稿本/158頁、昔の作り方、今の作り方他、シミ少疲 1948 協同出版社 1,200
- 62 やさしい社会科学1 日本社会党文化部長/松本七郎編/発行者・辻本経蔵 ▶ 74頁、シミ大/トジサビハズレ 1948 新思潮社 3,500
- 63 らく町お時 村松駿吉/アナウンサー・藤倉修一/西田時子/志村立美・装/発行者・枝松敏一 ▶ 初稿本/135頁、少シミ少疲 1948 江戸橋書房 20,000
- 64 今宵妻となりぬ 蔭田やよひ/発行者・姫野徳一 ▶ 初稿本/88頁/並、少ヤケ少疲 1946 此声社 1,000
- 65 女学生記 細川武子/発行者・渡邊昌子 ▶ 初稿本/179頁、東京発声映画/鈴木紀子氏御、少シミ少疲/記名 1947 草美社 8,000
- 66 婦人代議士の手記 山崎道子/発行者・澤本嘉郎 ▶ 158頁/並上、浮浪児収容所を訪う/元旦の引揚者/私の離婚問題の結末他、少シミ少疲 1947 中央社 4,500
- ◎
- 67 第二国会は何をしたか 小林一編 ▶ 109頁、労農連絡会議員名簿/引揚者問題/労農連絡会日記他、個人印/ヤケ 1948 国鉄労組本部情報宣伝部 4,000
- 68 標語の原理と作法 [発行地・大阪市] 福村好二郎編著 ▶ 159頁、戦争と宣伝と標語/懸賞標語のコツと哲学他、少シミ少疲 1939 たつる書房 3,000
- 69 標語報国(標語報国会々長/水谷寸鵬)(19×46センチ) ▶ 少シミ少疲 1938年頃か 1,500
- 70 共産党の正体と撲滅策 日本新聞社編輯局編/発行者・上村勝弥 ▶ 186頁/並下、ヤケ少疲 1931 先進社 4,000
- 71 『俳句日本』1巻1~3、5~7、10~12号/2巻1~3号、不揃12冊分(1944年6月~1946年1月)(雑誌) 西垣隆満編 ▶ 厚さ3.5センチ/1944年7、8、10、11、12月/1945年6・7、9、10、11、12月、荻原井泉水「俳句—日本—道—創作」/秋山秋紅著「決戦下の俳句研究」他、少シミ少疲 1944~ 俳句日本社 50,000
- 72 『文化組織』1942年11月号(雑誌) 福池立夫編/中野秀人/赤木健介/小野十三郎他 ▶ 76頁、早稲田大学新聞社旧蔵印/経年劣化 1942 文化再生の会 9,000
- 73 『古事記研究(革新国策総合雑誌)』1943年12月号 峰岸四平編 ▶ 47頁、シミ少疲 1943 日本論叢社 1,000
- 74 『文化日本』1940年6月号(雑誌) 田口章大編/宮城道雄他 ▶ 136頁、皇紀二千六百年奉祝制定新舞踊と新日本音楽特輯他、少シミ少疲 1940 日本文化中央聯盟 2,500
- 75 『共生/ともいき』1933年9月~37年3月うち36冊分[宗教/雑誌他] 福井明賢編/椎尾弁匡編/宮澤説成編 ▶ 厚さ10センチ/『ともいき』8巻6、12/9巻3、8、10、11/10巻2、3号/『共生』11巻9~11号/12巻1、5、7~10、12号/13巻3~5、7~9/14巻2~5、7~12/15巻1、3号、椎尾辨匡「長野県に捧ぐ」/武井孝子「民話の研究・高麗島の伝説」/各地同人の声を聴く/方面委員として某老婦人と一少女に捧ぐ 満洲皇帝進謁記/ヴァチカンとの奥にて/新興仏教の使命/好川海堂「金剛山結集雑感」/『生長の家』を訪れる/共生学寮開設について/『共生』誌及び『ともいき』誌の刷新改善に就て/椎尾辨匡「迷信邪教を除く道」/共生運動たより他、シミ疲/1冊頁余白欠/2冊痛 1933~ 共生会出版部/共生会 240,000

- 76 『各務時報』1938年4月号(雑誌) 横田英
雄編▷182頁、第百号記念特輯号/閲読
欄・四大雑誌/趣味娯楽雑誌/週刊雑誌/戦
争と農業/文化調査報告/満洲夜語/初期校
友会誌の思ひ出など他、少シミ少疲 1938 岐
阜高等農林学校刊行部 4,000
- 77 『季刊・勝地群馬』1938年4月(雑誌) 富
塚善助編/宇野浩二/宮尾しげを/橘外
男/市川房枝他▷64頁、桐生市長・関口
義慶二「織都桐生漫筆」、少シミ少疲 1938
群馬県庁内群馬県勝地協会 6,500
- ◎
- 78 『レコード音楽』1941年3月~10月号揃、8
冊分(雑誌) 比良正吉編/上小剣他▷
厚さ5センチ、葦科雅美「日本のラヂオに活躍
する芸術家」/紀元二千六百年奉祝楽曲の
頁/信時潔他「特輯・座談会—日本吹込レ
コードとその将来」/太田太郎「上海中国人
の音楽趣味とその動向—音楽宣撫工作視察の
旅」/牛山充他「座談会—聴覚訓練の諸問
題」/東亜の音楽/樺太の音楽拾ひ歩記他、
少シミ少疲/6月号裏表紙8×4センチ/10月
号表紙大 1941 レコード音楽社 30,000
- 79 『日本文芸』1937年3月号〔発行地・奈良
県〕(雑誌) 塚本篤夫編▷84頁、花園
歌子「阿片窟のサービスガール」/西本晃朔
「映画館と純文学雑誌」/村雨退二郎「野党と
しての大衆作家(大衆文芸家協会の問題)」
1937 日本文芸社 7,000
- 80 『日本文芸』1937年7月号〔発行地・奈良
県〕(雑誌) 西川林之助編/柳澤健/榎
本健一他▷72頁、文壇ゴシップ他、ヤケシ
ミ痛/表紙余白少欠 1937 日本文芸社
6,500
- 81 『日本文芸』1937年8月号〔発行地・奈良
県〕(雑誌) 西川林之助編/62頁、村
雨退二郎「芸術院の本質」/映画・新聞物の
市場価値是非、記名/少シミ少痛 1937 日本
文芸社 7,000
- 82 『日本文芸』1937年10月号〔発行地・奈良
県〕(雑誌) 塚本篤夫編/野口雨情▷
54頁、舞踊界とレコード界/村雨退二郎「映
画文芸と大衆文芸」他、記名/少シミ少痛
1937 日本文芸社 6,000
- 83 『日本文芸』1937年11月号〔発行地・奈良
県〕(雑誌) 塚本篤夫編/井東憲他▷
54頁、花園歌子「舞踊の旅」/断片レコー
ド界/詩壇小書他、少シミ少疲 1937 日本
文芸社 8,000
- 84 『日本文芸』1937年12月号〔発行地・奈良
県〕(雑誌) 塚本篤夫編▷54頁、八木
沼丈夫「陣中歌謡・長城突破の歌」/文芸新
聞/坂上勝芳「上海エキスプレス」/軍楽隊
他、少シミ少疲 1937 日本文芸社 8,000
- 85 『日本文芸』1938年1月号〔発行地・奈良
県〕(雑誌) 塚本篤夫編▷56頁、日本
舞踊の動向/演劇時評/花園歌子「新民踊日
誌」他、少シミ少疲 1938 日本文芸社
8,000
- 86 『日本文芸』1938年3月号〔発行地・奈良
県〕(雑誌) 塚本篤夫編▷56頁、藤田
小五郎「大衆文芸動脈硬化」/城戸四郎「業
者は三時間興行を如何に行ふべきか」/坂上
勝芳「上海から逃れて来た男」他、少シミ少
疲/背パナレ 1938 日本文芸社 6,000
- 87 『日本文芸』1938年4月号〔発行地・奈良
県〕(雑誌) 塚本篤夫編/藤澤衛彦/野
口雨情/中山輝他▷60頁、村雨退二郎
「新大衆文学の覚書」/上海はどうなつてゐる
か他 1938 日本文芸社 6,500
- 88 『日本文芸』1938年5月号〔発行地・奈良
県〕(雑誌) 塚本篤夫編▷56頁、文壇
ゴシップ/加藤長江「支那舞踊と花園歌
子」/新同人紹介の頁他、シミ少疲 1938 日
本文芸社 6,000
- 89 『日本文芸』1938年6月号〔発行地・奈良
県〕(雑誌) 塚本篤夫編/西村松次郎他▷
60頁、琉球芸術の粋/文芸消息他、少シミ
少疲 1938 日本文芸社 3,500
- 90 『日本文芸』1938年7月号(5巻6号)〔発行
地・奈良県〕(雑誌) 塚本篤夫編/原阿
佐緒他▷60頁、出征軍人の妻の唄他、少シ
シミ少疲 1938 日本文芸社 3,000
- 91 『日本文芸』1938年9月号(5巻7号)〔発行
地・奈良県〕(雑誌) 塚本篤夫編▷54
頁、白鳥省吾「水禍(民謡)」/レコード界
ゴシップ三題他、少シミ少疲 1938 日本
文芸社 8,000
- 92 『日本文芸』1938年10月号〔発行地・奈良
県〕(雑誌) 塚本篤夫編▷56頁、花園
歌子「樺太から」/動くレコード界/私設映
画検閲部の巻他、少シミ少疲 1938 日本
文芸社 8,000
- 93 『日本文芸』1938年11月号〔発行地・奈良
県〕(雑誌) 塚本篤夫編▷56頁、花園
歌子「支旅行の収穫による舞踊の上演に就
て」/琉歌に就て/レヴューの退脚/野口雨
情「童謡教育の範囲」他、シミ疲 1938 日本
文芸社 8,000
- 94 『日本文芸』1938年12月号〔発行地・奈良
県〕(雑誌) 塚本篤夫編▷56頁、音楽
とレコード界のスケッチ/囲碁界人たより/
日本文芸人消息他、少シミ少疲 1938 日本
文芸社 6,000
- 95 『日本文芸』1939年6巻1~10号揃、10冊分
(1月~11月)〔発行地・奈良県〕(雑誌)
塚本篤夫編▷厚さ3.5センチ/1939年1、2、
3、5、6、7、8、9、10、11月、北浦圭太郎
「遠く海を渡りて(戦線慰問記)」/藤森成吉
「歌子の舞踊はゲテモノ感」/ラヂオ俳優の
顔/文学・音楽・舞踊/レコードあれこれ
評/江崎小秋「歌謡・紙芝居屋」/レコー
ド・ナンセンス/蛔虫及十二指腸虫を葬れ
(特種歌謡)/山岸曙光「太沙坪点景—中支戦
線従軍中の作」/白鳥省吾「従軍より帰京し
て」/花園歌子「支那研究より」/佐々木緑
亭「歌謡詩人の交友録」他、シミ少痛 1939
日本文芸社 60,000
- 96 『日本文芸』1940年7巻2~8号揃、7冊分(2
月~10月)〔発行地・奈良県〕(雑誌)
塚本篤夫編/野口雨情他▷厚さ2.5セン
チ/1940年2、3、5、6、7、8、10月、報國文学
の確立/興亜詩歌の高調/中山輝「黒部小
唄」/日本文芸消息/雪の夜のハルビン/柿
本部隊長外「陣中俳句」/楽人スナップ/歌
謡・慰問袋が縁とやら/新京から/満洲小
唄/女流詩人随筆抄/石垣りん子「名称」/
田村昌由「詩の展覧会」他、ヤケ少痛/1冊ト
ジハズレ 1940 日本文芸社 60,000

- 97 『日本文芸』1941年4・5月(合併号)(雑誌) 北原操編/岸田國士他 ▶ 122頁、歌集女身哀歌総評他、ヤケ少痲 1941 日本文芸社 1,980
- 98 『官僚』わしが国さ 伊藤金次郎 ▶ 初稗本 ▶ 398頁、内閣情報部長論他、ヤケ/少シミ少痲 1940 宝雲舎 2,500
- 99 15人の戦争記録—私は戦争に生きのこつたそして…… 山口健次郎編/白鳥邦夫(22歳失業者)志垣猛(記者)/内田つむ(作詞及舞台照明) ▶ 178頁、植民地/湖北の曠野で他、ヤケシミ痲 1951 暁明社 4,000
- 100 戦後の社会問題(九大社会教養叢書3) 森耕二郎/発行者・池原丈太郎 ▶ 32頁、少シミ少痲/個人印 1946 西日本新聞社 2,500
- 101 『MANHATTAN CRITIC(マンハッタン・クリチック)』1949年3月[発行地・富山県](雑誌) 織田稔編 ▶ 24頁、織田稔(高富2年)「英国映画なるもの—終戦後封切の作品を振り返り見て」、少シミ少痲 1949 砺波学生映画連盟 8,000
- 102 『翰林工芸』1946年1月(創刊号)(雑誌) 小野磐彦編 ▶ 16頁、森田茂介「書齋に就て」/筆の研究家を訪ねて他、少シミ少痲 1946 翰林工芸研究会 2,000
- 103 『翰林工芸』1946年2月(1巻2号)(雑誌) 小野磐彦編/柳宗悦/北大路魯山人他 ▶ 19頁、今和次郎「農村と工芸」 1946 翰林工芸研究会 2,000
- 104 『農業技術』1946年2月(創刊号)(雑誌) 福島要一編/伊原宇三郎/八木秀次他 ▶ 64頁/並、緊急開拓事業他、個人印/経年劣化 1946 農業技術協会 3,000
- 105 『民主評論』1946年5月(雑誌) 有賀新編 ▶ 35頁、読者の声/貴司山治「文化所産の復活刊行といふこと—文化革命の流れに寄せて」、少シミ少痲/6頁分ペン 1946 民主評論社 800
- 106 『民主評論』1947年11月(雑誌) 有賀新編 ▶ 51頁、足立区・二本三郎「教宣部長退陣」、8頁分朱/ヤケ痲 1947 民主評論社 800
- 107 『平凡』1946年8月号(雑誌) 清水達夫編/表紙・大橋正/十和田操/宇井無愁他 ▶ 64頁、表紙少ペン 1946 凡人社 8,000
- 108 『映画製作(自由映画人集団機関誌)』1946年9月号(2号)(雑誌) 青山敏夫編/発行者・橋弘一郎 ▶ 82頁、特輯・全国映画芸術家会議・報告他/山本嘉次郎・岡本潤他発言 1946 映画世界社 6,000
- 109 女人礼讃 原二郎 ▶ 初稗本/288頁、「三度も、出版会とゆう役所みたいな所から、出版禁止お命じられる一方…」、ヤケ少痲 1950 七宝書房 2,000
- 110 『小説季刊文潮』1948年5月号(1輯)(雑誌) 水上勉編 ▶ 232頁、豊田三郎「仮面天使」他、ヤケ少痲 1948 文潮社 800
- 111 『劇場通信』1946年5~10月揃、6冊分(雑誌) ▶ 各8頁、大江良太郎「ロツパにのぞむもの」/金子洋文「髪」を書いた頃/村山知義「再演といふこと」/利倉幸一「大衆演劇不振」、トジ穴/少シミ少痲/1冊シミ大 1946 演劇文化社「劇場」ドラマリーグ発行 25,000
- 112 『文学者』1949年2月号(雑誌) 廣西元信編 ▶ 96頁、多田裕計「地上より」他、シミ少痲 1949 世界文化社 2,000
- 113 『文学者』1949年3・4月号(雑誌) 廣西元信編 ▶ 112頁、中村人朗「俘虜劇場」他、シミ少痲 1949 世界文化社 2,000
- 114 『群盗』1949年8月号(復刊2号)(雑誌) 渡邊哲子編/石丸創造/神保光太郎/清水昆/中島健蔵他 ▶ 66頁、「同人雑誌街を行く—日本出版協会の雑誌課を訪れ…」/新人作家探訪・原民喜他少シミ少痲/トジサビハズレ 1949 青壁社 7,000
- 115 『JAP—詩と評論』1953年11月(26号)(雑誌) JAP編集委員会編 ▶ 35頁、(特輯) 試射場の村・内灘・壺井繁治「峠三吉追悼特輯を読んで」/サークル—習志野病院/グループ—火片グループ他、シミ痲/不美/トジハズレ 1953 JAPの会 13,000
- 116 『働く婦人』1946年12月(5号)(雑誌) 戸臺俊一編 ▶ 64頁、新島繁「読書案内・わかり易いパンフレット」、少シミ少痲 1946 日本民主主義文化聯盟 2,500
- 117 『一つの世界』1947年3月(1巻1号)(雑誌) 所三男編/尾崎行雄/加藤シヅエ他 ▶ 64頁、国際聯合リポート他、個人印/少シミ 1947 世界恒久平和研究所 2,000
- 118 『国心民報』1947年8月(7号)(雑誌) 指谷勝稔編/里見岸雄/山川智應/姉崎正治他 ▶ 19頁、報道批判他、少シミ少痲 1947 国心民報社 3,500
- 119 『国心民報』1946年12月(2号)(雑誌) 指谷勝稔編/山川智應/姉崎正治他 ▶ 18頁、思想宗教版、少シミ少痲 1946 国心民報社 3,500
- 120 民主政治と婦人(別刷英文タイプ印刷1枚付) 久布白落実編 ▶ 160頁/並、社会党代議士・米山久子「引揚同胞救援に關して」他、少シミ少痲 1946 日本自由党婦人部仮事務所 4,000
- 121 『婦人の世紀』1947年9月(3号)(雑誌) 内山基編 ▶ 96頁、鷺沼登美枝(東京日日新聞社)他「座談会・日本婦人は解放されたか」、少シミ少痲 1947 実業之日本社 3,000
- 122 『婦人の世紀』1948年6月(6号)(雑誌) 内山基編 ▶ 128頁、編集部「調査報告・夫は妻に月給袋をそのまゝわたしているか」、松岡洋子「記名」/少シミ少痲 1948 婦人の世紀社 3,000
- 123 『婦人民主クラブニュース』1、4、5号、3部分(1948~49年)(雑誌) 婦人民主クラブ ▶ 総24頁/松岡洋子旧蔵極少朱/1948年6月27日/1949年1月30日、5月16日、支部便り/売店開催で成功(石川支部)/新聞の立売りで(鎌倉支部)/杉並共同作業所便り/民主主義擁護同盟では、少シミ少痲 1948~婦人民主クラブ 15,000
- 124 文化社会学教室要綱(山梨青年文化協会) 講師—鶴見和子/清水幾太郎/今村太平/春山行夫他 ▶ B4判・一枚、余白7×2センチ欠/少ペン 1946年か 山梨青年文化協会 2,000
- 125 未亡人(留守家族)生活実態調査(1949年) 婦人民主クラブ ▶ B4判・一枚、少ヤケ少痲 1949 婦人民主クラブ 2,000

- 126 『世論調査票 婦人民主新聞編集部』▷ B4判・一枚、婦人民主新聞について／日刊新聞について、ヤケ少疲 1947年か、婦人民主新聞 1,000
- 127 『婦民主石川支部だより』1948年1月(8号)(雑誌) 喜多久子編▷ 哲学研究会／生協連・山崎都志子「信念の奴隷」、少シミ少疲 1948 婦民主クラブ石川支部 4,000
- 128 『クラブ支部一年をかえりみて『婦民主クラブ石川支部』』(400字詰4枚・えんぴつ書)『発行地・石川県金沢市』▷ 婦民主クラブ石川支部・喜多 1948年か 3,000
- 129 『北陸震災救護ニュース』1号(1948年7月)▷ 救援協議会の成立／現地民主団体の活動、ヤケ少疲 1948 北陸震災救援全国労農民主団体協議会 12,000
- 130 『演劇ペン』1946年6月(1号)(雑誌) 利倉幸一編▷ 15頁、近藤春雄「演劇民主化の出発点」、ヤクトジハズレ痛 1946 演劇ペン倶楽部 2,000
- 131 『演劇ペン』1946年10月(2号)(雑誌) 利倉幸一編▷ 15頁、観客実態調査の報告、ヤケ大 1946 演劇ペン倶楽部 8,000
- 132 『新風土』1949年11、12月／1950年1～5月(休刊案内ペラ付)号迄揃、7冊分(雑誌) 下村湖人編▷ 厚さ1.8センチ／2巻9、10号／3巻1～5号、煙仲間の結成について／次郎物語／前田多門「良書二冊」／バラック雑信他、背痛／少シミ少疲 1949～ 新風土社 20,000
- 133 『くいーん—THE MAGAZINE FOR MEN』(1巻3号)1947年8月号(雑誌) 齋藤康弘編／山名文夫／丹羽文雄／双葉十三郎／増田渉／牧屋善三／石黒敬七他▷ 38頁、少シミ背トジハズレ 1947 くいーん編集部 13,000
- 134 『季刊・望郷(『婦人文化』改題)』1947年12月号(4号)(雑誌) 久城慶子編／神保光太郎／吉田精一／武者小路実篤他▷ 112頁、日本文芸作家評論特集、少シミ少疲 1947 婦人文化社 4,000
- 135 『生産と文化』1948年1月号(16号)(雑誌) 生産文化協会・近藤吉雄編▷ 49頁、レクリエーションと新生活運動／増山太助他「職場ダンスを語る(座談会)」／土方定一「職場美術展と美術サークル」他、少シミ少疲 1948 国民工業学院 9,000
- 136 『新しい教室』1948年11月号(雑誌) 古川原編▷ 64頁、弁当から見た家庭／学校給食の諸問題／私たちの行くお風呂他、トジ穴少シミ少痛 1948 中等学校教科書 1,500
- 137 『新しい教室』1949年1月号(雑誌) 古川原編／美作太郎／花森安治他▷ 64頁、勝田守一・鶴見和子対談／与謝野秀「フランスの子供は何を讀んでいるか」他、トジ穴少シミ少痛 1949 中等学校教科書 2,000
- 138 『教育生活(『教育問題』改題)』1948年2(創刊号)、3、4、5、7、8、9月号、不揃7冊分(雑誌) 大久保正太郎編／大熊信行／松田解子／帯刀貞代／辻まこと・茂田井武(カッパ)／岩倉政治／浪江虔他▷ 厚さ2.5センチ、なめかわ・みちお「雑誌をこうして活用しよう」／扇谷正造「出版松二つ、三つ」赤本(街頭時評)／少朱少ペン／少シミ少疲 1948 新世界社 40,000
- 139 『文芸大学』1948年3月号(2巻3号)(雑誌) 竹井博友編▷ 64頁、梅崎春生・野間宏・椎名麟三—新人鼎談会他、ヤケ少疲 1948 竹井出版 1,500
- 140 『会報』1949年10月(4号)(雑誌)▷ 35頁、第三回夏期大学他／坂本太郎旧蔵、少シミ少疲 1949 全国大学教授連合 2,500
- 141 『新しい世界』1949年11月号(28号)(雑誌) 秋山良照編▷ 81頁、おたけ・ひろきち「ジャガイモの大革命—ミチューリン」、少シミ少疲／印 1949 日本共産党出版部 1,500
- 142 『新しい世界』1952年2月号(52号)(雑誌) 加藤喜一編▷ 88頁、丸山一郎「ノボリおしたて供出と斗う農民」、少シミ少疲 1952 日本共産党出版局事業部 1,200
- 143 『新しい世界』1952年3月号(53号)(雑誌) 加藤喜一編▷ 88頁、鈴木恒「講座、満洲国と日本」、少シミ少疲 1952 日本共産党出版局事業部 1,500
- 144 『平和』1952年6月(創刊号)(雑誌) 淡徳三郎編▷ 51頁、草野信男「原子爆弾だけが問題なのではない—細菌兵器の威力」、少シミ少疲 1952 青木書店 1,200
- 145 『平和』1952年8月(2号)(雑誌) 淡徳三郎編▷ 51頁、平和のための美術展(本郷新)、少シミ少疲 1952 青木書店 1,000
- 146 『平和』1952年12月(7号)(雑誌) 淡徳三郎編▷ 58頁、保安隊は朝鮮動向—アジア人に対してはアジア人を戦わせる、2頁えんぴつ／少シミ少疲 1952 青木書店 1,000
- 147 『平和』1953年9月号(16号)(雑誌) 中野好夫編▷ 70頁、福島要一「編集後記」、少シミ少疲／6頁ペン 1953 大月書店 1,500
- 148 武井昭夫(『新日本文学』)宛副田義也(『青銅文学』)ハガキ(1953年10月16日)▷ ペン書9行 1953 3,000
- 149 『平和』1954年1月号(20号)(雑誌) 中野好夫編▷ 70頁、文化人の立場(特集)他、少シミ少疲 1954 大月書店 1,500
- 150 『平和』1954年5月号(24号)(雑誌) 中野好夫編▷ 72頁、特集・平和憲法の名において他、少シミ少疲 1954 大月書店 1,500
- 151 『平和』1954年7月号(27号)(雑誌) 中野好夫編▷ 72頁、特集・読者からのこだま—大津加代子(主婦)「平和署名日記」／そのおそろしい名は「原爆乞食」(写真)／今村高一(重労働二十年・朝鮮人)他「わが名は戦犯—こんどは証人として」、少シミ少疲 1954 大月書店 3,500
- 152 『理論』1952年8月(18号)(雑誌) 小宮山量平編▷ 84頁、特集・文学の前進のために／神山彰一「民族解放の国民文学」／山本健吉「国土・国語・国民」／怒りの教室(高等学校生徒の手記)他、ヤケシミ 1952 理論社 2,000
- 153 『理論』1954年5月(22号)(雑誌) 民主主義科学者協会編▷ 132頁、特集・新しい科学運動／座談会・ミチューリン運動から学ぶ／竹内好「文化映画「月の輪古墳」をみて」他、ヤケ大少疲 1954 理論社 3,000
- 154 『学園評論』1953年11月号(雑誌) 岸清編▷ 78頁／並上、西川正雄(東大教養学部歴研)「サークル活動発展のために—学間に

- ついて」／一橋大・文科八王子調査グループ「サークル活動の経験—機屋女工さんの歌う会」、少シミ少疲 1953 学園評論社 1,500
- 155 『現代詩』1956年3月号(雑誌) 新日本文学会詩委員会編 ▶ 64頁、武井昭夫他「特集・戦後の戦争責任と民主主義文学」／少シミ少疲 1956 百合出版 3,000
- 156 『人民文学』1950年11月(創刊号)(雑誌) 柴崎公三郎編 ▶ 64頁、読者諸君に訴える—「人民文学友の会」の設立について、少シミ少疲／1頁朱 1950 人民文学社 2,500
- 157 『人民文学』1951年2月号(雑誌) 柴崎公三郎編 ▶ 96頁、読者だより(宮城拘置所松川事件被告・齊藤千)、少シミ少疲 1951 人民文学社 2,000
- 158 『人民文学』1951年3月号(雑誌) 柴崎公三郎編 ▶ 96頁、斎藤千「一九五〇年十二月六日午前十一時二〇分」、頁1枚4×4センチ欠／少シミ少疲 1951 人民文学社 1,800
- 159 『人民文学』1951年6月号(雑誌) 柴崎公三郎編 ▶ 96頁、サークル誌寸評、少シミ少疲 1951 人民文学社 2,000
- 160 新しい絵のみかた〔北陸美術か〕 土岡秀太郎 ▶ 48頁、シミ少疲 1955 北美文化協会 2,000
- 161 『人民文学』1951年7月号(雑誌) 柴崎公三郎編 ▶ 96頁／並、小野弘(九州・日炭高松「あしあと」)、「小さい提案」、少シミ少疲 1951 人民文学社 2,500
- 162 『人民文学』1951年8月号(雑誌) 柴崎公三郎編 ▶ 95頁、吉井忠「第五回職場美術展をみる」、少シミ少疲 1951 人民文学社 3,000
- 163 『人民文学』1951年11月号(雑誌) 柴崎公三郎編 ▶ 112頁、動けぬベットから—清瀬上宮療園の松川署名活動／『人民文学』の一年)島田政雄「『人民文学』のあるいて来た道」、少シミ少疲 1951 人民文学社 3,500
- 164 『人民文学』1952年6月号(雑誌) 柴崎公三郎編 ▶ 132頁、特集・独立への怒涛他／河田良三「細菌戦に抗議する—赤痢菌の歌」、頁8枚カビシミ 1952 人民文学社 3,500
- 165 『人民文学』1953年6月号(雑誌) 柴崎公三郎編 ▶ 182頁、吉中功(画家・元人民出版社員)他「座談会・新しい芸術家の為に一帰国者をかこんで」／朝鮮文学特集他、印／少シミ少疲 1953 人民文学社 3,500
- 166 『学園評論』1952年7月(創刊号)(雑誌) 塩浜方美編 ▶ 112頁、東大教養学部平和友の会「渋谷事件の記録」／私たちは日本人です(資料・奄美大島日本復帰青年会)他、装痛／背欠／個人印／4頁朱 1952 学園評論社 2,000
- 167 『いぶき』1955年3月(5号)(雑誌) ▶ 62頁、趙復済「私の家」／水本定弥「(生活記録) 虜囚」、少シミ少疲 1955 大阪文学学校雑誌部 6,500
- 168 『つどい(「杉並学生をつどい」機関誌)』1955年4月(1号)(雑誌) 杉並学生をつどい編／西川正雄他 ▶ 102頁、(詩)セツル・ハウスで／座談会・原水爆反対運動他、ヤケ少痛 1955 杉並学生をつどい 6,800
- 169 『新人文芸(日本で唯一の文芸投稿誌)』1953年4月(22号)(雑誌) 土橋慶三編 ▶ 144頁、中山義秀「才子薄命—故丸山金治君の生涯」他、ヤケシミ疲 1953 新人文芸社 2,000
- 170 『リアリズム』1960年4月(4号)(雑誌) 霜多正次編／塙作楽他 ▶ 104頁、二つの国鉄文芸作品集／金井武「新聞界の「近江絹糸」」／サークル雑誌評—「極光」(前橋市)他、少シミ少疲 1960 リアリズム研究会 1,200
- ◎
- 171 マッカーサー元帥に対するステートメント(1946年1月25日)〔肉筆〕 食糧危機突破関東地方民主協議会準備会 ▶ 200字詰原稿用紙×6枚、少シミ少疲 1946 3,500
- 172 『民教ニュース』5、6号(～1946年10月) ▶ B4判・2枚、イモ大会へ集れ／イモ斗争経過報告／イモ会議他、ヤケ疲 1946 関東食糧民主協議会 5,000
- 173 救援米運動推進状況速報／救援米運動推進に関する御注意、2種一括 ▶ 9頁分、少シミ少疲 1947 食糧確保実行運動本部／経済復興会議／農業復興会議 3,500
- 174 身分証明書(8×6センチ)(北国新聞社) ▶ 7尾総局長・祖浜由太郎／写真2枚他 1944 5,000
- 175 随想録第1巻(寒釈偶／多木不知／伊田仙八)／随筆集第2巻(多木不知／祖浜賢太郎／伊田仙八)、2冊子分(1952～54年)〔肉筆冊子〕 ▶ 総88頁、1952年4月金沢大学入学／金沢大学生の苦情／内灘問題／雲流る果てに所感／窪田教授のこと／ある日の車内風景／資本主義的女性の苦悩／マージャン問答の成果(北国新聞「地鳴」欄をめぐって)／祖浜卒業後「北国新聞」記者他、少シミ少疲 1952～ 85,000
- 176 『サンライズ』1946年12月創刊号〔発行地・函館市〕 西村康哉編／長谷川伸(徳川夢声)他 ▶ 32頁／並上、少シミ少疲 1946 函館新聞社 12,000
- 177 『サンライズ』1947年2月号〔発行地・函館市〕 西村康哉編／藤田嗣治表紙／金子兜太他 ▶ 32頁、コント・ひとのとし(乾信一郎)／公職追放物語他、少シミ少疲 1947 函館新聞社 25,000
- 178 『サンライズ』1947年10・11月合併号〔発行地・函館市〕 西村康哉編／吉田謙吉／高田保／北園克衛他 ▶ 32頁、少シミ少疲 1947 函館新聞社 8,000
- 179 『東北文学』1946年4月 三原良吉編 ▶ 96頁、出版界の肅正・文壇録音(X・Y・Z)／出版肅正裁判／稿料インフレ他、少シミ少疲／末尾頁角2×2センチ欠 1946 河北新報社 1,500
- 180 『東北文学』1946年6・7月合併号 三原良吉編 ▶ 96頁、ヤケシミ疲／印 1946 河北新報社 1,000
- 181 『東北文学』1946年9月号 三原良吉編／東野辺薫他 ▶ 96頁、ヤケシミ疲背痛 1946 河北新報社 1,000
- 182 『東北文学』1946年11月号 三原良吉編 ▶ 96頁、文壇録音・著作家組合の方向他、少シミ背痛 1946 河北新報社 1,000

- 183 『東北文学』1949年2月号 東野辺薫／浜田隼雄他 ▷ 64頁、東北在住作家小説特集号他、ヤケ疲背痛／記名／極少朱 1949 河北新報社 1,500
- 184 『東北文学』1949年6月号 耕治人／沙和宋一他 ▷ 96頁、背欠／ヤケ疲／記名／極少朱 1949 河北新報社 1,500
- 185 『国鉄文芸雑誌 星座』1巻1号～2巻3号(1946年5月～1947年3月) 揃、11冊分〔発行地・盛岡市〕 渡辺波光編／臼井喜之介／森荘己池 ▷ 赤ん坊・朗読詩(近藤東)／星座誌上座談会他、シミ少疲 1946～1947 国鉄文芸協会 40,000
- 186 『秋田』13巻7号(1950年8月)〔発行地・秋田市〕 鷲尾よし子編／小牧近江他 ▷ 64頁、美術文化博物館を(福田豊四郎)／秋田育英館の思出(田池橋郎)他、シミ少疲 1950 秋田社 3,500
- 187 『東北詩人』第7号(1947年3月)〔発行地・仙台市〕 綾瀬茂編／山田野理男他 ▷ 8頁、ヤケ大疲大／折れ 1947 東北詩の会 2,500
- 188 『赤外線(俳句雑誌)』創刊号(1947年8月)〔発行地・仙台市〕 東北学生俳句連盟編輯部編／日野草城／栗林一石路／山田野理男他 ▷ 16頁、赤外線創刊の辞・伝統と信仰の対決—近代文学への道他、ヤケ少疲 1947 東北学生俳句連盟 6,000
- 189 金沢工業専門学校生肉筆日記(1946年9月～1947年1月分)、2冊(金沢大学工学部)〔仮称〕▷ 陸軍幼年学校用箋使用／94頁分、本日より上級生も一斉に始業。だが工專の二三年生など戦時中にごみがさらへられて入った程にいづれ大したことなく／相変らず授業に真剣になれず／雜誌分配されどコンパ用として紫錦寮に預託／電気概論なし。かほりに京藤科長の随想談／雜誌『世界』の配給は科に一冊。電気的一年に迄くるとは何時頃か他、シミ少疲 1946～1947 15,000
- 190 風花の一人金儀右衛門〔発行地・山形市〕 本間とみ ▷ 初カバ／264頁、新聞『あしかば』の発行／同人雑誌『若い葦』発足／国立米沢療養所入所他、少シミ少疲 1990 若い葦発行所 6,500
- 191 『むら』創刊号(1946年7月)〔発行地・茨城県〕 楠正克編 ▷ 30頁、個人印／少シミ少疲／裏表紙小穴 1946 村刊行会 7,000
- 192 『北陸新劇協会』11号(1947年9月)〔発行地・金沢市〕〔細菌学者／北里柴三郎／伝研／戯曲化他〕 高井健編▷「怒濤」上演の意義(久須屋信成)他、少ヤケ少疲 1947 北陸新劇協会事務局 3,000
- 193 『北陸新劇協会』12号(1947年11月)〔発行地・金沢市〕 高井健編▷働く者の演劇—石川県自立劇団協議会成る／注目される職場の自作脚本他、少シミ少疲 1947 北陸新劇協会事務局 3,000
- 194 『詩風土』翻訳特輯号(1946年9月)〔発行地・京都市〕 詩風土編輯室編▷ 32頁／曾根博義旧蔵、夜の明ける頃の詩論(山岸外史)他、ヤケシミ疲 一條書房 3,500
- 195 『新鐘』創刊号(1946年2月)〔発行地・埼玉県加須町〕 神沢健二編▷ 20頁、編輯を終へた。「苗代」を廃してから丸二年たつ他、ヤケ疲 1946 新鐘社 2,500
- 196 『新鐘』4号(1946年5月)〔発行地・埼玉県加須町〕 神沢健二編▷ 34頁、郷土と文化(神沢惣一郎)／同人・木村時夫(早大史学卒)他、少シミ少疲／6頁ペン書 1946 新鐘社 4,000
- 197 『作品と鑑賞ふるさと』10号(1946年10月)〔発行地・埼玉県埼玉郡〕 石川茂編／北川冬彦／服部嘉香／竹内てるよ／秋谷豊／長谷川かな女他▷ 32頁、シミ少疲 1946 ふるさと詩社 2,000
- 198 『新詩人』1947年2月〔発行地・長野市〕 田中聖二編▷三木露風／佐伯郁郎他▷ 32頁、シミ疲／記名印 1947 新詩人社 1,500
- 199 耕土 山田多賀市▷ 初裸本／310頁、パラフィン貼／少シミ少疲 1947 文化山梨社 1,500
- 200 『信州及信州人』1946年9月〔発行地・長野市〕 小林住吉編▷ 32頁、敗戦後一年(短歌小一種)(藤森成吉)／怠惰なる悲劇(読売新聞前ビルマ特派員／坂たけを)／編輯局長の抱負—理想の新聞(夕刊信州／田中武夫他)／出版同人に警告す(羽田武嗣郎)／地方雑誌の在り方他、少シミ少疲 1946 信州及信州人社 7,000
- 201 『信州及信州人』1946年12月〔発行地・長野市〕 小林住吉編▷ 32頁、引揚女性の観た祖国(北沢由美)／安倍能成氏のこと／疎開者の悩み(広瀬文芸)他、4頁半／少シミ少疲 1946 信州及信州人社 4,500
- 202 『第一世論』創刊号(1947年3月)〔発行地・長野市〕 石坂武夫編／冠松次郎他▷ 22頁、新雑誌『第一世論』発刊趣意／特集「三月危機」突破への途(土屋清)／世論会議室、「女」から「人間」へ(小諸町・高橋せい)／少シミ少疲 1947 第一世論社 4,000
- 203 『第一世論』2号(1947年4月号前期)〔発行地・長野市〕 石坂武夫編／藤森成吉／風早八十二／鈴木東民他▷ 14頁、農民民主化の基礎的課題／農民精神の解放(桜井武雄)／少シミ少疲 1947 第一世論社 4,000
- 204 『第一世論』3号(1947年4月号後期)〔発行地・長野市〕 石坂武夫編▷ 14頁、一千円懸賞—文化信州建設の草案 延安地区の想いで話(内山学)／働く人たちの学校—長野県総合文化学院設立の計画他、少シミ少疲 1947 第一世論社 4,000
- 205 『第一世論』4号(1947年5月特別号)〔発行地・長野市〕 石坂武夫編▷ 18頁／並上、克服さるべき文化主義(真下信一)／文化運動は如何に行われたか(現地報告)／新聞選知事林さんえ・県民の声／支配的な「民間の自由」(高原鋭)／文化革命と出版の現状(高戸一義)他、少シミ少疲 1947 第一世論社 4,500
- 206 『諏訪』創刊号(1949年8月)〔発行地・長野県諏訪市〕(出版社「太田阿山」名刺付) 岩波泰明編／石井柏亭表紙／太田黒勝彦／藤森成吉／尾崎喜八他▷ 80頁、観光事業は日本再建にいくばくの寄与をなすか／諏訪の農業と農村文化(小平権一)他、ヤケ大少疲 1949 鷺湖書房 6,500
- 207 『北園』1号(1949年8月)〔発行地・富山県〕 石動文芸会総務部編▷ 16頁、目次墨塗・頁1枚削除、ヤケ疲大／資料ナラ可 1949 石動文芸会事務所 9,000

- 208 『**白嶺**』1~21号揃、21冊分 (1943年4月~1944年12月) 〔発行地・金沢市〕 越野勇吉編 ▶ 厚さ4センチ、『閑古鳥』と『葦附』が統合/表紙絵・玉井敬泉/近代科学戦と短歌/石川療養所慰問歌会記/アツツ島の英霊に捧ぐ(有沢時子)/陸軍病院(満州/瀬川清美)/蟄居秋吟(石川/加賀大介)/ブーゲンビル島航空戦(金沢/本保助三)/療養と歌(江田十雨)/海上日出(石川/加賀大介)/兵營(台湾/阿部立漢)/越中短賀寺村紀行歌/石川県郷土愛国百人一首/芦短歌と高校生(大沢衛)/『職場の歌』に就いて/『江南』より(遺詠)(徳家光迪)/徳家光迪氏と私(加賀大介)/療友逝く(富山/幾島保)他、ヤケシミ疲大/個人印/13号裏表紙欠/14号裏表紙スレ小穴/頁1枚6センチ裂他 1943~1944 白嶺短歌社 38,000
- 209 『**制服**』3/5/6号、3冊分 (1947年9月~12月) 〔発行地・金沢市〕 新保辰三郎編 ▶ 石川県下の女学生作品を盛った雑誌/天皇陛下石川県に行幸/街にお迎えして奉迎者の声をきく/母を語る(大庭さち子)/論説一十二年を回顧して(北陸高女/高村和子)他、ヤケシミ疲 1947 ともしび社 18,000
- 210 『**制服**』7~18号うちホボ揃、11冊分(14号欠) (1948年1月~12月) 〔発行地・金沢市〕 新保辰三郎編 ▶ 石川県下の女学生作品を盛った雑誌/働く女性戦線を訪ねて/男はどんな女性を求めているか/女学生はどんな本を読むか/新制高等学校の制服こんなのは如何/『制服』委員達の思い出/高校新発足の今年の女学生はどうあるべきか/ゆがめられた子等のごとう「少年の町」加賀実習学校を訪ねて/論説一制服について/男女共学から何を学んだか/学生のアルバイトは是非か/私達の世界をもつと美しくしたい/盆おどりと学生「風の子」撮影の羽に來果した夏川静枝さんを訪ねて/赤い羽根共同募金運動に参加して一街頭に立ち私たちは何を見たか他、少シミ少疲/7号表紙8×2センチ欠 1948 ともしび社 65,000
- 211 『**制服**』19号 (1949年1月) 〔発行地・金沢市〕 新保辰三郎編 ▶ 26頁、石川県下の女学生作品を盛った雑誌/私の学校自治会/女尊男卑の海士(輪島高校/旭岡睦子)/紙上討論一恋愛と結婚は両立するか他、少シミ少疲 1949 ともしび社 6,500
- 212 『**制服**』20号 (1949年2月) 〔発行地・金沢市〕 新保辰三郎編 ▶ 26頁、石川県下の女学生作品を盛った雑誌/私達は何故二年でやめるか/紙上討論一高等学校の制服可否他、シミ疲 1949 ともしび社 4,500
- 213 『**制服**』24号 (1949年6月) 〔発行地・金沢市〕 新保辰三郎編 ▶ 26頁、石川県下の女学生作品を盛った雑誌/紙上討論一サンマータイム可否/何故オリンピック選手が出ないか/私達は実社会に出て何を見たか/「青年の日」それぞれのポストについて一新聞社といふもの・北国少年プレス編輯長(董台高校3年/岡直子)他、シミ疲 1949 ともしび社 5,000
- 214 『**緑地**(『制服』改題)』創刊号 (1949年8月) 〔発行地・金沢市〕 新保辰三郎編 ▶ 42頁、女性徒から男生徒への注文/紙上討論ホーム・ルーム制とクラス制/現在の授業で良いか他、シミ少痛/記名 1949 石川県下高等学校文化連盟 7,000
- 215 『**緑地**』3号 (1949年11月) 〔発行地・金沢市〕 新保辰三郎編 ▶ 42頁、男生徒の長髪に対して女生徒のパーマも許すべきと言ふ意思他、装6×3センチ欠 1949 石川県下高等学校文化連盟 5,000
- 216 『**日本輿論**(旬刊輿論改題)(パブリックオピニオン)』1946年4月〔発行地・金沢市〕 〔日本輿論〕 二木秀雄編/加賀祝二他 ▶ 48頁、輿論調査発表一産児制限は必要であるか/働く婦人に生理休暇を与へよ(安田徳太郎)/食糧増産へー浮浪生活者を動員せよ/小説・返り咲き(大庭さち子)他、ヤケシミ痛大 1946 輿論社 8,500
- 217 『**朝霧**』創刊号 (1947年6月) 〔発行地・石川県富奥村〕 谷行雄編 ▶ 24頁/並上、農村民主化の課題/映画による農村文化/私たちのスポーツ/道染の聖教(小説)他、少シミ少疲 1946 道興文化部発行係 15,000
- 218 『**黒百合**』4号 (1949年9月) 〔発行地・石川県美川町〕 岡本経厚編/棟方志功表紙絵 ▶ 34頁、「卯辰山情死くどき」について(川口久雄)他、少シミ少疲 1949 黒百合会 2,500
- 219 『**黒百合**』5号 (1949年10月) 〔発行地・石川県美川町〕 岡本経厚編/棟方志功表紙絵 ▶ 34頁、黒百合のことども(新村出)/父鉄斎を語る(富岡とし子)他、少シミ少疲 1949 黒百合会 2,500
- 220 『**黒百合**』2巻5号 (1950年5月) 〔発行地・石川県美川町〕 (棟方志功表紙画) 岡本経厚編 ▶ 40頁、少シミ少疲 1950 黒百合会 2,000
- 221 『**北国文化**(文華改題)』40号 (1949年5月) 石川文化懇話会編 ▶ 62頁、特集一知識人とソ連像/小説一未亡人(今津藤一)/石切場の吉村隊長一外蒙の思い出(新谷益雄)他、5枚頁端余白1×6センチ欠 1949 北国毎日新聞社 1,500
- 222 『**北国文化**(文華改題)』41号 (1949年6月) 石川文化懇話会編 ▶ 68頁、映画検閲秘史一認定官の頃(小松伸六)/地方生活と文学一対談(岩倉政治/深田久弥/編集部・小松伸六)他、少シミ少疲 1949 北国毎日新聞社 3,500
- 223 『**北国文化**(文華改題)』42号 (1949年7月) 石川文化懇話会編 ▶ 62頁/認定、特集一四高回顧/映画検閲秘史(完)一認定官の頃(小松伸六)/能登から一危険な文化一七鹿文協と周囲他、少シミ少疲 1949 北国毎日新聞社 2,500
- 224 『**北国文化**』46号 (1949年11月) 石川文化懇話会編 ▶ 70頁、特集・ジャーナリズム批判/書店の窓から(吉田他吉)/わが読書遍歴一座談会(森山啓他)/文芸時評(加藤勝代)/総合雑誌『大和』の編集員他、少シミ少疲 1949 北国毎日新聞社 2,500
- 225 『**北国文化**』47号 (1949年12月) 石川文化懇話会編 ▶ 74頁、地方文化について一秋草日記(森山啓)/1949年の回顧(伊藤武雄他)/小説一落日(加藤勝代)他、少シミ少疲 1949 北国毎日新聞社 2,000
- 226 『**北国文化**』48号 (1950年1月) 石川文化懇話会編 ▶ 90頁、座談会一若き世代の発言(加藤勝代/西義之他)/中間読物一死刑囚から帰国まで(伊東明德)他、シミ背痛 1950 北国毎日新聞社 2,000

- 227 『北国文化』49号(1950年2月) 石川文化懇話会編 ▶ 80頁、文芸放談(桑原武夫/深田久弥) / 岩倉政治氏への疑問(西義之) 他、ヤケ痲 1950 北国新聞社 2,000
- 228 『北国文化』51号(1950年4月) 石川文化懇話会編 ▶ 82頁、図書交換室他、少シミ少痲 1950 北国新聞社 2,000
- 229 『北国文化』52号(1950年5月) 石川文化懇話会編 ▶ 88頁、ルポタージュ特集/さまよえる魂—松原病院探訪記(西敏明)/ストリップ・ショーの人たち(西義之) 他、少シミ少痲 1950 北国新聞社 2,500
- 230 『北国文化』54号(1950年7月) 石川文化懇話会編 ▶ 88頁、同人雑誌のころ—新思潮第11次の頃(岩崎修) / 日本映画は何処へゆくの—座談(鈴木紀子/清水晶他) 他、ヤケ背痛 1950 北国新聞社 2,000
- 231 唯一の地方文化誌『北国文化』誌友会—會員募集(18×26センチ) ▶ 経年劣化 1950か 北国新聞社 1,000
- 232 『北国文化』55号(1950年8月) 石川文化懇話会編/若林喜三郎他 ▶ 82頁、小説特集—雨の日のあらしい(森山啓) / 旧四高旅行部回想(神保龍二) 他、少シミ少痲 1950 北国新聞社 2,500
- 233 『北国文化』56号(1950年9月) 石川文化懇話会編 ▶ 92頁、書かれざる特ダネ—第一線新聞記者座談会(石川新聞記者/石林文吉他) / 朝鮮風物誌・回想の故郷—日本帝国主義下のころ(沢木欣一) 他、少シミ少痲 / トジワレ 1950 北国新聞社 2,500
- 234 『観光と美術工芸』創刊号(1949年11月) [発行地・金沢市] 塚田隆編/井村重雄/直山与二/小松砂丘/都賀田勇馬他 ▶ 44頁/良、少シミ少痲 1949 金沢北日本社 9,000
- 235 『観光と美術工芸』(1950年2月) [発行地・金沢市] 塚田隆編/北出塔次郎/玉井敬泉他 ▶ 44頁/良、特輯小説—錢屋五兵衛(土谷信之介) / グラビア芸妓写真他、少シミ少痲 1950 金沢北日本社 8,500
- 236 『観光と美術工芸』(1950年3月) [発行地・金沢市] 塚田隆編/畠山錦成他 ▶ 44頁/良、絵・金沢東廓検査の名妓たち / 野人茶道鼎談(石川県工芸指導所長・高橋勇/富山新聞社長・毛藤一雄他)、少シミ少痲 1950 金沢北日本社 9,500
- 237 『観光と美術工芸』(1950年4月) [発行地・金沢市] 塚田隆編/相馬御風/本多静六/北出塔次郎、小松砂丘他 ▶ 56頁/良、絵・金沢と小松名妓連 / 宗教平和博と全国民生委員大会他、少シミ少痲 1950 金沢北日本社 12,000
- 238 『映画文化』1巻6号(1946年12月) [発行地・金沢市] 新保辰三郎編/大沢衛他 ▶ 18頁、映画時評—生徒児童の映画鑑賞と父兄への希望(瀬尾喜三男) / 映画文化ニュース—鈴木紀子氏協会委員に推薦他、トジ穴少シミ少痲 1946 石川映画文化協会 5,000
- 239 『映画文化』1巻7・8号(1947年2月) [発行地・金沢市] 新保辰三郎編 ▶ 26頁、地理歴史映画・金沢城秘史について(戸田金作) / 映画研究の新しい行き方(鈴木紀子) / スメル館開館を祝ふ他、トジ穴少シミ少痲 1947 石川映画文化協会 6,500
- 240 『映画文化』2巻3・4号(1947年4月) [発行地・金沢市] 新保辰三郎編 ▶ 26頁、私の映画雑感(水戸光子) 他、トジ穴少シミ少痲 1947 石川映画文化協会 5,000
- 241 『映画文化』10号(1947年5月) [発行地・金沢市] 新保辰三郎編 ▶ 32頁、演劇人から見た映画・北陸新劇協会同人集1「心の故郷」(和沢昌治) / 新憲法制定記念映画他、トジ穴少シミ少痲 1947 石川映画文化協会 12,000
- 242 『映画文化』12号(1947年8月) [発行地・金沢市] 新保辰三郎編 ▶ 24頁、「戦争と平和」から得たもの—女学生に感想をさく座談会(司会映文会員/山本弘子) / 「戦争と平和を観て」(北陸興業/北村吟子) 他、トジ穴少シミ少痲 1947 石川映画文化協会 12,000
- 243 『映画文化』13号(1947年9月) [発行地・金沢市] 新保辰三郎編 ▶ 28頁、「心の旅路の印象」(秋元波留夫) / ハワイで受ける日本映画 / 教育映画のあり方(戸田金作) / 非劇場運動劇映画登場 / おミスの持参金(宮崎正孝) / 9月の映文レポート他、トジ穴少シミ少痲 1947 石川映画文化協会 25,000
- 244 『蒼苑』5号(1948年11月) 杉本寿恵男編 ▶ 52頁、トジ穴ヤケ痲 / 個人印 1948 福岡県立久留米高等学校文芸部 2,000
- 245 『小説特集』2巻2号(1948年7月) [発行地・京都市] 中川喜久男編/森下雨村/徳川夢庵/北畠八穂他 ▶ 110頁、探偵小説特集号 / 西湖の屍人(海野十三) 他、少シミ少痲 1948 牧歌社 18,000
- 246 山形芸術協会々員名簿 昭和二十七年四月二十九日現在 ▶ 18頁 / 別刷「山梨芸術協会規約案」付、ヤケ少痲 1952 2,000
- 247 『石川民報』1950年3月21日号外 [発行地・金沢市] 松本一郎編 ▶ 1頁、小倉県出納帳も書類償却か / 宗教博は地方権力の陰謀—県政をふみにじり / ジョヤ教まかりとおる、墨汚有2×2センチ 1950 日本共産党石川県委員会 3,500
- 248 宗教平和博覧会案内 [発行地・石川県金沢市] ▶ 32頁 / 並上、大本愛善美術館 / 第三佛教館他、4頁分少ペン 1950か 黒田哲平 15,000
- 249 全日本宗教平和博覧会関係紙片四種一括 [開会式次第] (15×10センチ) / 「入場券」(大人14×9センチ) / 「入場券」(小人7×10センチ) / 「記念紙 [板刷]」(北陸鉄道 / 5×9センチ) ▶ 橋本芳契旧蔵博覧会からの封筒付、経年劣化 1950 全日本宗教平和博覧会事務局 10,000
- 250 『東海人』復刊号(1951年4月) (「趣意書」「事業報告」各1枚付) 大室貞一郎編 / 曾宮一念他 ▶ 42頁、特集—選挙戦線を衝く / 小説—音無河畔(尾崎士郎) 他 1951 静岡県学園文化協会 9,500
- 251 『三高文学』(『創造』別冊) 1951年7月 [発行地・福岡県] 宇佐候哉他編 ▶ 24頁、図書館落成記念号、シミ痛 / 2頁ペン 1951 福岡県立三池高等学校文芸部 1,500
- 252 『自由文化』創刊号(1946年6月) [発行地・京都市] 梅村正夫編 / 奥ひめお / 千葉雄次郎 / 新居格 / 吉井勇他 ▶ 64頁、創刊の辞第四世界へ他、ヤケ背痛 / 痲 1946 日本自由文化協会 2,000

- 253 『蒼苑』6号 (1949年3月) 杉本寿恵男編
▷ 62頁、原爆への道一或る傷病兵の手記より
(春野百合子) 他、少シミ少疲 トジ穴/記名
1949 福岡県立久留米高等学校文芸部
4,000
- 254 『あざみ一俳句文化雑誌』1947年6月~1950
年4月うち、不揃18冊分 武藤光武編/安住
敦他 ▷ 厚さ5センチ/1947年6、8、10、
11月/48年1、3、4、6、11、12月/49年1、2、
4、5、9~11月/50年4月/俳句作家懇話会に
就いて(加倉井秋を)/特輯一裏から観た俳
壇/『俳壇諸大家に訊ねる』(回答)、『あ
ざみ』楽屋断/特輯一現代作家の動向/佐々
木邦と俳句(武野藤介) 他、ヤケシミ疲/印
1947~1950 あざみ社 35,000
- 255 『文学雑誌』1947年2月〔発行地・大阪市〕
清水茂三編/長沖一/藤澤恒夫/織田作之
助/杉山平一他 ▷ 64頁、遺稿(織田作之
助)、少シミ少痛 1947 三島書房 12,000
- 256 『アカデミア』1巻1号 (1947年2月)〔発行
地・京都市〕 片子沢千代松編 ▷ 32頁/
並上、アカデミアの夢(新村出)/医療の民
主化(美馬陽)/役員名簿他、少シミ少疲
1947 京都学士会 7,000
- 257 『原始林』1947年4月〔発行地・長野市〕
長野工機部労働組合文化部編 ▷ 50頁、巻
頭言一工機部文化と原子林/セネスト中止ま
で他、個人印/少シミ 1947 長野工機部勞
働組合文化部 3,500
- 258 『つくし』1947年度ばん〔発行地・岡山
県〕 津山国語クラブ同人編 ▷ 56頁、五年
の部一引揚げるまで他、シミ痛 1948 津山
国語クラブ 3,500
- 259 『創造』4号 (1951年12月)〔発行地・福岡
県〕 藤江美智子編 ▷ 40頁、丹竹の夜
(内田康男) 他、トジ穴少シミ少疲/個人印
1951 福岡県立三池高等学校文芸部 2,500
- 260 『創造』2号 (1950年3月)〔発行地・福岡
県〕 高原知弘編 ▷ 58頁、所謂アプレ
ゲールに就いて(野口弘) 他、トジ穴シミ
疲/裏表紙ペン書 1950 福岡県立三池高等
学校文芸部 2,500
- 261 『創造』5号 (1952年10月)〔発行地・福岡
県〕 早川美編 ▷ 78頁、三池高校文芸部
創立三十五周年記念号、トジ穴ヤケ疲/少朱
1952 福岡県立三池高等学校文芸部 4,000
- 262 『蒼空』復刊第5号 (1955年2月)〔発行
地・長崎県〕 山本八郎編 ▷ 58頁、戯曲
一帰国(三年/溝田安男) 他、トジ穴/シミ
痛/2頁朱 1955 長崎市立高等学校生徒会
4,000
- 263 『蒼空』7号 (1957年2月)〔発行地・長崎
県〕 上野厚編 ▷ 62頁、市高生の理想の
人間像/詩一修学旅行雑感他、トジ穴/ヤケ
大痛/4頁ペン 1957 長崎市立高等学校生徒
会 4,000
- 264 『長崎県教育研究』62号 (1954年11月)
長崎県教育研究所編集委員会 ▷ 146頁、特
集一産業教育と職業指導/農村青年と定時制
教育(前田勇夫)/職場から見た学校一卒業
生の生活記録他、記名/トジ穴/ヤケ少痛
1954 長崎県教育研究所 6,500
- 265 『郷土俱樂部』1号 (1950年4月)〔発行
地・大分県西国東郡〕 林田正晴編 ▷ 92
頁、発刊に当りて/公安委員問題/戦災者/
ボスの街・香々地町周念寺事件を解部す一真
相はこうだ他、トジ糸補強/4頁朱 1950 林
田正晴 6,500
- 266 『郷土俱樂部』2号 (1950年6月)〔発行
地・大分県西国東郡〕 林田正晴編 ▷
128頁/並上、参議戦々後講評記/戦争はなく
なるか/英語講座/遺家族を護れ/漫画風土
記/郡の動き/湖風(シベリヤ収容所)(岡
野草二)/第二号発刊に当りて(社長/土谷
俊次朗) 郷土西国東の機関誌として総司令部
新聞課長インボデン少佐の要望旨に合致し
て居ることを強調する他、少シミ少疲 1950
林田正晴 18,000
- 267 『スポーツヒロシマ』創刊号 (1948年1月)
遠北真一編/広島軍政市民間情報教育課
長・ロバート・M・ヘイガー ▷ 28頁/並上、あ
の頃その頃(福岡喜義)/広島卓球界に活躍
する人々(二宮勇) 他、少シミ少疲 1948 ス
ポーツヒロシマ発行部 28,000
- 268 『奔流』2号 (1947年5月)〔発行地・福岡
県八女郡〕 福岡県八女郡福岡青年師範学
校文芸部 ▷ 50頁、民主主義は私に何を救へ
たか(附3女/藤吉美津子) 他、少シミ少疲/
記名 1947 福岡県八女郡福岡青年師範学校
文芸部 6,500
- 269 『新作家』2号 (1951年3月)〔発行地・福
岡県八幡市〕 今冬吾編 ▷ 80頁、星の下
の(Quartette)(今官一) 他、ヤケ痛/表紙
4x2センチ欠 1951 紀の国屋書房 5,000
- 270 『九大文学』11号 (1941年12月) 九州帝
国大学興学会文芸部編 ▷ 128頁、ヤケシミ
背6センチ欠 1941 九州帝国大学興学会文
芸部 4,000
- 271 『探求』創刊号 (1946年7月)〔発行地・福
岡県久留米市〕 九州学生同盟文化局文芸
部・原襄一郎編 ▷ 60頁、学生総合雑誌/学
生運動の意義(浦敏雄)/博多湾と貝(佐藤
美美)/学生の動き他、少シミ少疲/背テー
プ補修 1946 金文堂 15,000
- 272 『ENGLISH』1号 (1948年7月)〔発行地・
広島市〕 小島俊雄編/坂西志保/竹友藻
風/青木常雄他 ▷ 100頁、少痛少疲 1948
文化評論社 7,000
- 273 『アメリカ大衆小説』(『月刊西日本』別
冊) 1948年9月〔発行地・福岡市〕 春山
行夫/大久保康雄訳、小野佐世男/英巴
夢/初山滋他絵 ▷ 68頁、ヤケ少疲/裏表
紙余白角1x1センチ欠 1948 西日本新聞社
28,000
- 274 『森高芳版画1~4集揃、4冊分(版画百撰/
版画寸描/妙果/版画てのあと)』〔発行
地・金沢市〕 森高芳 ▷ 並、1944年石川
県少国民文化協会絵画部長、少シミ少疲 1972
~1991 15,000
- 275 『財界観測』1950年11月1日号(雑誌) 竹
村幸一郎編 ▷ 総72頁、戦争景気トドッジ
インカ/豊田自動織機/資産再評価は如何に
実施されたか他、少シミ少疲 1950 野村證
券 1,000
- 276 『財界観測』1950年11月15日号(雑誌)
竹村幸一郎編 ▷ 総72頁、問題化する地方
財政/苦小牧製紙他、少シミ少疲 1950 野村
證券 1,000
- 277 『財界観測』1950年12月15日号(雑誌)
竹村幸一郎編 ▷ 総80頁、投資家保護の限
界/特需と日本経済/資産再評価は如何に実
施されたか他、少シミ少疲 1950 野村證券
1,000

- 278 『わだち一運業務雑誌』1950年1月号 宮野文治編 ▶ 96頁、変革期にある小運送業の諸問題／石黒敬七「とんちメイ答の想い出」他、少シミ少疲／記名 1950 日本運通わだち編集部 3,500
- 279 『文学生活』1950年2月(創刊号)(雑誌) 中沢芳郎編／所武雄／寺崎浩／十返筆／小松清他 ▶ 100頁、少シミ少疲 1950 新文化社 2,500
- 280 『文学生活』3、4号、2冊分(1950年)(雑誌) 中沢芳郎編／井上靖／十返筆他 ▶ 総192頁／1950年7月、10月、少シミ少疲 1950 新文化社 2,500
- 281 『文学生活』1952年3月(7号)(雑誌) 中澤芳郎編／田邊茂一／國井長次郎／福田清人／三浦朱門他 ▶ 72頁、同人雑誌礼讃他、少シミ少疲 1952 新文化社 2,000
- 282 『文学生活』1952年8月(9号)(雑誌) 中澤芳郎編／草川俊他 ▶ 64頁、少シミ少疲 1952 新文化社 1,000
- 283 『新浪漫』1951年4月(2号)(雑誌) 山下均編／荒木俊子他 ▶ 78頁、同人展望一東野辺薫、少シミ少疲 1951 日本文学集 1,800
- 284 『新浪漫』1951年1月(3号)(雑誌) 山下均編 ▶ 98頁、同人雑誌評他、少シミ少疲 1951 日本文学集 1,800
- 285 『平和』1952年6月(創刊号)(雑誌) 淡徳三郎編／風見章他 ▶ 51頁、原子爆弾だけが問題なのではない—細菌兵器の威力他、シミ少痛 1952 青木書店 800
- 286 『平和』1952年8月(2号)(雑誌) 淡徳三郎編 ▶ 51頁／閲覧紙片貼、最近兵器使用に関するメッセージ／朝鮮休戦会談をめぐりて他、シミ少疲 1952 青木書店 2,000
- 287 『平和擁護』1951年10月(1号)(雑誌) 平和社編 ▶ 54頁、特集・平和の共存について／「平和擁護」誌について他、少シミ少疲／記名 1951 平和社 3,500
- 288 『平和擁護』1951年12月(2号)(雑誌) 平和社編 ▶ 55頁、記名少シミ少疲 1951 平和社 3,500
- 289 『世界感覚』1950年9月(雑誌) 田村吉雄編／猪熊弦一郎(表紙・カヅト)／中島健蔵他 ▶ 84頁、背痛／少シミ少疲 1950 世界感覚の会 4,000
- 290 『詩誌ハンイ』1953年5月(6集)(雑誌)〔発行地・秋田県〕 柴田正夫編／畠山義郎他 ▶ 10頁、秋田詩人クラブ結成、少ヤケ少疲 1953 半夷発行所 6,000
- 291 『龍(詩誌)』1952年12月号(雑誌)〔発行地・福島県郡山市〕 大瀧清雄編 ▶ 26頁、少ヤケ少疲 1952 龍詩社 2,000
- 292 『木靴第三冊』1952年11月(3号)(雑誌)〔発行地・広島県深安郡〕 木下夕爾編 ▶ 16頁、少シミ少疲 1952 木靴発行所 1,500
- 293 『針葉樹』1953年2月(2号)〔発行地・静岡市〕 築地良明編 ▶ 29頁、少シミ少疲 1953 針葉樹詩人会 2,000
- 294 『新劇場』1951年8月号(雑誌) 竹森久次編 ▶ 102頁／並、演劇綜合雑誌／杉浦明平「ストリップ海をわたる」／劇団人形クラブ発足にさいして他、記名／少シミ少疲 1951 五月書房 1,500
- 295 『研友』1953年4、5、6月合併号(雑誌) 越太郎編 ▶ 26頁、座談会・「越所長を囲んで」／新しい郵便の事故他、少シミ少疲／印 1953 仙台郵政研修所同窓会 1,500
- 296 『観光と美術工藝』1949年11月～1950年6月号、7冊分綴合本1冊(雑誌) 塚田隆編／井村重雄／小松砂丘／林屋亀次郎他 ▶ 厚さ2センチ／1950年1、2、3、4、5月号、観光と温泉／金沢東廊檢番の名妓たち／北日本社代理部だより／金沢西廊の名妓さんたち／宗教平和博と全国民生委員大会／小松砂丘「北陸温泉浪漫記」／芦原温泉点描／能登の宇出津と輪島／芸者と仲居さん他、1冊表紙8頁分朱／1冊表紙3×3センチク／少シミ少疲 1949～ 金沢日本社 25,000
- 297 『デカメロン』1950年5月号(雑誌) 佃留雄編／柴田鍊三郎／真鍋元之／野田開作他 ▶ 168頁、特集・パンパン他、ヤケ少疲 1950 竹内書房 3,500
- 298 『四国文学』1950年9月(6号)〔発行地・丸亀市〕(雑誌) 四国文学会編／井野川潔他 ▶ 104頁、長野廣生「四国作家論一洲の内徴論」／「天皇行幸について」の感想／竹森一男「地方文学の独立」／壺井繁治「丸亀の思い出」他、背痛／少ヤケ少疲／裏表紙6センチ裂 1950 公民書房 25,000
- 299 『文章俱樂部』1952年11月(歳末号)(雑誌) 牧野武夫編 ▶ 88頁、創作と鑑賞・現代作家の文章一井上靖／小田久郎「創作・勾配」他、少シミ少疲 1952 文章俱樂部社 2,000
- 300 『東海作家』1952年5月(創刊号)〔発行地・静岡県島田市〕(雑誌) 田中伊市編 ▶ 96頁、積惟勝「真実の書けない子供たち」／下川儀太郎「ビルマの一週間」他、シミ少疲 1952 東海作家社 3,000
- 301 『ネナシゴヅラ』1957年7月(4号)〔発行地・兵庫県〕(雑誌) ▶ 49頁、ECORNIFLE UR(エコーフルール)、少シミ少疲 1957 甲南大学文学研究会 2,500
- 302 『新文壇(投稿雑誌)』1954年2月(創刊号)(雑誌) 向山正治編 ▶ 26頁、少シミ少疲 1954 新文壇社 2,800
- 303 『文芸日本』1953年3月号(雑誌) 大鹿卓編／阿部金剛他 ▶ 80頁、伊知地進「北京の先輩」／大正文学を語る(座談会)他、少シミ少痛 1953 文芸日本社 2,500
- 304 『エスポワール』1953年1月〔発行地・広島市〕(雑誌) 泉和幸編 ▶ 90頁、ローカル雑誌のぞき問評—『広島文学』／『エコー・ド・ヒロシマ』／『文学共和国』、装甚痛背欠／少シミ少疲／頁2枚余白少欠 1953 エスポワール文化協会 3,500
- 305 『新しい朝鮮』1955年3月号(5号)(雑誌) 李贊義編 ▶ 74頁、廖承志「華僑問題について」／特集・ヒロポン／相馬よし子「となりの朴さん」他、少シミ少疲 1955 新朝鮮社 15,000
- 306 『しらはと』(1952年)〔学校文集／学級文集集〕 金沢大学教育学部付属中学校1年D組文化部・新聞部編 ▶ 40頁、中国の思い出(越田)／満洲での話(赤祖父)他、シミ痛大記名／資料ナラ可 1952 金沢大学教育学部付属中学校1年D組文化部・新聞部 4,000

- 307 『PTA教室』1953年3月(雑誌) 秋元忍編
▷ 64頁、読売新聞青年部長・渡辺智多雄他
「結婚と人生・座談会」/写真版一働きながら
学ぶAさんのばあい/結婚特集/(覆面座談
会) 姑のいいぶん・嫁のいいぶん他、少シミ
少疲 1953 中央出版文化会 1,500
- 308 『6-3教室』1948年1月号(雑誌) 周郷博
編 ▷ 64頁、宮本卓「浮浪児」他、シミ疲
1948 新教育協会 1,500
- 309 『6-3教室』1948年9月号(雑誌) 周郷博
編 ▷ 64頁、和田誠他(東京都世田谷区代沢
小学校六年)「(鉛筆対談) 子供だけの児童
図書評」/特集・新教育と教材/深川恒喜
「学級文庫をどう経営するか」/学級文庫に関
する調査/推薦したい児童図書(はがき回
答)他、少疲/4頁分えんぴつ 1948 新教育
協会 12,000
- 310 『リーダーシップ』1952年11月号(雑誌)
山本佳男編 ▷ 74頁、静岡県浜松地区駐在生
活改良普及員・安間節子「農家の台所改善」
/ (口絵) カメラに映る全国大会の表情
/ユースホステル旅行記他、1952 日本
中学校農業クラブ連盟 4,500
- 311 『青年(二上校下青年団機関誌)』1955年
12月(1号)〔発行地・富山県〕(雑誌)
田中裕編/西村松次郎他 ▷ 43頁、原爆地
に想ふ一戦後十年をかえり見て/親達へのお
願い他、ヤケシミ少疲 1955 二上校下青年
団 6,800
- 312 『女性福島』1968年8月号(雑誌) 高田琴
子編 ▷ 30頁、特集・農村もんだいを考える
/農村の母と子のもんだいを考える/「現
地ルポ」忍草の母親たち/献血できない農家
の主婦他、少シミ少疲 1968 福島県婦人問
題研究会 4,500
- 313 『世界婦人大会のために連絡活動ニュー
ス』1、2号揃、2部分(「婦人の権利の宣
言」付(1枚)) (雑誌) 丸岡秀子(評
論家)/高群逸枝他 ▷ 総8頁/1953年3、4
月、世界婦人大会代表に旅券を、少ヤケ少疲
1953 世界婦人大会日本準備会 6,500
- 314 『潮(うしお)』1952年6月(創刊号)(雜
誌) 山本茂実編/風見章他 ▷ 116頁、農
村の次男坊をどこへ棄てるか? /アジア青年
会議他、少シミ少疲 1952 葦会 2,000
- 315 幻灯解説書—新しい中国 ▷ 73頁/並、少
シミ少疲 1959年か 総評中小企業労働組合
代表団 6,000
- 316 『情緒その後(同人詩誌)』1990年2月(5
号)(雑誌) 河邨文一郎他 ▷ 108頁、追
悼・入江好之/佐々木逸郎「楡書房のころ」
他、4頁極少パン 1990 情緒その後刊行会
2,000
- 317 『情緒その後(同人詩誌)』1990年10月(6
号)(雑誌) ▷ 132頁、追悼・木内進/龍星
閣戦前版リスト他、極少疲 1990 情緒そ
の後刊行会 3,000
- 318 『情緒』1947年8月(創刊号)〔出版地・旭
川市〕(雑誌) 下村保太郎編 ▷ 16頁/
並上、下村保太郎「「ほんの話」その他」/
木版(下村保太郎)/中家金太郎「スピロ
ヘータパリーダ昇天」他、少シミ少疲 1947
情緒刊行会 7,000
- 319 『情緒(詩誌)』1948年7月(2号)〔出版
地・旭川市〕(雑誌) 下村保太郎編/表
紙・下村保太郎他 ▷ 12頁、楡川淵「同人
誌展望—いちねんを顧みて」、少シミ少疲
1948 情緒刊行会 4,000
- 320 『親ごころ』1952年3月(雑誌) 春田義正
編 ▷ 36頁、晁島敏「宗務総長辞職のこと
ば」/名刺めぐり—金沢・専光寺/笠森伝繁
「わが青春の記」他、シミ疲 1952 真宗大
派金沢別院 10,000
- 321 『蒼穹(あおぞら—福岡教職員組合若松支
部機関誌)』1958年3月(3号)(雑誌)
山本芳且編 ▷ 孔版/72頁、勤務評定と婦人
部他、シミ疲 1958 藤木秀夫 5,000
- 322 『学園評論』1954年3月号(雑誌) 全国編
集委員会編 ▷ 66頁、中大・歴史学研究会
「女子労働者と私たちのサークル」/京都・山
城高定時制文芸部「(特集) 夜学生の詩」/
京大・西村一雄「『平凡』読者との文通につ
いて」他、ヤケシミ経年劣化 1954 学園評
論社 2,500
- 323 『火』1955年2、6月号(6、7号)、2冊分
(雑誌) 「火」同人編集委員会編 ▷ 総110
頁、間英二「少年工」/同人名簿、ヤケシミ
痛大/不美/資料ナラ可/1頁ペン書込 1955
早稲田大学「火」同人 16,800
- ◎
- 324 『山口図書館だより』21~29号(1952~54
年)9部分揃、糸織じ1冊分(雑誌) 渡辺
秀忠編/村上清造他 ▷ 1952年7、10
月/1953年1、4、7、12月/1954年3(第2年4
号)、3(第3年1号)、9月、図書館入白書
貸出文庫のあらまし/清池正夫「公共図書館
は社会教育機関にすぎないのか」/伊藤新一
「我村の新生運動と我図書館」、少シミ少疲/
頁1枚1×1センチ穴 1954 山口県立山口図書
館 15,000
- 325 劇団たんぼぼ(創立15周年記念)〔パンフ
レット〕(青年座「川和孝」宛案内1枚
付)〔発行地・浜松市〕▷ 6頁分 1960 教
育演劇研究協会劇団たんぼぼ 6,500
- 326 十五周年教育演劇研究協会劇団たんぼぼ
〔案内〕〔発行地・浜松市〕▷ 6頁分 1960
教育演劇研究協会劇団たんぼぼ 6,000
- 327 『話題』1953年1月1日号(雑誌) 柴田正
治編 ▷ 38頁、ガリバン職人の元公族と話題
の新婚人—桃山虔一氏の近況/パチンコ従業
員の日/戦争に禍いされた現在の古本屋/
紙芝居の実態を探る—八十万円の家を建てた
人もいる他、少シミ/装端痛 1953 中外情
報社 4,000
- 328 『専門技術員資料』1954年4月(5号)(雜
誌) 農林省農業改良局編 ▷ 75頁、稲栽
培試験成績概要他、トジ穴/シミ疲 1954 農
林省農業改良局 3,500
- 329 新しい町への歩み—御経塚町(正誤表付)
〔発行地・石川県〕 御経塚町(石川県)
▷ 45頁、新生活運動が芽ばえるまで/神社合
併の問題/生活改善委員会他、少シミ少疲/
印 1960 御経塚町(石川県) 4,500
- 330 野々市市農業(特集号) 石川県野々市町
▷ 24頁、青年に期待する新興郷土の建設(農
村青年建設班の実施とその歩み)、少シミ少
疲/記名1頁朱 1961 石川県野々市町
3,500
- 331 野々市市農業 石川県野々市町 ▷ 36頁、
農業経営改善の歩み/青年研修所利用実績、
少シミ少疲/個人印 1962 石川県野々市町
4,000

- 332 砂丘地における野菜栽培農家主婦の健康調査 (1973年4月) 石川県農業改良課 ▶ 12頁、農婦症候群、経年劣化 1973 石川県農業改良課 2,000
- 333 農山漁家主婦の健康調査1972、73年、2部分 石川県農林部農業改良課 ▶ 総64頁、3カ年の調査結果他、少シミ少疲/印 1972 石川県農林部農業改良課 4,000
- 334 『コスモス』再刊2号 (1957年9月) (雑誌) ▶ 50頁、向井孝「内海泡沫の反戦詩」、少ヤケ少疲 1957 コスモス社 1,200
- 335 虹にむかって走っていたら (随想集) 西口嘉昌 ▶ 初カバ/217頁/並上、著者 (働く少年少女の作文) 1955年労働大臣賞、少シミ少疲 1998 北国新聞社出版局 (制作) 2,000
- 336 『労働宮城』1953年1月~11月、不揃8冊分 (雑誌) 斎藤倫一編/橋森義松編 ▶ 厚さ2.5センチ/1953年3、5~8、10月、働く婦人の動き/働く少年少女の詩/働く人々の生活記録-新米坑夫の手記/特集・第五回婦人週間/働く婦人の一日講習会/朝鮮休戦後の労使関係/ (中学作文誌) 夏休みの音信他、ヤケ大シミ少疲 1953 宮城県労働部労政課 25,000
- 337 『怒涛』1953年1月号 [発行地・石川県金沢市] (雑誌) 新村助喜編/石川県知事・柴野和喜夫/谷口正幸他 ▶ 49頁、県庁男性方に申し上げたい/自戒とともに県庁女性の方々に他、シミ少疲/2頁朱 1953 石川県職員労働組合 2,000
- 338 『年輪』1953年7月 (創刊号) [発行地・石川県金沢市] 新橋芳郷編/岡良一/棚木一良他 ▶ 18頁/編者旧蔵印/山本清嗣「放送余談」/工清定「文芸やくざの弁」/藤田福夫「石川県短歌史年表稿補遺」他、トジ穴少シミ少疲 1953 年輪短歌会 20,000
- 339 『学校図書館』1952年7月号 (21号) (雑誌) 松尾弥太郎編 ▶ 62頁、石山修平「学生と教師の読書について」/三人冗語 [出版評判記] /生徒の読書体験他、少シミ少疲 1952 全国学校図書館協議会 4,000
- 340 『学校図書館』1952年10月号 (24号) (雑誌) 松尾弥太郎編 ▶ 62頁、特集・読書指導の実践/座談会・阪本一郎他/長崎島の巻「原爆のあとに (学校図書館風土記)」他、少シミ少疲 1952 全国学校図書館協議会 4,000
- 341 『学校図書館』1953年5月号 (30号) (雑誌) 松尾弥太郎編 ▶ 78頁、松尾弥太郎「学校図書館法案解説」/どうして学校図書館ができたか一座談会・北多摩学校図書館連絡会/三大取次会社の図書目録他、少シミ少疲/図書館旧蔵印 1953 全国学校図書館協議会 2,500
- 342 『文芸手帖』1957年2月号 (雑誌) 瓜生卓造編/八木義徳/石原慎太郎他 ▶ 49頁、大学左派時代 (高見順と私) 他、少シミ少疲 1957 文芸手帖の会 2,500
- 343 主婦の作文 吉川普編/吉川普 (発行者) /新延修三・婦人朝日編集長 (あとがき) /佐藤泰治 (カット) 他 ▶ 262頁、木とセーターと/旧軍人他、ヤケ少痛/記名 1952 六興出版社 6,500
- 344 『知性』1956年8月号 (雑誌) 小石原昭編 ▶ 278頁、佐藤忠男他「座談会・大東亜戦争とぼくら」/五島勉「真夜中のアベック達一深夜喫茶と皇居前広場」他、少シミ少疲 1956 河出書房 1,500
- 345 『人生-今日の教養雑誌』1955年9月号 (雑誌) 池田敏子編/中野好夫/吉田健一/馬島備他 ▶ 102頁、特集・金銭と人生/夜間学生の実態-働きながら学ぶ青年たち/水谷啓二「悩める者の父・森田正馬先生」他、各名印/少シミ少疲 1955 池田書店 3,500
- 346 『辺境文学』4号 (1957年2月) [発行地・北海道土川郡] 真崎吾吾編/郭沫若/八匠衆一/川上澄生 (カット) 他 ▶ 56頁/並、佐藤喜一「黎明期の北海道文学」他、少シミ 1957 辺境文学会 2,000
- 347 敗戦の痕 鳥養利三郎 ▶ 箱/136頁/並、占領政策と大学行政/適格審査/学制改革とイールズ事件他、経年劣化 1968 仁友会 1,500
- 348 学生たちの記録 野間宏編/永丘智郎編 ▶ 初カバ帯/271頁/良、戦後学生生活の実態-全国大学生から公募した真実の声/京都大学・西村一雄「平凡」読者との文通/一橋大学・谷川弘志「砂川闘争の十三日」他、極少疲経年劣化 1956 河出書房 2,500
- 349 教室日誌 池田勝志 ▶ カバ/223頁、「東京の一私立高等学校の生徒たち」/「思索と生活との記録…」、少シミ少疲 1956 二玄社 6,000
- 350 伸びゆく一働く年少者の生活記録 (1967年度版) 労働省婦人少年局編 ▶ 初帯/312頁/並上、友和会と私/横尾松男 (印刷工)「工場経営の夢」他、少ヤケ経年劣化 1967 斯文書院 6,800
- 351 『週刊読売』1956年5月27日号 (雑誌) 金久保道雄編 ▶ 82頁、わたしたちの仲間一「めだか」グループ (石川県金沢市役所)「定時制高校の卒業生や生徒が大部分である…」/未亡人も人間である一性生活の実体調査から/太陽族まかり通る他、2頁ペン書/ヤケシミ少疲 1956 読売新聞社 1,000
- 352 風雪にたえて (第3集) 一定時制高校生徒の生活記録 (発行者サイン入) 全国高等学校長協会定通部会編/全国高等学校主事協会編/日本働学青少年協議会編 ▶ 234頁/並、少シミ少疲 1959 日本働学青少年協議会「風雪にたえて」発行部 10,000
- 353 この子を (武井昭夫宛著者サイン) 岩間正男/発行者・長井修一 ▶ 114頁、シミ少疲 1955 淡路書房 4,000
- 354 『実話倶楽部』1950年6月号 (雑誌) 青山俊文二編/発行者・羽成治夫 ▶ 134頁、少シミ少疲 1950 実話読物社 1,000
- 355 『文学四季』1959年1月 (3巻1号) (雑誌) 筒井敏雄編 ▶ 102頁、雑談・日本文壇史/同人雑誌評他、少シミ少疲 1959 文学四季社 1,500
- 356 『しらはに (白埴)』20、21号、2冊分 (1960~61年) [文学同人雑誌他] 岩崎フサ子編 ▶ 総40頁/1960年10月/1961年1月、少シミ少疲 1960~ 斎藤幾世己 2,000
- 357 『すがお』1961年12月 (創刊号) 雲の会編 ▶ 96頁、すがお同人名簿 (八十三名)、ヤケ少疲 1961 雲の会 2,000

- 358 『MINERVA (ミネルヴァ)』1959年6月(22号)『発行地・沼津市』(雑誌) 渡辺多美子編▷100頁、特集・先輩としての小説家としての芹沢光治良／高等学校文芸部活動の実態調査(奈良県部)他、少シミ少疲 1959 沼津東高等学校文芸部 8,500
- 359 『白金文学』1956年12月(復刊3号)(雑誌) 耕治人編／玉置真吉／巖谷大四／松本亨／西脇順三郎／耕治人他▷60頁、少シミ少疲 1956 白金文学会 8,000
- 360 『しらかば』1959年5月号『療養所雑誌』岩田正光編▷21頁、正木不如丘「海拔抄選後評」、少シミ少疲 1959 富士見高原療養所白樺俳句会 2,000
- 361 『北の文学』1958年2月(4号)『発行地・盛岡市』(雑誌) 岩亀精造編▷188頁、今野宏「土」をこえるもの一農民文学について／宮沢清六・森莊巳池他「閑登久也追悼」、瀧川正「暴言にも申すー北の文学」評を批判しつつ、シミ少疲／背タイトルペン書 1958 新岩手社 2,000
- 362 『貌』1958年6月(6号)(雑誌)▷74頁、安田武「戦後はまだ終っていない一再読「きけわだつみのこえ」／「貌」同人住所録他、少シミ少疲 1958 「貌」同人会 2,000
- 363 『旅のよそおい』1958年10月 片岡義信編▷32頁、十河信二(国鉄総裁)・望月優子(女優)「対談・明るい共同生活を語る」／駅売り名産あれこれ他、少シミ少疲 1958 交通道德協会 2,000
- 364 『ラジオ東京』1956年1月1日号(雑誌) 庄子勇之助編／正岡容／火野葦平他▷86頁、年末年始ラジオ特集番組／ことしはテレビの年他、少シミ少疲 1956 ラジオ東京 3,000
- 365 『放送』1949年11月号(雑誌) 奥屋熊郎編▷58頁／並、特集・民間放送局の構想／マイク探訪発禁集一お蔵なつた特ダネと録音他、少シミ少疲 1949 日本放送出版協会 2,000
- 366 『放送』1949年3月号(雑誌) 奥屋熊郎編▷56頁／並、「男娼の森」二十四時間社会の窓他、少シミ少疲 1949 日本放送出版協会 2,000
- 367 『放送』1951年2月号(雑誌) 奥屋熊郎編／笠置シズ子／灰田勝彦他▷74頁／並、葉書回答／座談会・ストリップショウと安全娯楽／報道部の一他、少シミ少疲 1951 日本放送出版協会 2,500
- 368 『放送文化』1951年10月号(雑誌) 竹田徳義編▷48頁／並、少シミ少疲 1951 ラジオ・サービス・センター 1,500
- 369 『放送文化』1952年1月号(雑誌) 竹田徳義編▷48頁、島田一男「探偵小説と放送劇」／鶴見良行「放送の信頼され方について」／新しい農村一企画から放送まで他、シミ少疲 1952 ラジオ・サービス・センター 2,000
- 370 『放送文化』1952年2月号(雑誌) 竹田徳義編▷48頁、深田久弥「洋楽と浪花節」／馬場・フランク「日本を去るにぞんで」／歳末たすけあい旬間を終って他、少シミ少疲／印 1952 ラジオ・サービス・センター 1,800
- 371 『放送文化』1952年4月号(雑誌) 竹田徳義編▷48頁、布留武郎「聴取者と読者一新聞型とラジオ型の考察」／中山卯郎「のど自慢全国コンクール」／ラジオ民衆学校一企画から放送まで」他、少シミ少疲 1952 ラジオ・サービス・センター 1,500
- 372 『放送文化』1952年5月号(雑誌) 竹田徳義編▷48頁、座談会・クイズ番組の魅力を検討する／小山栄三「世論調査とラジオ調査」、少シミ少疲 1952 ラジオ・サービス・センター 1,500
- 373 『放送文化』1952年6月号(雑誌) 竹田徳義編▷48頁、座談会・RFDの活動の現況とその将来(農事放送)／十勝沖震災NHKたすけあい運動から他、印／少シミ少疲 1952 ラジオサービスセンター 2,500
- 374 『放送文化』1952年9月号(雑誌) 西園寺義一編／宮内寒弥他▷48頁、特集・教育放送の研究(上)／和田信賢氏の訃を悼む／座談会・オリンピック放送を語る他、少シミ少疲 1952 ラジオサービスセンター 2,500
- 375 『放送文化』1952年10月号(雑誌) 西園寺義一編▷48頁／並、特集・教育放送の研究(下)他、少シミ少疲 1952 ラジオサービスセンター 2,000
- 376 『放送文化』1952年12月号(雑誌) 西園寺義一編／水木洋子／長岡輝子他▷48頁／並、座談会・一九五二年の放送を語る他、少シミ少疲／記名 1952 ラジオサービスセンター 1,500
- 377 『放送文化』1953年2月号(雑誌) 西園寺義一編▷48頁／並、特集・農村とラジオをめぐる諸問題(上)／森繁久弥「ぎゃくコース」他、少シミ少疲 1953 ラジオサービスセンター 2,000
- 378 『放送文化』1953年3月号(雑誌) 西園寺義一編▷48頁／並、特集・農村とラジオをめぐる諸問題(下)／農村のラジオ聴取者／関正雄「皇太子さまとテレビ」他、少シミ少疲／記名 1953 ラジオサービスセンター 2,500
- 379 『放送文化』1953年5月号(雑誌) 西園寺義一編▷48頁／並、座談会・婦人はラジオに何を望むか一都会、農村婦人にきく／特集・婦人とラジオ／舞鶴報道「現地ルポ・中共からの帰国者」他、少シミ少疲 1953 ラジオサービスセンター 3,000
- 380 『放送文化』1953年9月号(雑誌) 西園寺義一編▷48頁／並、特集・ラジオドラマと感情の表現／吉田昇「青年学級と放送」／太田堯「農村の子供と娯楽」他、少シミ少疲 1953 ラジオサービスセンター 1,500
- 381 『放送文化』1957年2月号(雑誌) 片山正則編▷64頁、鈴木博「奄美大島の子どもたち(へき地放送教育研究会)」／北林透馬「僕は放送局長[ピルマ]」／グラビア一農村のテレビ集団聴視」他、少シミ少疲 1957 日本放送出版協会 2,500
- 382 『放送文化』1957年4月号(雑誌) 片山正則編▷68頁／並、山口幸男「NHK勤労青年向け教養放送批判」／婦人と放送との関係／船田文子「盲人とラジオ」／ルポ・山のテレビ学校他、少シミ少疲／印 1957 日本放送出版協会 3,000
- 383 『放送文化』1957年8月号(雑誌) 服部一雄編▷68頁、有光成徳「農村におけるテレビ番組の受けとられ方一テレビ集団聴視実験

- 調査中間報告」／アジア地域放送会議／小山栄三他「座談会・人気娯楽番組の分析」他、少シミ少疲／トジ穴 1957 日本放送出版協会 2,500
- 384 『放送文化』1957年9月号(雑誌) 服部一雄編／長沖一(作家)他▷68頁／並、特集・教育テレビジョン他、トジ穴少シミ少疲／個人印 1957 日本放送出版協会 2,500
- 385 『放送文化』1957年11月号(雑誌) 服部一雄編▷68頁、ルボ・あまねく電波を一併地に働く放送局員／田沼修二「日本のチベット」を訪ねて」／松野善弘「VOAの生活を中心として」他、トジ穴／少シミ少疲 1957 日本放送出版協会 2,500
- 386 『放送文化』1954年9巻1～11号揃、11冊分(雑誌) 西園寺義一編▷厚さ4センチ／1954年1～8、10～12月、特集・テレビジョン放送／ルボルタージュ・僻地の放送聴取をたずねて／特集・教育放送の研究／青年学級講座／ルボルタージュ・奄美大島をたずねて一受信機贈呈の旅／盲ろう学校の放送利用他、トジ穴／シミ少疲／記名 ラジオサービスセンター 18,000
- ◎
- 387 『白象』1949年11月(1号)(雑誌) 巽聖歌編▷287頁、児童文学と児童文化／関英雄「現代少女雑誌批判」／雑誌展望／入札された外国児童図書他、ヤケ少疲 1949 白象社 3,500
- 388 『詩の国』1950年10月(2号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鴨原一穂編▷32頁、山形・佐藤藤三郎「かやぶきの校舎よさようなら」他、少シミ少疲 1950 教育文学研究会 12,000
- 389 『詩の国』1950年11月(3号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鴨原一穂編▷32頁、赤堀八束詩集／松平乗道「劇団誕生」／P.T.A—「詩の国」母の会発会のことば」他、少シミ少疲 1950 教育文学研究会 12,000
- 390 『詩の国』1950年7月(創刊号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鴨原一穂編▷32頁、佐藤藤三郎(山形県山元中学校二年)「学校が休みの日」／『中学詩の国』創刊に添えて、シミ少疲 1950 教育文学研究会 15,000
- 391 『きりん』1951年7月号〔発行地・大阪市〕(雑誌) 星芳郎編／東要三・さしえ▷36頁、小野十三郎「四国の友だち」他、少シミ少疲 1951 日本童詩研究会 6,500
- 392 『きりん』1951年5月号〔発行地・大阪市〕(雑誌) 星芳郎編／須田勉太・さしえ▷36頁、少シミ少疲 1951 日本童詩研究会 6,500
- 393 『きりん』1950年10月号〔発行地・大阪市〕(雑誌) 星芳郎編／秋野不矩・さしえ▷36頁、少ヤケ少疲 1950 日本童詩研究会 6,500
- 394 『きりん』1951年12月号〔発行地・大阪市〕(雑誌) 星芳郎編／吉原治良・表紙え／津高和一・さしえ▷36頁、足立巻一「ねどこのなかのハーモニカ」他、少シミ少疲 1951 日本童詩研究会 12,000
- 395 『きりん』1952年8月号(5巻8号)〔発行地・大阪市〕(雑誌) 星芳郎編／星原治良他・さしえ▷36頁、山本剛介「まま母の子」／小野十三郎「文集の作り方と一年生の詩」／坂本遼選「綴方教室」他、少シミ少疲 1952 日本童詩研究会 8,000
- 396 『こども詩の国』1947年11月号(2巻10号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鴨原一穂編▷20頁、吉田瑞穂「秋の詩(詩話)」／百田宗治「詩のたねはどこにでもある」／興田準一「月の顔(童話)」他、シミ少疲トジ穴 1947 白井書房 9,000
- 397 『こども詩の国』1948年1月号(3巻1号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鴨原一穂編／なかにじろう他▷28頁／並、新村出「詩の国の春」／湯川秀樹「科学と文学」／奈良・新川登紀子「不空羅索観音」／上野瞭「こうもり彗星」他、トジ穴少シミ少疲 1948 白井書房 15,000
- 398 『詩の国』1950年10月(39号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鴨原一穂編▷32頁、佐竹采子「作文雑誌の比較」／井戸弥生「『詩の国』をよんで」、少シミ少疲 1950 教育文学研究会 4,000
- 399 『詩の国』1952年7月(45号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鴨原一穂編▷16頁、上野瞭「よつばらいのアリア」他、少シミ少疲 1952 教育文学研究会 2,500
- 400 『詩の国』1953年6月(50号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鴨原一穂編▷16頁、中共引揚げの子らに、6頁朱／少シミ 1953 教育文学研究会 3,000
- 401 『詩の国』1953年9月(51号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鴨原一穂編▷16頁、2頁朱 1953 教育文学研究会 2,000
- 402 『詩の国』1953年11月(52号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鴨原一穂編▷16頁、生活に光と力の種をまく詩と作文、少シミ少疲 1953 教育文学研究会 2,500
- 403 『詩の国』1954年7月(54号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鴨原一穂編▷16頁、上野瞭「ぼくのエソツブは」他、2頁朱 1954 東門書房 2,000
- 404 『詩の国—児童詩学習誌』1965年1月(103号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鴨原一穂編／中川友他▷16頁、4頁朱 1965 詩の国編集所 2,000
- 405 『こども詩の国』1948年5月号(3巻4号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鴨原一穂編▷28頁、川村多実二「動物愛護」他、4頁朱／トジ穴少シミ少疲 1948 白井書房 6,500
- 406 『こども詩の国』1948年3・4月号(3巻3号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鴨原一穂編▷28頁、丸山薫「詩・春の星」／古谷綱武「少女少女と文学」／奈良・新川登紀子「特選童詩集」他、6頁朱／トジ穴少シミ少疲 1948 白井書房 8,000
- 407 『詩の国』1948年7月号(3巻6号〔原文ママ〕)〔発行地・京都〕(雑誌) 鴨原一穂編▷26頁、北昌人穂「ゴロンボ魔術」他、トジ穴少シミ少疲 1948 白井書房 5,000
- 408 『詩の国』1948年8月号(3巻6号〔原文ママ〕)〔発行地・京都〕(雑誌) 鴨原一穂編▷26頁、滑川道夫「PI教室・子どもの詩の新しさ」、トジ穴少シミ痛／2頁朱 1948 白井書房 4,000

- 409 『こども詩の国』1949年1・2月合併号(3巻7号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鳴原一穂編 ▶ 26頁、文集・詩集・詩集展望、トジ穴少シ少疲/2頁朱 1949 白井書房 5,000
- 410 『こども詩の国』1949年3月号(3巻8号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鳴原一穂編 ▶ 26頁、トジ穴少シ少疲/表紙トジハズレ 1949 白井書房 4,000
- 411 『こども詩の国』1949年4月号(4巻1号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鳴原一穂編 ▶ 27頁、文集・詩集・特集/東京都代沢小学校「台所詩集」/香川県和田中学校「ソテツの見える教室」他、トジ穴少シ少疲/裏表紙トジハズレ 1949 白井書房 15,000
- 412 『こども詩の国』1949年5月号(4巻2号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鳴原一穂編 ▶ 27頁、新川登紀子他「奈良「詩の国」会の記」/飯村佳子「筑波学園參觀記」他、少シ少疲/4頁朱 1949 白井書房 18,000
- 413 『こども詩の国』1949年8月号(4巻3号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鳴原一穂編 ▶ 26頁、原橋徹「詩と僕(作文)」/作品批評紙上座談会他、1頁朱/綴穴少シ少疲 1949 白井書房 18,000
- 414 『こども詩の国』1949年9月号(4巻4号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鳴原一穂編 ▶ 25頁、文集展示室/京都市近衛中学校「文集展示室/読書のことなど・座談会」他、シ少疲/頁2枚2×2センチ欠 1949 白井書房 12,000
- 415 『こども詩の国』1948年2月号(3巻2号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鳴原一穂編 ▶ 28頁、東京都代沢小学校のお友達の読書記録一和田誠「ブーの本二冊をくらべる」/杉山平一「雲と煙」他、6頁朱/少シ少疲/トジ穴 1948 白井書房 65,000
- 416 『こども詩の国』1947年12月号(2巻11号)〔発行地・京都〕(雑誌) 鳴原一穂編 ▶ 20頁、和田誠(東京都代沢小学校五年)「一滴の水の中に」/百田宗治「詩の教室「考え」のある詩」他、トジ穴少シ少疲/記名 1947 白井書房 85,000
- 417 『ほこぶね』1949年8月号(雑誌) 井田俊司編/吉村二三生・表紙/楠山正雄他 ▶ 40頁、さしえ・桑田二郎か、ヤケシミ疲大/資料ナラ可 1949 新教材社 6,500
- 418 『星の暁』1号(1942年10月)(雑誌) 安田徳治郎編 ▶ 140頁、しんがぼーるかんらく/綴方/童謡・自由詩他、少シ少疲/背補修/印 1942 暁星初等学校 6,000
- 419 この地に燃えて一枝胡一枝自伝〔発行地・石川県志賀町〕(「出版祝賀会」参加一覽2枚付) 枝胡一枝 ▶ カバ/194頁、婦人会に育てられる/若妻学級のあとで/縫製工場を起こす他、少えんびつ/経年劣化 1996 北国新聞社出版局(制作・発売) 4,000
- 420 凡人の非凡人無酒庵主〔発行地・福島県田村郡〕 内海啓蔵 ▶ 初裸本/202頁/並、貝山禁酒会々歌他、少シ少疲 1936 田村郡禁酒同盟 800
- ◎
- 421 開拓記〔発行地・京都府亀岡町〕 梅村登 ▶ 初裸本/72頁、発行者出口新衛、少シ少疲 1949 愛善みずほ会本部 2,000
- 422 自主的青年団の経営(増訂版) 乙部泉三郎 ▶ 134頁、青年団の読物について/団報の発行(増写版の要領)他、少シ少疲/箱カバは無 1947 アルプス書房 6,800
- 423 『車座』1962年1月号(1号) 農村と都市をむすぶ編集部 編 ▶ 並/206頁、高度成長政策の死角一池田=下村イデオロギーの矛盾について(桑島秀)/生活記録・綿の中の生活(倉敷紡績労働組合文化部機関誌「表現運動」に掲載)他、ヤケ少疲 1962 農村と都市をむすぶ編集部 6,800
- 424 『協同組合』1948年5月号 協同組合研究所編 ▶ 114頁、座談会・生活協組の組織経営難の実体を衝く他、少シ少疲/極少ペン 1948 協同組合文化社 2,500
- 425 『国土』1953年10月号 阿久津関一郎 編 ▶ 54頁、総合計画と農業問題(西水孜郎)/国土開発と食糧問題(矢野義郎)/人造米について他、シミ疲 1953 国土計画協会 3,000
- 426 『国土』1954年3月号 阿久津関一郎 編 ▶ 44頁、過大都市東京を如何にすべきか/版面集より子供のみた土地改良(福島要一)他、ヤケシミ/背痛大 1954 国土計画協会 2,500
- 427 『農村文化(東北・北陸版)』1959年9月号 農山漁村文化協会 編 ▶ 92頁、対談・これからの農政と農業経営(堀越久甫他)/旧婚の味(岩倉政治)/読者のこんだん室一嫁さんたちに苦言を呈す他、少シ少疲 1959 農山漁村文化協会 2,500
- 428 『蚕糸の光』1961年1~12月号揃、12冊分水上恵成 編 ▶ 農協読本・特殊農協と総合農協/結婚難をグループの力で一長野県/井市二十四条会の在り方/座談会・農家の長男大いに語る/特集・農業基本法と関連法案/グラビヤ・伊那谷をおった集中豪雨/闘う共同とアテ馬共同/特集・河野農相大いに語る他、ヤケシミ疲/1冊表紙3×3センチ欠 1961 全国養蚕農業協同組合連合会 12,000
- 429 『蚕糸の光』1958年1~12月号揃、12冊分水上恵成 編 ▶ 厚さ10センチ、座談会・儲かる養蚕のしかた/養蚕村の生活改善/繭から生れた簡易水道(丸山義二)/丸岡秀子/繭がもたらした青い鳥/計画的に子供をつくるには(矢口光子/農林省生活改善課員)/現地座談会・近代養蚕の構想/蚊とハエのいない町(丸山義二)/青少年ホームの母益富篤子女史(渡辺道子)/現地ルボ苦境に立つ養蚕農民/月給制度で新生活運動他、少シ少疲 1958 全国養蚕農業協同組合連合会 12,000
- 430 村の次三男一その問題と生き方 松丸志摩三 ▶ カバ/196頁、ヤケ少疲 1954 新評論社 1,800
- 431 『蚕糸の光』1962年1~12月号揃、12冊分水上恵成 編 ▶ 田んぼのなかの図書館(丸山義二)/構造改善事業と農民/辛苦の開拓地に養蚕の勝利/韓国蚕糸業ひたまま/特集・養蚕連15年のあゆみ/養蚕農家の主婦の座他、ヤケ少疲 1962 全国養蚕農業協同組合連合会 10,000
- 432 『蚕糸の光』1963年1~12月号揃、12冊分水上恵成 編 ▶ 特集・新健康読本(若月俊一)/盛り場東京探見記(マンガルボ)/若い開拓者(丸山義二)/特集・主婦養蚕とグループ活動/新農村建設の息吹く/スク

- リー・ステージ・スポーツ／特集・成功した開拓地養蚕／助成により導入したトラクターの稼働状況他、ヤケ少疲 1963 全国養蚕農業協同組合連合会 12,000
- 433 『静岡農協情報』1950年11月号 ▶ 38頁、大会特集号／農婦連1カ年の回顧／農村芸能祭プログラム／農村青年連盟各地の動き他、綴じ外れ／痛／裏表紙欠／少鉛筆 1950 静岡農協農業協同組合 6,500
- 434 『蚕業中堅青年だより』25～97号、うち不揃18冊分(1954～63年) 福島県蚕糸課編 ▶ 30,32,47,49～51,53,57,64,77,81～86号、厚さ3.3センチ、第50号記念特集号／自製の幻燈スライドで技術普及／有線放送によるわれ等の活動／4Hクラブも養蚕の講習他、シミ少疲 1954-63 福島県蚕糸課 15,000
- 435 『農業教育資料』1948年4月号 教育問題調査所編 ▶ 36頁、農村青年の生活経験について(古木弘造)／座談会・農業高等学校の問題／農業教育者連盟趣意書他、シミ少疲 1948 実業教科書 4,000
- 436 むらと構造改善事業と農民 白坂正治編 ▶ 62頁、少ヤケ少疲 1965 農業総合研究所九州支所 4,000
- 437 一高原開拓者の記録 薬師寺忠澄 ▶ 並／52頁、入植より青年達離農前後まで他、少ヤケ 1965 農業総合研究所九州支所 3,500
- 438 増産に励む村の概要(実践資料2) 松井嘉久編 ▶ 36頁、石川郡富奥村長・中島榮治他、極少朱／少シミ少疲 1942 大政翼賛会石川県支部 5,000
- 439 農業増産報国推進隊員名簿一自1940年至1943年〔発行地・石川県〕 農事振興会石川県支部編 ▶ 76頁／復刻版 1976 農事振興会石川県支部 8,000
- 440 土と闘魂一石川県開拓20周年記念誌 石川県開拓二十周年記念事業会編 ▶ 初裸 ▶ 252頁、満拓公社より開拓村へ他、少シミ少疲 1967 石川県開拓二十周年記念事業会 20,000
- 441 緑陰閑話一農政の曲り角その後 小倉武一 ▶ 416頁、農業基本法できて1年／花嫁学校／新農村建設とは何か他、天小ロアンカット／ヤケシミ 1963 新葉書房 4,000
- 442 あしあど一太陽めざして〔発行地・長野県長野市〕 岩崎多鶴 ▶ 132頁、「ひととき」欄へも投稿／しなの草の実会他、経年劣化 1977 岩崎多鶴 6,500
- 443 主婦の働き着のしおり 富山県婦人会新生活委員会 ▶ 34頁、袖付シュミーズとブルマース他、シミ痛／背欠 1955 富山県婦人会新生活委員会 4,000
- 444 今後の農業経営(今後の日本農業叢書2) 磯辺秀俊 ▶ 並／60頁、少ヤケ少疲／印1947 農村文化協会長野県支部 2,500
- 445 今後の日本農業(今後の日本農業叢書3) 福島要一 ▶ 並／222頁、ヤケ／印 1947 農村文化協会長野県支部 2,500
- 446 人間みな生活者一下村湖人に汲む(未定稿) 安積得也 ▶ 120頁、新生活運動の立場から見た湖人精神批判他、ヤケシミ疲 1964 4,500
- 447 長い道(コシーナ文庫)(著者書簡1枚付／ペン15行)〔発行地・石川県河北郡〕 山村義信 ▶ 初カバ帯／並／398頁、戦後の食糧難の時代その苦難から一途に農業に進んだ人々の村にも一人くらいはそんな人がいたものだとした。いわゆる社会に背を向けた百姓馬鹿みたいな人間そんな人を見てつづりました(著者)、極少疲／経年劣化 2015 竹本義信 3,000
- 448 能州山人記(正誤表付) 深見悌二 ▶ 初カバ／本体並／480頁、神子原の寄生虫／邑知町の生活改善／北黎創刊号(国立病院雑誌)／重恩連盟と郷友連盟他、シミ少疲 1971 北国出版社 1,500
- 449 新生活運動実践記録一新生活への歩み(第1集) 上伊那郡生活建設運動推進委員会 ▶ 18頁、私達の読書グループの実態(美和村非持)／「か」と「はえ」のいない運動(辰野町)／家計簿の記帳をはじめた若い主婦の会(高遠町)／私達はこうして時間励行を成功させた一座談会他、シミ疲 1958 上伊那郡生活建設運動推進委員会 6,000
- 450 産業開発青年隊運動について(資料第33号) 毎日新聞社人口問題調査会 ▶ 15頁、少シミ少疲 1952 3,000
- 451 『リーダーシップ』1955年7月号 山本佳男編 ▶ 並／76頁、座談会・青年期の生き方／農村に生きたる若い先ばいたち／ヤロビの水稲試験／竹森一男他、少シミ少疲 1955 日本学校農業クラブ連盟 3,500
- 452 『リーダーシップ』1956年5月号 山本佳男編 ▶ 76頁、佐藤忠良／生活と意見一読者の投書から／農村女性の悩み／上田広他、少シミ少疲 1956 日本学校農業クラブ連盟 3,500
- 453 『リーダーシップ』1956年8月号 山本佳男編 ▶ 98頁、自由論壇・私たちの村と生活をよくするために／アマゾンで活躍する日本人(湯浅克衛)／鶴田知也／口絵一農村電化他 1956 日本学校農業クラブ連盟 4,000
- 454 『リーダーシップ』1957年2月号 山本佳男編 ▶ 並／76頁、座談会・クラブ活動の新しい前進一転換期にあるクラブを語る／特集・オート三輪と日本農業他、少シミ少疲 1957 日本学校農業クラブ連盟 4,000
- 455 『白砂』6号(1967年) 塩谷政二編 ▶ 45頁、結婚式に思う／青年団に思うこと他、少シミ少疲 1967 石川県七塚町中央青年学級／連合青年団 3,000
- 456 『雑草』1953年8月号(創刊号) 山本茂実編 ▶ 48頁、務台理作／山本茂実／座談会・ニコソンの人々(現地)／今戸敏行／創作・能登の女(松本信也)他、少シミ少疲／個人印／5頁分ペン書 1953 葦会 7,000
- 457 愛と死の悩み一吾等いかに生くべきか 山本茂実 ▶ 重版カバ帯／232頁、著者雑誌『葦』『潮』『雑草』等の編集長、ヤケ少疲／個人印 1954 葦出版社 1,500
- 458 青年手帳一心のともしび 社会教育学会エチ・132頁、青年のエチケット／生活設計記録他、少シミ少疲 1966 社会教育学会 2,000
- 459 『部落』1953年7月～59年7月号(通号43～114号)、うち不揃42冊分 木村京太郎編 ▶ 44, 47, 48, 50, 53～62, 64～77, 80, 82, 83, 85, 89, 90, 93, 95, 96, 98, 103, 110号、厚さ18センチ、和田洋一／土方鉄／修学旅行は考えもの

である／黒人兵／実態調査の進め方／奈良本辰也／特集1954年の成果と課題 特集・水害その後／座談会・「破戒」のサークルから(京都市職衛生支部青年部読書会／門脇禎二)／特集・福祉施設の反省／朝日新聞社会部記者の部落訪問座談会／特集・同盟校収93日間／特集・同和教育と勤労評定／座談会・売春防止法をめぐって／ルポ・沖縄奄美諸島の友よどこへ行く／特集・沖縄と差別他、ヤケンシ疾／印記名／8冊痛大 1953-59 部落問題研究所 26,000

460 『女性福島』1967年2月号 福島県婦人問題研究会 編 ▷ 並／88頁、特別号・生活記録「私の歩んだ道」／「母の記録」をつづろう／職場(その1) 未亡人とともに／「あとがき」にかえて、戦終前後の私の歩み(福島県婦人問題研究会会長／丹治千恵) 他、少シミ少疲 1967 福島県婦人問題研究会 12,000

461 『女性福島』1966年10月号 福島県婦人問題研究会 編 ▷ 並／34頁、20周年記念講演／神近市子／藤原道子／望月優子他、少シミ少疲 1966 福島県婦人問題研究会 6,000

462 『明るい暮らし』1973年3月号(最終76号) 緒方寿人 編 ▷ 64頁、健康と幸せと繁栄を贈る企業体新生活運動誌／扇谷正造／高木護／新生活運動とともに歩きつづけた16年—『明るい暮らし』さよなら座談会(日本通運関東支社明るい生活運動指導員／月岡ひろ美) 他、シミ少疲 1973 厚生保健協会健康友の会 8,000

463 『あかるい政治』1937年5月号 檀崎喜作 編 ▷ 54頁、齋正選挙特集号、少シミ少疲 1937 大日本昭和連盟本部 6,500

464 1962年の日本の中学生(ベビーブームっ子)における歌(わらばん紙1枚) 粟田やす子 ▷ 某氏宛書簡2枚(ペン書25行)付(1963年1月5日) 1962 3,000

465 『石川自治』1960年8月号～66年2月号、うち不揃15冊分 酒井正夫 編 ▷ 1960年12月／61年6～12月(9・10月合併号)／62年1.3・4.5.8.10月／63年1月号、並／厚さ4.8センチ、郷土史座談会シリーズ第13回・加賀能登の新観光路線をたづねる(新保辰三郎)他／大道谷光校を訪ねて—石川郡白峰村(山崎利一)／谷間の子供たち—精神薄弱児の問題をめぐって(石川県中央児童相談所／長谷川隆夫)／座談会・農業基本法を激しく批判する／下出積与／芳井先一／座談会・勤労青少年の教育をどうするか、座談会・総合開発を批判する(本岡三郎、山崎肇)他／珍鳥朱鷺／室戸台風による市町村被害状況調／座談会・北陸—石川—総合開発計画を検討する(森茂喜／直山与二)他／バスガイドからみた観光の実態—県下名勝旧蹟の評判をさぐる／農業には魅力も希望もないか?／公民館における公明選挙運動について／ルポターニャ・漁業一本の村から多角経営の町へ—内灘10年の歩みを見る／島の婦人たち(能登島向田地区を訪れて)／孤島・船倉を訪れて(山崎利一)／奥能登剣地の婦人たち／郷土史座談会・金沢のメーンストリート「香林坊」片町今昔ものがたり(石浦町薬局カメラ／英安吉)他／座談会・石川県の野鳥四方山話(木村久吉／長柄他喜男) 他、シミ少疲 1頁極少 1960-66 石川県自治研究会 58,000

466 『ソヴィエト通信』1～60号、うち不揃48部分(1945年11月17日～46年12月21日)／2巻2～23号、うち不揃20部分(1947年1月11日～6月7日)、総計68部分(合本2冊)

伊藤祐三 他編 ▷ 2～8.9・10・11.12～15, 特集号、16,18,20～27,29,34,36,39,41,42,44～59号／2巻3～17,21,22号、厚さ6センチ／学研旧蔵印他、ソヴィエト音楽短信／ミンスク復興計画／新雑誌『ソヴィエト婦人』／短波ニュース速報版／満州撤兵問題に関する赤軍司令官の声明(ソヴィエト放送)／座談会・吾らはソ連をどう見るべきか(今井二郎／高尾正夫)／「児童図書出版所」の出版計画／南樺太の日本語新聞「新生命」について／流民問題をめぐって／農業の新しい昂揚へ(農民に大量叙勲)／大連市の中国管理問題の真相他、ヤケシ疾／ホツチキス留／少朱 1945-47 ソヴィエト文化協会 138,000

◎

467 『世代』1962年12月号(3号) 吉岡光義 編 ▷ 110頁、戦後の世代別の思想と行動／UF/Oについて／学生実態調査報告他、4頁分少朱 1962 神奈川大学人文学会学生会部会 3,000

468 『北の文学』1956年4月号【発行地・岩手県盛岡市】 岩亀精造 編 ▷ 福島県・文芸旬報社『浪漫群盗』宛書簡2枚(タイプ印刷)付／152頁、井伏鱒二・川端康成他監修／特集・詩編—北海道東北地方16同人詩誌／高木恭造／監修の立場から(鈴木彦次郎) 他、少シミ少疲 1956 新岩手社 3,500

469 『文学往来』1967年12月号 児玉兵衛 編 ▷ 並／54頁、月刊文芸同人雑誌、経年劣化 1967 文学往来の会 1,000

470 『文学往来』1967年5、6月号、2冊分 児玉兵衛 編 ▷ もう一人の太宰治他、少シミ少疲 1967 文学往来の会 1,500

471 『文学往来』1966年4月号 児玉兵衛 編 ▷ 80頁、中村真一郎／女人往来—異説太宰治他、少シミ少疲 1966 文学往来の会 2,000

472 共に歩んだ二十五年—東京MASTニュース東京MASTニュース編集部 編 ▷ 箱／並／608頁、1987年は変身だヤングだ／ビデオで儲けよう／やっぱりエアコンだ他、少シミ少疲 1995 東京松下ライフエレクトロニクス 13,500

473 ヒューマンタッチ20年 店会ニュース編集部 編 ▷ 箱／並／368頁、目で見ると読む店会／編集後記集／店会店訪問他、少シミ少疲 1990 東京地区ナショナル店会連合会 12,000

474 監視第4課の業務実績(1979年12月)▷ B4判14枚、過激派／成田特別監視状況概要／放送ジャック対策概要他、ヤケ少疲 1979 6,500

475 『読切劇場』1963年5月号 高橋休四郎 編 ▷ 304頁、村上元三／陣出達朗／マル秘結婚ジグス案内他、シミ疲 1963 高橋書店 10,000

476 『読切劇場』1963年2月号 高橋休四郎 編 ▷ 336頁、トルコ殺人事件他、ヤケ少疲 1963 高橋書店 15,000

477 『読切劇場』1963年3月号 高橋休四郎 編 ▷ 304頁、如月伊十郎(藤沢周平)／若山三郎他、少シミ少疲 1963 高橋書店 68,000

478 『読切劇場』1963年4月号 高橋休四郎 編 ▷ 304頁、木地師宗吉(藤沢周平)／山田克郎他、少シミ少疲 1963 高橋書店 68,000

479 『読切劇場』1963年7月号 高橋休四郎 編 ▷ 282頁、霧の壁(藤沢周平)／山田風太郎他、少シミ少疲 1963 高橋書店 68,000

- 480 第2回民間放送番組審議会一予定議事・
 テープ視聴「夜学生」(全国高校ラジオ作
 品コンクールより)他(別刷・「夜学生」
 あらすじ3頁付)▷ 3頁、少シミ少痛 1959
 2,000
- 481 『現代文芸』1956年4月号(2号) 石黒正
 史 編▷ 62頁、特集・民主主義文学の検
 討/サークルの詩はどう伸びてきたか?(菅
 原克己)他、少シミ少疲 1956 今日会
 3,000
- 482 『現代文芸』1955年11月号(創刊号) 石
 黒正史 編▷ 46頁、アンケート・第三の
 新人に対する批判(武井昭夫/野間宏他)/
 田代儀三郎氏への公開状/バカれた衆民文学
 論(石黒正史)他、少シミ少疲 1955 今日
 1,500
- 483 『ポスト』1964年9月~68年9月号(1~49
 号)、うちほぼ揃48冊分(5号欠) 杉野
 正雄 編▷ 厚さ7センチ/並、徳川夢声/
 ルポ・ヤマを離れて一炭離職者/山本嘉次
 郎/幸田文/曾野綾子/円谷英一/円谷幸
 吉/横溝正史/木山捷平/中西悟堂/大松博
 文/中根千枝/前川国男/東海林太郎/棟方
 志功他、少シミ少疲 1964-68 ポスト社
 90,000
- 484 蝕甚一松村順吉遺句集 松村順吉(越中谷
 利一)▷ 箱/202頁、『岐阜文学』とかを創
 り岐阜市に文化運動を起した/岐阜日日新聞
 (文芸欄)のメンバー他、少シミ少疲 1971
 青樹社 4,000
- 485 点字日記 浅野武男▷ 初カバ/並/338
 頁、盲人学校へ通学して来る盲学生/孤児
 を保護する養育院他、少シミ少疲 1943 泰光
 堂 24,000
- 486 『婦人文芸』1962年4月号増刊 三枝佐枝子
 編▷ 296頁、表紙細江英公/ルポ特集・影
 の地帯の女性たち/売春婦更生施設(瀬戸内
 晴美)/山谷ドヤ街(池田みち子)他、少シ
 ミ少疲 1962 中央公論社 2,500
- 487 『婦人文芸』1964年3月号(19号) 川田泰
 代 編▷ 134頁、深尾須磨子/上野治子/
 新中国北京市民であった頃/『婦人文芸』
 のあゆみ他、ヤケ大/シミ少疲 1964 婦人文
 芸の会 3,000
- 488 問題児(謹呈著者) 小林文男▷ 初カ
 バ/348頁、混血児/基地の子/売られた子を
 訪ねて/全国の街頭児/新型浮浪児他、カバ
 背上3センチ欠/ヤケ少疲 1953 民生事業研
 究会 20,000
- 489 三和〔発行地・石川県金沢市〕 三和校下
 婦人会/三和婦人学級▷ 24頁、北電婦人
 モニターに参加して他、少シミ少疲 1992 三
 和校下婦人会/三和婦人学級 2,000
- 490 洗心の歌こえ一非行少年文芸集 洗心園事
 業部 編▷ 初カバ/並/148頁、大原二
 三1942年浙江省養老院および孤児院主幹/1954
 年少年補導受託施設「洗心園」創立、少シミ
 少疲 1966 洗心園出版部 3,000
- 491 詩の朗読(勤労文化教本5) 遠藤慎吾▷
 154頁、発行者中根孝之助、背4センチ欠/少
 シミ少疲 1943 芸術学院出版部 3,000
- 492 日本ヒューマニズム詩集 1952年度 日本
 ヒューマニズム詩集編集委員会 編▷ 初
 帯/並/256頁、村松武司・牧場の歌/石垣り
 ん子・原子童話/伊藤哲郎・開拓村にて他、
 少シミ少疲 1952 三一書房 2,800
- 493 祖国の砂—日本無名詩集 筑摩書房編集部
 編▷ 初裸本/日清紡績西新井化成工場旧蔵
 印・背下ラベル/240頁、シミ疲 1952 筑摩
 書房 3,000
- 494 祖国の地図(三一新書) 真鍋呉夫▷
 帯/並/236頁、焼津の表情(高杉一郎)/ポ
 タ山の労働者と主婦たち(永島寛一)/日鋼
 室蘭・一主婦/国境(堀田善衛)他、少シミ
 少疲 1955 三一書房 5,000
- 495 粘土(新鋭創作選) 斎藤芳郎▷ 初帯/
 並/262頁、佐藤忠良装幀/著者ヒリツピンを
 転々とし鞍山で敗戦カザヒ共和国カラカンダ
 に4年半抑留、ヤケ少疲 1955 理論社 2,500
- 496 『列島』1952年9月号 井出則雄 編▷ 48
 頁、座談会・国民詩とはなにか/特集ぼくら
 の政治詩集/村松武司他、8頁分鉛筆/少シミ
 少疲 1952 知加書房 1,500
- 497 『列島』1953年10月号 関根弘 編▷ 48
 頁、『列島』6号を送るに際して—組織改革の
 経過報告(編集部)他、少シミ少疲 1953 知
 加書房 2,000
- 498 『列島』1954年5月号 関根弘 編▷ 48
 頁、特集・サークル詩の運動と理論/御庄博
 実他、ヤケシミ疲/綴じ穴 1954 知加書房
 2,500
- 499 『列島』1954年7月号 関根弘 編▷ 48
 頁、ヤケ少疲 1954 知加書房 2,000
- 500 『列島』1954年9月号 関根弘 編▷ 48
 頁、詩友通信—農村の詩運動(山形・黒田喜
 夫)他、ヤケ少疲 1954 知加書房 2,500
- 501 働く労使双方の立場からするわかりやすい
 共産主義批判と説得の仕方(極研シリーズ
 58号) 藤原一郎▷ 134頁、シミ少疲
 1961 極東出版社 1,000
- 502 『勤労者文学』1948年3月号(創刊号) 徳
 永直 編▷ 64頁、発行者壺井繁治/東京都
 職文学サークル訪問記(壺井繁治)他、背痛
 1948 新日本文学会 1,500
- 503 『勤労者文学』1949年1月号(7号) 徳永
 直 編▷ 64頁、職場文学サークル訪問記—
 扶桑製鋼の歌こえ(川岸隆永)他、少シミ少
 疲 1949 新日本文学会 2,000
- 504 『勤労者文学』1949年8月号(9号) 徳永
 直 編▷ 並/72頁、勤労者作家論(瀬沼茂
 樹)/嵐の中で(川岸工場からの報告)他、
 少ヤケ少疲 1949 新日本文学会 2,000
- 505 『学生評論』1946年10月号(再刊1号) 植
 田富士太郎 編▷ 78頁、学生書房の頁
 4、頁4枚痛/2頁鉛筆線/ヤケシミ疲 1946
 学生書房 1,200
- 506 『学生評論』1946年11月号(再刊2号) 植
 田富士太郎 編▷ 76頁、学生書房より
 他、シミ疲/表紙角4×2センチ欠 1946 学生
 書房 1,200
- 507 『学生評論』1947年1月号(再刊3号) 田
 沼肇 編▷ 112頁、雑誌評—ダース・ダ
 イジェスト(小川浩一)/大竹博吉/小野秀
 雄/団結の旗を掲げて—本郷下宿人組合(橋
 本基一)他、ヤケ少痛/4頁ペン 1947 学生
 書房 2,000
- 508 『学生評論』1947年3月号(再刊4号) 小
 川裕康 編▷ 118頁、巻頭言—出版の危機
 読者諸兄に訴う/舊『学評』創刊の頃(高村
 道太郎)他、ヤケシミ少痛/6頁鉛筆書 1947
 学生書房 2,000

- 509 『学生評論』1948年5月号(再刊11号) 松本敬之助 編 ▷ 48頁、書評・心ない同情を捨てよー「現代学生の実態」他、シミ少疲 1948 学生書房 1,500
- 510 『学生評論』1948年11月号(14号) 湯地朝雄 編 ▷ 64頁、転換期に立つ学生運動(武井昭夫)／座談会・現代映画芸術論ー或る日の東宝撮影所へー出席学生／沖浦和光(東大) 椿実(東大)他、ヤケ少痛／記名／8頁分朱 1948 学生書房 3,000
- 511 『学生評論』1948年12月号(15号) 湯地朝雄 編 ▷ 64頁、特集・就職戦線展望ー言い度い事10(草柳大蔵／八雲書店勤務)／文化革命と学生文化運動の任務(沖浦和光)他、ヤケ少疲 1948 学生書房 3,500
- 512 『学生評論』1949年1月号(16号) 湯地朝雄 編 ▷ 64頁、特集・大学はどうなる?ー新制大学の意味するもの(全学連／武井昭夫)他、ヤケ少痛／「武井」部分1頁朱／記番号 1949 学生書房 2,500
- 513 『学生評論』1949年9月号(新編集1号) 湯地朝雄 編 ▷ 96頁、特集・1949年学生戦線の展望ー分裂主義者批判(武井昭夫)、武井旧蔵か／「武井」部分2頁書込／ヤケ疲 1949 学生評論社 2,500
- 514 『学生評論』1949年9月号(新編集1号) 湯地朝雄 編 ▷ 「T.Takai」記名／96頁、シミ少疲 1949 学生評論社 2,500
- 515 『学生評論』1949年10月号(新編集2号) 湯地朝雄 編 ▷ 96頁、新編集第2号、4頁分朱／少シミ少疲 1949 学生評論社 1,500
- 516 『学生評論』1949年12月号(新編集3号) 湯地朝雄 編 ▷ 116頁、座談会「きけ、わだつみのこえ」をめぐって(北條正治／早大・23歳元海軍特攻隊)他、少ヤケ少疲 1949 学生評論社 3,500
- 517 『学生評論』1950年6月号(6号) 横祐次二郎 編 ▷ 126頁、ルポターージュ・東北大二事事件(学生評論編集部)他、12頁朱／ヤケ少痛 1950 学生評論社 3,000
- 518 『学生評論』1950年10月号(7号) 横祐次二郎 編 ▷ 160頁、12頁分ペン／ヤケシミ疲 1950 学生評論社 2,000
- 519 『学生評論』1951年3月号(8号) 横祐次二郎 編 ▷ 64頁、武井昭夫他、20頁分ペン／ヤケ疲 1951 学生評論社 1,500
- 520 『学生評論』1951年5月号(9号) 横祐次二郎 編 ▷ 64頁、平和擁護特集号／武井昭夫他、裏表紙綴じ外れ／4頁ペン 1951 学生評論社 1,500
- 521 『学生生活』1956年9月号 富重義人 編 ▷ 92頁、特集日本の傷痕・沖繩長崎／軍政下の青春・琉球大学／長崎原爆記念館にアルバイトして他、少シミ少疲 1956 学園評論社 3,500
- 522 『学生生活』1956年6月号 富重義人 編 ▷ 94頁、特集・石原慎太郎への発言／石原慎太郎を論ずー竹内成明／飛鳥井雅道(京大仏文4回生)他／東京女子大新聞部学生他、少シミ少疲 1956 学園評論社 3,500
- 523 『学生生活』1956年8月号 富重義人 編 ▷ 102頁、ノーマル・モア・イールズ(青木盛雄／東北大)／武井昭夫／座談会・戦後日本映画の学生像(石川弘義／一橋大卒23歳他)、8頁分ペン／ヤケ痛 1956 学園評論社 3,000
- 524 『学生生活』1956年10月号 富重義人 編 ▷ 並上／94頁、早稲田大学ミシガン大学技術連携を衝く(早大新聞編集部)／中国帰国学生座談会／実態調査・愛と性のバランスシート他、少シミ少疲 1956 学園評論社 3,500
- 525 『学生生活』1956年11月号 富重義人 編 ▷ 82頁、特集・砂川目撃者の記録／戦中学生抵抗秘史一関西地方／座談会出席者・田畑弘(三一書房社長)他／『リアル』／『同志社派』他、背離れ／少シミ少疲 1956 学園評論社 4,500
- 526 新しいうたごえー1955年河上祭記念詩集 鈴木良 編 ▷ 10頁、河音能平／鈴木良／飛鳥井雅道他、ヤケシミ／装痛大／資料なら可 1955 京大大学教養部・吉田分校文学研究会 民科文学部会 8,000
- 527 『国史研究室(自治会報)』2〜6月号、5冊分(1954〜57年) 東京大学文学部国史学科研究室自治会 編 ▷ 総160頁、宝月圭吾／金井圓／歴史学と行動との関係(西村凡子)／牛の歩み(坂本太郎)／追憶と将来ー農村の青年のこと演劇のことなど／反省と疑問ー「国民のための歴史学」について／佐藤進一／鳥海靖／歴史学の存在価値について／母への手紙(伊藤隆)他、シミ疲 1954-57 東京大学文学部国史学科研究室自治会 65,000
- 528 『国史研究室』10号(1961年) 東京大学文学部国史研究室協議会 編 ▷ 54頁、樺美智子さん遺稿／佐藤誠三郎／芝居の中の民主主義(伊藤隆)／H君への手紙(坂野潤治)／今年の6.15と来年の6.15／東大集会の記録からー特別寄稿・東大追悼集会にて(樺俊雄)／権力の犯罪行為を裁くために(山口啓二)他、少シミ少疲 1961 東京大学文学部国史研究室協議会 20,000



- 529 前奏一平和守って輪になって(1952年詩集) 新日本文学会岐阜支部 ▷ 並／44頁、少シミ少疲 1952 新日本文学会岐阜支部 4,000
- 530 『機関車文学』1964年3月号(17号) 中央事務局 編 ▷ 48頁、特集1・炎の中の労働者ー1963.12.13尾久斗争ルポ他、少シミ少疲 1964 国鉄動力車労組本部内機関車人文学会 3,500
- 531 『機関車文学』1968年2月号(31号) 中央事務局 編 ▷ 62頁、藤森司郎／職場からの文学を／司代隆三他、少シミ少疲 1968 国鉄動力車労組本部内機関車人文学会 2,500
- 532 『日通文学』1967年9月号 日通ペンクラブ 編 ▷ 80頁、林芙美子とその作品(土橋義信)他、少シミ少疲 1967 日通ペンクラブ 1,500
- 533 『すくらむ(働く仲間がみんなであつくる月刊学習誌)』1969年3月〜70年6月号(4〜19号)、うち不揃9冊分 すくらむ社 編 ▷ 1969年4〜7月／70年2〜4月号、厚さ4.2センチ、グラビア・働く仲間の結婚式／婦人問題特集・太陽のように生きたい(神近市子他)／特集・70年安保を闘うために／松岡洋子／沖繩県民の血のさけび(喜屋武真栄)／特集・基地をアバク／特集・誌上平和友好祭／座談会・おいらの職場の場合ー福島菊次郎紙撮影／サークル紹介ー学習運動京都市府会議／職場活動のABCー職場新聞(河野昌幸)／特集・平和よおまえはどこへいく(土井多賀子他)／朝鮮青年と沖繩(金準沢)

- 他、少シミ少疲 1969-70 すくらむ社 35,000
- 534 『すくらむ(働く仲間がみんなのでつくる月刊学習誌)』1972年7月号 すくらむ社編 ▶ 80頁、特集・サークルと文化闘争/全国サークル名簿他、少シミ少疲 1972 すくらむ社 4,000
- 535 『ルポー全通ルポ集団機関誌』1973年10月号(13号) 全通ルポルタージュ集団編 ▶ 32頁、特集・都市郵便労働者の実態/憎しみが生んだ! (村松孝明)/機関誌を読む『べるこん』(清水克二) 他、経年劣化 1973 全通ルポルタージュ集団 3,500
- 536 『ルポー全通ルポ集団機関誌』1973年12月号(14号) 全通ルポルタージュ集団編 ▶ 32頁、特集・労働者の生活の条件/機関誌を読む『スクラム』(清水克二) 他、少シミ 1973 全通ルポルタージュ集団 2,500
- 537 『引力』1977年11月号(10号) 全通詩人の会編 ▶ 32頁、ディスカバー・ジャパン(村松孝明) 他、経年劣化 1977 全通詩人の会 1,500
- 538 『全通詩人』1959年5月号(3号) 川田徹編 ▶ 46頁、現代詩における近代主義と農民(谷川雁)/意識の高揚と偏向の拒否(清涼信泰) 他、少シミ少疲 1959 全通詩人集団事務局 6,500
- 539 『全通詩人』1959年11月号(4号) 川田徹編 ▶ 36頁、特集・非常勤/清涼信泰詩集『コックの指』批判他、シミ少疲 1959 全通詩人集団事務局 6,500
- 540 『軸』10号(1966年) 名鉄文学サークル「軸の会」編 ▶ 56頁、少シミ少疲/印 1966 名鉄文学サークル「軸の会」 3,500
- 541 『軸』17号(1971年) 名鉄文学会編 ▶ 88頁、少シミ少疲 1971 名鉄文学会 5,000
- 542 『軸』18号(1972年) 名鉄文学会編 ▶ 66頁、企業内保育所(辻村京子) 他、少シミ少疲 1972 名鉄文学会 5,000
- 543 『全通文学』創刊号(1959年) 全通文学会編 ▶ 54頁、労働者文学の底流(神田貞三)/全通作家の作品と状況(鈴木正昭) 他、シミ疲/1頁朱 1959 全通文学会 8,000
- 544 『全通文学』2号(1960年) 全通文学会編 ▶ 孔版/80頁、敗戦から安保まで/安保反対斗争に参加して(岡田良一) 東北の小さな町におけるぼくらの安保斗争(平野茂介)/「サークル誌から」紹介と批判他、少シミ少疲 1960 全通文学会 7,000
- 545 『全通文学』3号(1961年) 全通文学会編 ▶ 76頁、サークル誌紹介と批判(清水克二)/状況と運動と記録(神田貞三) 他、シミ少疲 1961 全通文学会 6,500
- 546 『全通文学』4号(1961年) 関西研究会編 ▶ 82頁、ヤケ少疲 1961 全通文学会事務局 5,000
- 547 『全通文学』29号(1979年) 全通文学活動家集団編 ▶ 96頁、マル生特集・その内実と軌跡を探る/まだ生きている「オバケ」-秋田・能代郵便局のマル生(加野康一) 少シミ少痛 1979 全通文学活動家集団 7,000
- 548 『全通文学』28号(1979年) 全通文学活動家集団編 ▶ 116頁、マル生特集・その実態と闘い他、武井昭夫旧蔵/40頁朱 1979 全通文学活動家集団 8,000
- 549 『全通文学』27号(1979年) 全通文学活動家集団編 ▶ 92頁、ルポ・郵便労働者にとって労働とは何か-記録と聞き書きによる構成(金子史郎) 他、少シミ少疲 1979 全通文学活動家集団 4,000
- 550 安保1968の記録-佐世保に関する私達の報告書〔発行地・福岡県久米市〕 対話の会 ▶ 32頁、少シミ少疲 1968 対話の会 6,500
- 551 『拠点』1969年1月号(創刊号) 拠点編集委員会編 ▶ 114頁、武藤一羊/花崎翠平 他、少シミ少疲 1969 盛田書店 1,000
- 552 『学習のひろば』1971年6月号 塚崎公美編 ▶ 76頁、特集・ILOと日本/中野好夫/倍賞千恵子/加藤登紀子他、少シミ少疲 1971 労働者学習センター 2,000
- 553 『学習のひろば』1971年7月号 塚崎公美編 ▶ 76頁、高卒ブルーカラーの不平不満/今村正/中村錦之助他、少シミ少疲 1971 労働者学習センター 2,000
- 554 『青年運動』1972年9月号 青年運動編集委員会編 ▶ 146頁、少シミ少疲 1972 日本民主青年同盟中央委員会 2,000
- 555 1960年電気冷蔵庫パンフレット6種一括(三菱/東芝/サンヨー/ナショナル/日立/富士) ▶ 20頁分、少シミ少疲 1960 10,000
- 556 新安保条約に対決するわが党の態度/新安保条約と今後の闘い、2部分 民主社会党 ▶ 総36頁+関係資料5枚付、ヤケ少疲 1960 民主社会党 4,000
- 557 結党大会議案書 民主社会党本部 ▶ 60頁+規約集一参考資料(新党準備会)付、党名決定に関する件/結党準備印名簿他、ヤケ疲/頁2センチ裂 1960 8,000
- 558 民主社会党支部連合会規約準則(案)(佐藤寛行旧蔵朱ベン) ▶ 10頁 1960? 4,000
- 559 全国支部連合会代表者会議議案(1960年7月4、5日) 民主社会党本部 ▶ 12頁、今後の国民運動展開に関する件他、少ヤケ少疲 1960 3,000
- 560 これが民社党〔案内冊子〕 民主社会党本部 ▶ 写真イラスト他/24頁、中産階級化政策 他、シミ少疲 1960 民主社会党本部 7,500
- 561 The Japan Democratic Socialist Party (民主社会党)〔案内冊子/英文〕 民主社会党本部 ▶ 30頁、表紙シミ 1960 民主社会党本部 7,000
- 562 福祉国家をめざして 民主社会党本部 ▶ 8頁、少シミ少疲 1971? 民主社会党本部 3,000
- 563 原水爆禁止運動の発展段階と問題 ▶ 56頁、少シミ少疲 1960? 2,500
- 564 原水爆禁止運動全国討論集会討議資料1(1960年8月1日)(別刷「アッピール」1枚付) 民主社会党国民運動連絡会議 ▶ 14頁、少ヤケ少疲 1960 3,000

- 565 躍進全国大会議案(1960年9月) 民主社会党本部 ▷ 32頁、総選挙政策に関する件他、少シミ少疲 1960 3,500
- 566 民社党躍進全国大会組織報告書(1960年9月) ▷ 並/38頁、青年学生対策部/労働対策委員会他、少シミ少疲 1960 4,500
- 567 党再建討議週間資料(1960年12月15~20日) 民主社会党本部 ▷ B4判/36頁、青年学生対策/大衆運動他、ヤケシミ痛 1960 6,500
- 568 民社党拡大府県連代表者会議議案並に報告書(1960年11月) 民主社会党本部 ▷ 36頁、総選挙の反省他、少シミ少疲 1960 4,000
- 569 『民社新聞』1961年6月19日号外 民主社会党本部 ▷ 12頁、「政治的暴力行為防止法」に関する総合資料/社会党のとった態度/自民党との交渉他、シミ少疲/朱 1961 民主社会党本部 2,000
- 570 「政治的暴力行為防止法案」(修正済全文)一修正の趣旨は何か(政暴法資料2) 民主社会党政策審議会 ▷ 18頁、少疲 1961 2,500
- 571 良識は「政治的暴力行為防止法案」を支持している一各新聞の社説、学者、労組の意見等の紹介(政暴法資料3) 民主社会党政策審議会 ▷ 26頁、シミ少疲 1961 2,000
- 572 「政防法案」に対する総評の見解を反ばくする(政防法資料4) 民主社会党 ▷ 8頁、少シミ少疲 1961 2,500
- 573 政防法に対する非ぼう・中傷を排撃する(政防法資料5) 民主社会党 ▷ 18頁、少シミ少疲 1961 3,800
- 574 わが党反省の書 佐々木良作 ▷ B4判/12枚、社会党とのあいまいさを捨て民社精神に徹せよと云うが/等の性格体質などについて他、ヤケシミ痛 1963 6,500
- 575 民主社会党第4回全国大会議案書1 ▷ 80頁、シミ/装甚痛/資料なら可 1962 3,800
- 576 安全保障と防衛に関するわが党の基本方針 民主社会党 ▷ 8頁、シミ 1966 2,000
- 577 第7回中央委員会党務報告 民主社会党 ▷ 36頁、中央オルグ団他、少シミ少疲 1967 4,000
- 578 民主社会党「党勢躍進」関係資料 ▷ B4判/90枚/佐藤寛行旧蔵、民社党組織構成図/県連別党員構成調査一覽表/公明党の分析とその対策他、少シミ少疲 1967頃 58,000
- 579 党勢躍進構想委員会中間報告書 民主社会党 ▷ 54頁、委員長・佐々木良作、少シミ 1968 9,000
- 580 総合教育制度について 民主社会党 ▷ 写真他/12頁、富士政治大学校他、少疲 1969 3,000
- 581 民主社会党・佐藤寛行内筆ノート4冊(遊説/労対メモ/組織問題/メモ) 佐藤寛行 ▷ 総140頁分、新生活運動協会→話し合いましよう→市町村財政批判/行政の無力化をはかるため各団体の利用/西尾末広大阪・名古屋日程/少シミ少疲 1960年代前半 60,000
- 582 1971年度活動報告書3一機関紙活動報告 民社党 ▷ 56頁、「週刊民社」有料紙グラフ/各党の機関紙配布態勢等の調査一覽表他、下部甚痛/資料なら可 1972 3,800
- 583 『詩生活』1966年10月号(68号) 岡亮太郎 編 ▷ 12頁、経年劣化 1966 東鉄詩話会 1,000
- 584 第1回国鉄中部美術展覧会作品目録 ▷ 4頁、少シミ 1967 国鉄中部支社/金沢鉄道管理局 1,000
- 585 会議の運び方 全通信従業員組合宣伝部 編 ▷ 初稿本/94頁、少シミ少疲 1946 全通信従業員組合宣伝部 1,000
- 586 『国鉄詩人』94~130号、うち不揃19冊分(1972~79年) 国鉄詩人連盟 編 ▷ 95,107~112,114~121,128,129号、国鉄詩人連盟会員名簿/第28回国鉄詩人大会特集/座談会・労働者の詩の方向/資料・各詩サークルの代表作品/満州第19部隊関東軍貨物廠収容所(山岸重治)/特集・追悼井上章他、少シミ少疲 1972-79 国鉄詩人連盟 10,000
- 587 『国鉄詩人』1959年9月~66年12月号(49~73号)、うち不揃15冊分 鈴木茂正 他編 ▷ 50~54,56~58,60~64号、厚さ9センチ、国鉄詩人保育園(谷川雁)/国民文化全国集会でとりあげられた新雑誌計画案/第15回国鉄詩人大会特集(浜口国雄/山崎重廉)/対談・職場詩サークルの問題点―「たんぼ」をほりさげる/嶋中事件に対する声明と抗議(国鉄詩人連盟)/須藤善三追悼―新鉄が生んだ詩人の死(田村昌由)/職場のサークル「たけのこ」の報告(福田玲三)/近藤東/壺井繁治/「職場の詩」小史(青山竜夫)/未完のノート・浜口国雄論(青山竜夫)/サークル誌評『表現運動』『四国詩人』『浮城』他、少シミ少疲 1959-66 国鉄詩人連盟 48,000
- 588 『国鉄詩人年鑑』1963 折井厚司 編 ▷ 並/48頁、文学以前の連盟の中の問題(中村紀代士)―国鉄詩人連盟の現状他、経年劣化 1963 国鉄詩人連盟 4,000
- 589 『国鉄詩人年鑑』1962 鈴木茂正 編 ▷ 並/68頁、組織と創造の課題―1961年展望他、少シミ少疲 1962 国鉄詩人連盟 4,000
- 590 『国鉄詩人年鑑』1961 年鑑編纂委員会 編 ▷ 並/98頁、会員名簿他、少シミ少疲 1961 国鉄詩人連盟 8,000
- 591 『私鉄文学』5~12、14号、不揃9冊分(1973~79年) 森上多郎 他編 ▷ 武井昭夫旧蔵、私のサークル運動論―文学運動指向への一断面(高橋恒夫)/浜口国雄さんに向へた一日半より(草野もえぎ)/ルポタージュ・七尾火電トクサ湾(北鉄/柳谷守人)他、少シミ少疲 1973-79 私鉄文学集団 16,000
- 592 第13回全国鉄美術展 ▷ 10頁、ヤケ/極少鉛筆 1962 日本国有鉄道 1,500
- 593 笠筆舞記〔発行地・石川県金沢市〕 直江謙次郎 ▷ 162頁、1933年・北陸文化思潮研究会/書き読みそして入朱を/自費出版への里程とそれのもたらすもの他、経年劣化 1983 直江謙次郎 4,000
- 594 『まなぶ』1962年8月号(24号) 山口敏一 編 ▷ 48頁、石栗潔/私は首を切られた(松尾市松)他、少シミ少疲 1962 労働大学 3,500
- 595 『まなぶ』1961年5月号(9号) 秋津真知 編 ▷ 48頁、レイアウト・カット石栗潔/手

- 記・ミサイルの嵐の中の保育所づくり (梶大介) 他、少シミ少疲 1961 労働大学 3,500
- 596 第10回職美展批評 全日本職場美術協議会 ▶ 36頁、滝平二郎他、シミ少疲 1956 全日本職場美術協議会 9,500
- 597 第10回職美展作品集 全日本職場美術協議会 ▶ 並/114頁、職場美術協議会10年の歩み他、少シミ少疲/1ヶ所朱 1956 朝日新聞社 4,500
- 598 第7回石川県勤労者美術展出品目録 ▶ 8頁、ヤケシミ甚大不美/資料なら可 1957 石川県 3,000
- 599 第1回文芸年度賞作品集 佐藤清 編 ▶ 206頁、近藤東/坪野哲久他、少シミ少疲 1952 国鉄労組本部 3,000
- 600 『社会主義』1957年5月～58年7月号 (69～83号) 揃、15冊分 大内兵衛 他編 ▶ 厚さ8センチ、生産性向上問題と最低賃金制問題/総評大会は何を示したか一座談会/生産性向上運動に対決する途/特集・統一後の日本社会党の研究/特集・賃金闘争のために日経連「賃金論」批判/特集・労働運動他、シミ少疲 1957-58 社会主義協会 15,000
- 601 マルクスより仏陀へ (道の叢書1) [転向/手記他] 永井哲二 編 ▶ 並/文庫判/112頁、去りゆく妻に贈る/共産党を脱して大乗仏教の門を叩くに至る迄他、少シミ少疲 1934 親鸞聖人研究発行所 12,000
- 602 『幻野』創刊～17号、うち不揃14冊分 (1971～79年) 幻野の会 編 ▶ 2～4.6～10,12,14～16号、秋山清/岡田孝一/座談会・労働者の文学運動 (武井昭夫/大牧富士夫他) /小林勝特集/特集・ルポタージュ二つの川での戦い (沢井余志郎) /寺島珠雄/座談会・詩人と戦争体験他、少シミ少疲 1971-79 幻野の会 6,000
- 603 『あへっど』4～33号、うち不揃19冊分 (1968年～) 「あへっど」編集委員会 編 ▶ 15～28,30～32号、厚さ6センチ、記録と詩/特集・ベトナム戦争と船員/声なき声の地帯一ぼり遺族を登念に訪ねて/船員がつくる船員のための文化活動誌/売船反対/われわれの船・職場・労働・仲間・闘い/労働と生活と闘いのための問題提起他、少シミ少疲 1968 海上文化活動家集団 48,000
- 604 『京阪神文学』26、28、29号、3冊分 (1967～71年) 森上多郎 編 ▶ 厚さ1.2センチ、サークル異聞 (那津一郎) 他、少シミ少疲 1967-71 京阪神文学会 2,500
- 605 『私鉄関西文学』1964年2月号 森上多郎 編 ▶ 並/40頁、労働者文学に想う (木戸内良夫) /少シミ少疲 1964 私鉄関西文学会 800
- 606 『まなぶ』1963年2月号 (30号) 山口敏一 編 ▶ 48頁、カット石栗潔/松岡洋子/飛鳥田一雄他、少シミ少疲 1963 労働大学 4,000
- 607 『まなぶ』1963年7月号 (35号) 山口敏一 編 ▶ 48頁、水爆はいやだ (文・久保山愛吉/え・石栗潔) /特集・おっぱらおうおよびでない! 盡どもを他、少シミ少疲 1963 労働大学 6,500
- 608 その日の人民広場 メーデー事件被告団 ▶ 32頁、アメリカ帰れば世界の声 (阿部知二) 他、ヤケシミ疲大 1955 駿台社 2,500
- 609 調査員必携 (執務参考用) ▶ 16頁、中共・中央の調査・研究に関する決定他、ヤケ疲 1949 4,000
- 610 『理論戦線』1951年9月号 (1号) ▶ 84頁、党の統一を妨害しているのは誰か (瀬川湯三) 他、ヤケシミ/経じさび/印 1951 2,000
- 611 風鳴り止まらず一思い出すまに [発行地・兵庫県神戸市] 岩本巖 ▶ カバ/256頁、敗戦直後の刑務所/戦後、党建設 (大阪) の出発にあたって/渡さんと日中貿易/私は六全協で何を学んだか他、少シミ少疲 1993 岩本巖 6,500
- 612 労働・生きることと書くことと (謹呈サイン入) 藤森司郎 ▶ 初カバ/268頁、国鉄籍最後の2つの雑誌/戦後サークルの点検と再生他、少シミ少疲 1989 武蔵野書房 1,200
- 613 『自由』1960年2月号 「自由」編集委員会 ▶ 160頁、座談会・知識人の責任とはなにか (竹山道雄他) /対談・原子力時代のもの (見方 (武谷三男他) /北鮮送還におもう (金三奎) 他、少シミ少疲 1960 至誠堂 3,000
- 614 『ほくりく』4.5,7～11,13号、不揃8冊分 (1952～56年) [発行地・石川県金沢市] [表紙紙張関係写真他] 堀春郷 編 ▶ 並上/厚さ2.4センチ、俳句勤労詩説 (林徹子) /フィルムの行方一在満回想譜の中から (高木一光) /阿片 (芦原徹・高木一光) /座談会・職場に於ける文学活動/中井安治/内灘 (組合のアルバムより) /試射場に座り込んで (寺野清心) /国会を顧みて (岡良一) /若狭地方の災害に思う (吉村清) /演劇祭北信越予選を省みて (堀春郷) /高めることと広めること一詩論 (浜口国雄) /暗い壁をぶち破った闘い一北陸本線春江駅駅長追放の斗争記録/国鉄文学会第2回大会に参加して (井上章) /座談会・中国労働節に招かれて/金鉄読書サークル便り (寄島明) /日本から手をひけ (浜口国雄) /勇気と愛について一国鉄文学会第3回大会記 (浜口国雄) 他、少シミ少疲 1952-56 国鉄労働組合北陸地方本部 68,000
- 615 『全通北海道文学』7～45号、うち不揃36冊分 (1960～79年) (14、40、42号欠) (袖木衆三→武井昭夫宛書簡1枚一ペン書15行付) 全通北海道文学サークル 編 ▶ 厚さ18センチ、非常勤問題と文学 (袖木衆三) /職場俳句について/特集・安保闘争に思う/座談会・組織と文学運動の今後の課題一道文学10号発刊を記念して/ルポタージュ・真実を求めて一白鳥事件現地調査に参加して/労働者文学批判特集/ルポタージュ・爆音と砲声に苛まれて一「恵庭事件」現地ルポ/座談会・サークル10年の歩みと今後の問題一創刊10周年を記念して/共同キャンペーン・狂える労務政策を斬る/サークルをとりまく現状と展望一全通道文学15年目の課題 (藤本英夫/アイヌ問題研究者他) /草皆白影子追悼特集 (小笠原克/木原彦彦他) /札幌地方の文化活動一昭和30年までの動き/結成20周年記念特集他、少シミ少疲 1960-79 全通北海道文学サークル 140,000
- 616 『世界の日立』そのスパイと抑圧の支配を告発する! —中村敏夫氏 (日立工場) らの証言 日立製作所 (茨城) 争議団・同守る会 ▶ 並/110頁、スパイ強要と「企業警察」の実態他、少シミ少疲 1974 日立製作所 (茨城) 争議団・同守る会 3,500

- 617 最終陳述書 (1975年第72号) 細川活版所労働組合 ▶ 238頁、草加工場移転から昭和47年の北川社長時代まで/社内報などによる組合攻撃他、少シミ少疲 1980 細川活版所労働組合 4,500
- 618 はだかの「自主生産」(共斗その3) 東洋プロンゼン工場閉鎖・全員解雇反対共闘会議 ▶ 44頁、経年劣化 1977 東洋プロンゼン工場閉鎖・全員解雇反対共闘会議 2,500
- 619 1964年度活動方針案 [全通北海道文学] ▶ B4・5頁分、少ヤケ 2,000
- 620 『全通道文学会報』23号 (1964年) 全通北海道文学サークル 編 ▶ 並/12頁、想像運動の歴史と展望の環—全通北海道文学運動史編纂の提案 (柚木衆三) 他、少ヤケ少疲 1964 全通北海道文学サークル 3,000
- 621 春日意見書—新しい路線への出発 春日次郎 ▶ 26頁、日本共産党を離れるにあたっての声明他、少シミ少疲 1961 春日次郎 3,000
- 622 『月刊総評』1962年12月号 日本労働組合総評議会教育宣伝局 編 ▶ 102頁、太田薫/日高六郎/「民青」はなぜ伸びるか/座談会・マスコミ月評他、少シミ少疲/2頁分鉛筆 1962 日本労働組合総評議会 2,000
- 623 『生産青年』1943年10月号 (5巻10号) 井関純 編 ▶ 60頁、職場小説・炭塵の唄 (工藤光次郎) 他、少シミ少疲 1943 科学主義工業社 2,500
- 624 黄昏の詩編—故庄田松雄遺稿 庄田松雄 ▶ 編者旧蔵少書込/492頁、『機房文化』『関東軍文学』『北陸幹線』などに載せられた短歌や書評・随想なども一冊に、ヤケシミ疲 1989 高木美佐子 2,000
- 625 面影—松崎清作断章 松崎清作 ▶ 並/46頁、1902年12月金沢騎兵第9連隊に入隊/日露戦争中の敵中挺身決死隊行の日記の一部/第2挺身隊日誌他、少シミ少疲/生写真1枚付 1964? 15,000
- 626 根室寛一—岩崎昶 編 ▶ 初箱/並/300頁、新聞記者時代/「満映」の時代/日映社長として/幻の原爆映画会、少ヤケ/経年劣化 1969 根室寛一伝刊行会 4,000
- 627 『川柳雑誌』1942年7月～43年12月号 (222～239終刊号) 揃、18冊分 [発行地・大阪市] 麻生幸二郎 編 ▶ 厚さ4センチ、あべこべの問題 (澤田四郎作) /よしありごと (沖野岩三郎) /12月8日を詠く (蒙疆張家口/岩崎柳路) /日おくれの夕刊 (澤田四郎作) /簡易生活に関して/ボルネオ通信 (大森風来子) /海軍慰問局/陣中柳 (北支征破回顧断片/全インドよ立ちあがれ (麻生路郎) /本社英撃滅句会/雑誌奉還/表紙 (蒙古の少女) /苦闘40年他、ヤケシミ疲/痛1冊 1942-43 川柳雑誌社 40,000
- 628 『井華』1942年12月号 (6号) 土井正治 編 ▶ 118頁、新亜細亜の文学を訪ねて (倉庫/松本清) /戦争と若き私達 (生命保険/今井カズ子) /吾が寮5・住友謙和寮他、少シミ少疲 1942 住友本社厚生課 2,000
- 629 『井華』1943年3月号 (7号) 津田久 編 ▶ 140頁、仏印より帰って (金属工業/鈴木貞雄) 他、少シミ少疲 1943 住友本社厚生課 5,000
- 630 『井華』1938年12月号 前田喜一 編 ▶ 148頁、故鈴木勝廣氏追悼記事集 (北支産金) /水害地芦屋川の勤勞奉仕 (住友山岳) 他、少シミ少疲 1938 住友井華会 12,000
- 631 『研究雑誌』1943年8月号 (正誤表付) 中田治藤 編 ▶ 270頁、創立5周年記念特集/支那阿片の歴史的発展2 (田辺富次郎) /中国電気通信大事年表他、表紙3×3センチ擦れ/少シミ少疲 1943 華北電信電話 3,500
- 632 北平遊覧案内 (改訂増補) ツ橋丑雄 ▶ 少シミ少疲 1936 ジャパン・ツーリスト・ビューロー (日本国際観光局) 6,000
- 633 『同窓会誌』1938年10月号 橋本寛一 編 ▶ 98頁、支那事变特集号、シミ疲/墨塗り有 1938 石川県立金沢第三中学校同窓会 3,000
- 634 『興国運動』1934年5月号 鬼塚昌停 編 ▶ 62頁、金銀禍に呪はれたる羅馬史観 (豊国千三) /時局に対する私の観察 (陸軍省新聞班/満井佐吉) 他、朱多 1934 興国統盟出版部 2,000
- 635 『興国運動』1934年6月号 鬼塚昌停 編 ▶ 64頁、誤まれた日本の自由主義 (陸軍省軍事調査部陸軍砲兵少佐/清水盛明) 他、少シミ少疲/記名 1934 興国統盟出版部 2,000
- 636 『興国運動』1934年10月号 鬼塚昌停 編 ▶ 64頁、経済大権確立論の創唱者その巨匠は朝鮮王子だった (豊国千三) /非常時の真相と対満観念の確立に就て (陸軍省新聞班/眞方他)、少シミ少疲/朱 1934 興国統盟出版部 2,000
- 637 『興国運動』1935年4月号 鬼塚昌停 編 ▶ 68頁、少シミ少疲 1935 興国統盟出版部 2,000
- 638 『興国運動』1935年7月号 鬼塚昌停 編 ▶ 64頁、北支問題について啓ふ—室伏高信氏の所論に寄せて (川島賢一) 他、ヤケシミ大/疲 1935 興国統盟出版部 2,000
- 639 『興国運動』1934年3月号 阿南薫 編 ▶ 62頁、陸軍省パンフレット頒布 (興国統盟本部) /神州青年蹶起の歌 (西條八十) 他、少シミ少疲/少朱 1934 興国統盟出版部 3,500
- 640 『興国運動』1934年2月号 阿南薫 編 ▶ 62頁、1936年と国民の自覚 (荒木貞夫) /母は「人物」を生む (穂積重遠) 他、朱多 1934 興国統盟出版部 3,500
- 641 『博愛』1922年10月号 (426号) 橋本信次郎 編 ▶ 52頁、学校看護婦について他 1922 博愛発行所 2,500
- 642 『博愛』1922年11月号 (427号) 橋本信次郎 編 ▶ 58頁、満州から朝鮮まで (日本赤十字社長/平山成信) /赤十字社病院と地方医師との融和 (石黒忠恵) /浦潮派遣救護班の帰還他、少シミ少疲/個人印 1922 博愛発行所 2,500
- 643 『川柳柳友』1933年4月～44年3月号 (創刊～131号) うちほほ揃 129冊分 加波澤六郎 他 編 ▶ 1935年9月/43年12月号 (30/128号) 欠、厚さ22センチ、函箱大火慰問金募集/憎まれ帳 (西島○丸) /大連から—自分のこと柳人のこと (高須唾三味/満鉄社員集編集局) /陣中だより/北京の汽車 (和田黙然人) /東京大連親睦競吟会/北米川柳日本人健在なり (村上鬼堂) /○丸帳 (○丸) 他、少シミ少疲/極少鉛筆/頁1枚8センチ製/131号痛大 1933-44 柳友会事務所 180,000

- 644 石一柱定治郎歌集 桂定治郎▷ 初裸本/並/238頁、発行者伊藤貫一/松花江餘情一昭和13年/ペチカー昭和14年/胡弓の音一昭和15年他、少ヤケ少疲 1946 マンニチ社出版部 14,000
- 645 戦争 山路英世▷ 初裸本/96頁、発行者林信寛/敵はナンセンスに潰走した/興安嶺に墳墓を掘る他、シミ少疲 1934 新知社 9,000
- 646 村の歩 哨大谷久蔵▷ 初裸本/270頁、発行者伊藤信次郎/村出身の兵隊達/月1回ずつガリ版の手紙/「村の戦闘日記」と題して他、少シミ少疲/背少痛/印 1943 伊藤文信堂 28,000
- 647 華北の風物文化 加藤将之▷ 並/436頁、華北国定教科書の実際の配給部教他、ヤケ少シミ少疲 1943 山雅房 4,000
- 648 祖国の山河一長篇小説 五十公野清一▷ 初裸本/並/358頁、著者日本青年文学者会機関紙編集委員、少シミ少疲/個人印 1944 隆文社 1,500
- 649 土と戦ふ 菅野正男▷ 重版裸本/164頁、発行者出原忠夫、背ヤケ補修/少シミ少疲 1943 満洲移住協会 1,200
- 650 はるかなる山河一東大戦没学生の手記 東大戦没学生手記編集委員会 編▷ 初裸本/東大法学部学生元海軍大尉、海原文雄見返し書込/246頁、ヤケ疲 1947 東大協同組合出版部 5,000
- 651 決戦下学生に与ふ 京都帝国大学新聞部編▷ 初カバ/並上/268頁、熱帯医学の課題一大東亜建設に於ける問題性(鈴木憲二)他、少シミ少疲 1942 教育図書 2,500
- 652 東大の学友の勇敢な闘争を支持しさらに強力な支援と連帯を 全日本学生自治会総連合他▷ 1968 3,000
- 653 『破防法研究』1969年11月号(3号)破防法研究会▷ 128頁、非合法時代について一『無産者新聞』の経験他、少シミ少疲 1969 破防法研究会 1,000
- 654 道ちゃんの記念塔 森島好雄▷ 66頁、道雄君の在りし日を偲びて(中里国民学校長/菊地勉)他、少ヤケ少疲 1943 森島家 4,000
- 655 『赤道標』116~180号、うち不揃2部分(1970~76年) 市倉徳三郎 編▷ 117~120,122~135,137~178号、厚さ3センチ、南方時代(間島一臣/元スマトラ軍政監部)/山田恭子さんは元氣ですーたった一人プキチンギに残った日本女性の話(本名左一)/教育者としての日本人(A.J.ジョーンズ/元パタンバンジャン女子師範学生)/難航を極めるスハルト政府の家族計画一文盲と貧乏/化学細菌戦・原水爆戦(高木繁之)一邦人癩療養所監禁説に対する邦人救出の命令をうけた馬來軍報道部員/マル宣言回顧録(馬來軍政監部宣伝部)/南方軍終戦顛末(志村文雄)/引揚日記/蔵重一彦/元第二十五軍軍政監部通信部)/臺北・モロタイの遺骨収集報告(臺北方面戦没者慰霊会・赤塚正一)/遺骨収集をどう考えるか(花田実彦)他、少シミ少疲/綴じ穴/2頁ペン 1970-76 赤道会 95,000
- 656 『ジュロン会会報』1961年7月号(1号)ジュロン会連絡事務所▷ 4頁、手をつないで宝庫南方へ行こう(在サラワク/篠宮大次郎)/ジュロン引揚会出席者及び連絡者名他、少シミ少疲 1961 ジュロン会 4,000
- 657 『赤道標』1966年4月号(20号) 市倉徳三郎 編▷ 32頁、戦後20年静かに眠る戦跡ジュロン地区と日本人墓地(石原産業副社長/杉山周三)/南方人物誌・熱血の快男子染谷貞雄氏(タイガー商事社長)/芳名録他、綴じ穴/少シミ少疲 1966 赤道会 6,500
- 658 『自由』1963年5月号 「自由」編集委員会▷ 並/184頁、座談会・「農村工家」と農業の未来像(下村治他)/日本の若もの・農村の青年団(重松敬一)他、少シミ少疲 1963 自由社 2,000
- 659 『自由』1965年12月号 「自由」編集委員会▷ 並/232頁、大衆運動と戦後思想(竹山道雄他)/沖繩返還を再び総理に問う(村上薫)他、少シミ少疲 1965 自由社 2,000
- 660 熱帯農業の体験 和田民治▷ 初帯/318頁、熱帯農園経営20余年他、少シミ少疲 1942 大日本雄弁会講談社 1,000
- 661 人間改造一私は中国の戦犯であった 平野零児▷ カバ帯/並上/228頁、著者中央公論特派員として従軍・残留し閩錫山の下で反共宣伝に従事・日本人会の宣伝主任となり独力で大衆雑誌『読物』を発行、少シミ少疲 1956 三一書房 6,800
- 662 時は流れる一トラック島・秋島野戦病院豊田文一▷ カバ/並/122頁、著者1971年金沢大学医学部長/診察/デング熱/回覧雑誌『環礁』他、極少疲/経年劣化 1985 豊田文一 6,000
- 663 我穢滅滅 小野寺誠毅 編▷ 旧蔵者少ペン書人補注/巻末厚紙頁旧蔵者関係生写真60枚込(キャプション付)、防疫宣伝の立看板/河口鎮/破壊寺院跡ニテ/瓶風呂/支那児女の親日振(土地塘ニテ)/漢口見物日本女給(ピンボン/廢墟)裏川ニ洗濯スル姑娘他、装背痛大/綴じ壊れ/煙草臭/資料なら可 1940 小野寺誠毅 80,000
- 664 生きていた/生きていた続、2タイトル合本1冊〔自家製本〕 山形玄洞▷ 総116頁/ワープロ印刷か、満洲東寧砲兵第2連隊入隊/石川県鳳至郡三井村立三井国民学校/砲兵情報第2連隊(通称満洲第四一部隊)他、少シミ少疲 1995 山形玄洞 6,000
- 665 『イハラキ時事』1936年7月~39年1月号(21巻6号~24巻1号)不揃20冊分〔発行地・茨城県水戸市〕 瀧山清哲 他 編▷ 1936年8~10月/37年1,3,5,7~9,11月/38年1~3,5,6,8,9,12月号、厚さ3センチ、『イハラキ時事』が交通事故に就いての保安課攻撃は遺憾ながら認識不足/不良新聞記者の取締に関する警察当局の方針極めて可なり・唯だ其の方法奈何を疑ふ/内地は勿論台湾滿州等の同種学校に存在を示した県立笠岡農学校の色特色/結核予防策と称する月並みの宣伝をやめて結核療養所の新設を図れ/ダンスホールの禁止に次いで毎月幾回カラオケの放送する新開薄淫濁な歌劇を廃せよ/名士を擁する新聞の無責任/国総運動を裏切る放送局一洋楽万能の演奏は情操教育の破壊だ/志を大陸発展に立上つ満洲の天地に成功させる(南昌洋行専務/齋藤茂一郎氏)/近代に於ける官界の麒麟児(台湾総督府総務長官/森岡二郎氏)他、綴じ穴/少シミ少疲/4頁朱 1936-40 イハラキ時事社 40,000

666 『皇国時報』1934年1月1日～12月21日号 (514～549号) 摘、36部分合本1冊 太田眞一 編 ▷ 河野省三/中山太郎/厚さ2.8センチ/神社関係者旧蔵記名、岡部長景/伊東忠太/門松と民俗(柳田国男)/松岡洋右/丸山鶴吉/満州国の採用すべき王道に就いて(井上哲次郎)/隨筆・父の神職(真杉静枝)/貴族院に於ける神社問題/仁武と靖国(陸軍大将/渡辺錠太郎)/外人の観たる靖国神社(ボンソンピ・リチャード)/朝鮮の巫女(ムーダン)に就いて(今泉定助)/北原白秋/吾が自衛移民北滿の守護神—「彌架」/「千振」両神社/神社を更生運動の中心に/満州に奉建する神社に就いて(奉天神社神職/山内祀夫)/近畿地方の風習と神社との林苑(内務省嘱託/本郷高德)/神社奉仕者と葬儀—その宗教關係に就いて/久松潜一他、ヤケシミ痲/極少朱 1934 皇国時報発行所 135,000

667 『皇国時報』1937年1月1日～12月21日号 (622～657号) 摘、36部分合本1冊 太田眞一 編 ▷ 中山太郎/厚さ2.2センチ/神社関係者印、神職制度の改善整備に關し吾人は欺く要望す(台湾無格社南靖神社社掌/真杉千里他)/祭政一致の精神と教学刷新(養田胸喜)/邪教とは何ぞや—官僚とヂャーナリズムの提灯持を務むる仏教徒の邪教排撃運動(田尻隼人)/思想戦より観たる防共(陸軍省新聞班)/井上哲次郎/中島宮司の「鮮滿雜記」を読む(小笠原省三)/沖繩固有の敬神思想並其の施設概要(糸永新)/台・鮮の神社境内樹林に關する断片/千人針古意(高崎正秀)/皇軍將兵戦没者に対する公葬は神式により嚴修せられたし/満州の神社を拝みて(三重県村社洲崎濱宮神明神社社掌/林栄治)他、ヤケシミ痲/専用バインダー痛/頁1枚裂4×6センチ欠/10頁分朱 1937 皇国時報発行所 150,000

668 野戦本部当番兵抄(歌集一千百首)〔発行地・千葉県成田市〕 勝又坦治 ▷ 初ビニカパ/230頁、シミ少痲/個人印 1967 桐之家館 8,000

669 我ら力あれば 寺崎浩 ▷ 初裸本/330頁、国民新聞の日華提携小説他、ヤケシミ痲大 1941 墨水書房 1,500

670 爆撃の話(青少年選書) 柴田真三朗 ▷ 初カパ/196頁、発行者岡本政治/爆撃行動及び爆撃精神他、少シミ少痲/少ペン 1942 増進堂 1,000

671 中学生錬成一長篇小説 石丸創造 ▷ 重版カパ/248頁、発行者岡本政治/綴じ割れ/少シミ少痲 1942 錦城出版社 6,000

672 祖国日本よこれでいゝのか—竜は鳴いている 明航外次郎 ▷ 重版カパ/230頁、日教組解体の国民運動を起せ/ストは完全な公害た勞組に損害賠償を請求せ他、少シミ少痲/個人印 1974 新創造社 5,000

673 『日本魂』1932年8月号 芳井直利 編 ▷ 168頁、国民精神作興雜誌/健康長寿号/清浦奎吾/江木理一他、シミ少痲 1932 日本魂社 4,000

◎

674 思想戦の根基(日本思想戦叢書第2輯) 大日本言論報国会編 ▷ 初/246頁/並上、少シミ少痲 1943 同盟通信社 2,500

675 チロハニー村の陸軍病院〔発行地・福岡市〕 森優 ▷ 65頁、『南五新聞』、少シミ少痲 1961 3,000

676 徴集延期證書(高松隊区) (15×12センチ) ▷ 経年劣化 1943 高松聯隊区徴兵署 3,000

677 『日本魂(にほんこん)』1932年12月号 (17巻12号) (雑誌) 芳井直利編 ▷ 152頁、新宗教至誠教、少シミ少痲 1932 日本魂社 4,800

678 血路歷程—獅子島戦犯獄中ノート(1950年5月1日) (正誤表付) 城朝龍 ▷ 176頁、獅子島歐南監獄終身刑戦犯捕囚、少シミ少痲 1950 『血路歷程』刊行有志 30,000

679 『団報』1938年1月号(雑誌) 宮本登編 ▷ 52頁、文芸部「本団区内戦死者遺族を慰問して」、頁余白3×1センチ虫損/ヤケ少痲/4頁分インク染み 1938 大阪市済美第六青年団 6,500

680 『皇楯(みたて)』1941年7月号(雑誌) 萩原俊三編/大本宮陸軍報道部長陸軍大佐・馬淵逸雄/蓮沼門雄 ▷ 116頁、事変第四周年記念特輯他、少シミ少痲/背補修テープ/記名印 1941 軍人会館図書部 3,500

681 『医学ペン(『中村瀧時報』改題)』1938年9月号(雑誌) 星川一編 ▷ 81頁、小峰茂之「断種に就ての所感」/杉田直樹「『医学ペン』に寄す」/式場隆三郎「小説・医神を射る」他 1938 中村瀧商店 4,000

682 支那事変と学校(『中月報』1938年12月臨時号)〔発行地・上海〕(雑誌) 石井則之編 ▷ 188頁、事変勃発当日の学校/避難者の生活状況/避難者当時の感想/殘留児童の住所及動靜/児童作品他、シミ少痲/背スレ 1938 上海中部日本尋常小学校 125,000

683 『新大陸』1943年2月号(10巻2号)〔発行地・満洲国新京市〕(雑誌) 白石房編 ▷ 96頁、藤生好夫「義勇隊文化建設譚(四)―神社を中心として」、特輯「開拓地農機具關係者に臨む」/北滿農機具座談会/短歌講座/詩と歌語講座他、装シミ跡スレ/ヤケ少痲 1943 新大陸社 15,000

684 『新大陸』1943年8月号(10巻8号)〔発行地・満洲国新京市〕(雑誌) 白石房編/坂本詩城/加賀大介(石川県)他 ▷ 96頁、詩と歌語講座(新大陸芸文)/開拓短歌(新大陸芸文)/瀨川章義「義勇隊文化建設譚(九)―芸文発表の機会」/満洲家畜防疫講座/満洲開拓人略鑑/藤生好夫「開拓小説・大地に描く」他、シミ痲/記名 1943 新大陸社 30,000

685 『創造』1941年5、11、12月、3冊分合本一冊(雑誌) 西谷松蔵編/近藤春雄/藤澤親雄他 ▷ 総736頁/並上、毛利八十太郎「新聞新体制の提唱」/南龍彦「新聞統合は何処へ行く」/「ビルマの実情を語る」座談会/三浦薫「従軍記者の戦死」/丸山義二「緩化日記」/工清定「満洲の母胎」/少ヤケ少痲 1941 創造社 20,000

686 『創造』1942年3～6月、4冊揃、合本一冊(雑誌) 西谷松蔵編/石原広一郎/熊王徳平他 ▷ 総944頁/並上、小泉讓「上海・新劇の動向」/笹宮龍一「上海の鼓動」/座談会・南方の宗教と慣習/日本語研究他、少シミ少痲 1942 創造社 24,000

687 『創造』1942年8～12月、5冊揃、合本一冊(雑誌) 西谷松蔵編/丸山義二/湯浅克衛/本間立也/張赫宙他 ▷ 総1040頁/並上、城京介「新聞再編成の諸問題」/座談

- 会・大東亞戦争と海洋／人見誠美「地方に文運動化を觀る一京津文化協会の現状」／南龍彦「新聞再編成問題」／海軍報道班員・森田善十「輸送船団従軍記」／華僑混血児の性格／「南方文化と指導」座談会／月刊「新東亞經濟」発刊予告／毛利八十太郎「善人ばかりの国(新聞騒動記)」／川島四郎「南の兵食従軍記」／南方の建設地帯を往く他、少シミ少疲 1942 創造社 30,000
- 688 『流行性脳炎新文献(脳炎記念)／大正13年夏夏季香川県地方に於ける流行性脳炎の研究』流行性(嗜眠性)脳炎、合本1冊 山谷徳治郎編／入澤達吉／二木謙三／宅敏一／清野謙次／石井四郎他 ▶ 厚さ3センチ／藤田六朗旧蔵印、脳炎座談会速記録他 1929～日新医学社 60,000
- 689 『東京朝日新聞』1935年7月30日号(夕刊)(雑誌) 藤本尚則編 ▶ 4頁、暗黒大陸瀛奇の旅／首狩種族の穴倉で二日間毒槍攻め／土産は初入国の珍獣集団一山田医学士帰る、ヤケシミ痛 1935 東京朝日新聞社 1,500
- 690 大地を征く一天に星地に花人に愛(阿呼文庫叢書第二卷) 山田学 ▶ 和装66頁、「一九三五年、アフリカ大陸、学術探検旅行…」／「金関丈夫博士の部屋で人類学を研究…」 1951 5,000
- 691 1935年山田学(医学・人類学)アフリカ写真13枚＋ライカネガフィルム60コマ分 ▶ 1935 山田写真科学研究室 15,000
- 692 検疫係員之証(9×5センチ)(1948年) ▶ 大阪府／衛生部防疫課山田学 1948 3,000
- 693 結核予防法指定診療所(ホーロー看板)(8.5×30センチ) ▶ 少シミ少疲 1950年頃か 8,500
- 694 第一日新丸医務室・船医助手(東大医学部卒業某氏)「日誌」(1947年11月～1948年4月)／「撮影記録(南氷洋)」、2冊分〔占領期捕鯨船団他〕 ▶ 他に写真6枚一連×70速分／原稿40枚／船員手帳他 80,000
- 695 日軍侵華暴行録 文匯報編 ▶ 80頁／香港在住者一文本書、少シミ少疲 1980年頃か文匯報 3,000
- 696 八路軍とともに 永峰正樹 ▶ 初裸本／138頁／並／慶松光雄旧蔵記名、張家口へ／毛沢東さん他、少シミ少疲 1946 民報社 2,000
- 697 『校友会誌』1941年1月(30号)(雑誌) 武道専門学校々友会 ▶ 138頁、台湾剣道武修行記／台湾旅行柔道部報他、装痛／少シミ少疲 1941 大日本武徳会武道専門学校々友会 12,000
- 698 『南満洲警察協会雑誌』1927年9月(253号)〔発行地・満洲〕(雑誌) 乾泰治編 ▶ 146頁／「旅順」旧蔵印、關東長官伯爵・児玉秀雄「修養団に就いて」／宮口警察署・石井金三郎「被告人の人違ひに就いて」／十五年を顧みて／南満洲警察協会設立主意の概要他、少シミ少疲 1927 南満洲警察協会 80,000
- 699 『爾靈』1932年3月号(307号)(雑誌)〔発行地・満洲〕 岩藤章編 ▶ 142頁、明日の満洲と要求する警官／加藤庄市「關東州租借地に於ける法制」／新天地に向つて吾等の覚悟／長谷川秀治「冬見た満洲の衛生に就いて」他、少シミ少疲 1932 南満洲警察協会 70,000
- 700 『爾靈』1932年4月号(308号)(雑誌)〔発行地・満洲〕 岩藤章編／荒木貞夫他 ▶ 136頁／「長谷川秀治研究室」旧蔵印、列車警乗死線突破記一安奉線襲撃の真実／長春・方亮「奥地駐在員の苦心」／關東庁技師医春・長谷川秀治「うがひの話」／紅槍会及大刀会の正体／在滿鮮農に対する一考察 戯曲・放蕩の果(衛生劇)他、少シミ少疲 1932 南満洲警察協会 80,000
- 701 『南満洲警察協会雑誌』1932年5月号(309号)〔発行地・満洲〕(雑誌) 岩藤章編 ▶ 108頁、山田倭太郎「滿蒙に於ける鉄道問題史的解説」／末光高善「大刀会とは如何なるものぞ」／橋本生「旧滿蒙警察制案考度」／上海従軍一兵士の日記他、少シミ少疲 1932 南満洲警察協会 68,000
- 702 『南満洲警察協会雑誌』1932年6月号(310号)〔発行地・満洲〕(雑誌) 岩藤章編／正富汪洋／生方敏郎他 ▶ 142頁、通化事件の顛末／在留邦人救援警察隊活動状況／坂本小隊長、皆島巡查の戦死／通化出動記他、少シミ少疲 1932 南満洲警察協会 80,000
- 703 『南満洲警察協会雑誌』1932年7月号(311号)〔発行地・満洲〕(雑誌) 岩藤章編 ▶ 161頁、大石橋・反田昭「殉職したる故巡查部長木田亀之助君」／後郷芳雄「通化事件一通化より旅順の友に送る手記」他、少シミ少疲 1932 南満洲警察協会 60,000
- 704 『南満洲警察協会雑誌』1932年9月号(313号)〔発行地・満洲〕(雑誌) 岩藤章編／新渡戸稲造他 ▶ 164頁、服装と点検一内地と關東庁との比較／加藤庄市「南満洲鉄道行属地の性質を論ず」／崎村雅「満洲に於ける不逞鮮人運動の解剖」／津田宝城「満洲事変秘史」／陶家屯兵匪襲撃事件の前後他、少シミ少疲 1932 南満洲警察協会 65,000
- 705 『南満洲警察協会雑誌』1932年11月号(315号)〔発行地・満洲〕(雑誌) 岩藤章編 ▶ 152頁、遼海丸討伐日誌／歪頭山駅を救ふ／井関安治「思想犯罪の取締に就いて」／殉職の友を悼む／臨時全滿式道大会他、21～24頁に65～68頁ダブリ印刷／少シミ少疲／裏表紙版 1932 南満洲警察協会 60,000
- 706 『南満洲警察協会雑誌』1933年1月号(317号)〔発行地・満洲〕(雑誌) 岩藤章編／徳富蘇峰他 ▶ 188頁、井関安治「裁判に表れたる關東州の思想事件」／鈴木義雄「満洲に於ける我特殊權益發展過程考察」／三角地帯討匪の旅、少シミ少疲 1933 南満洲警察協会 65,000
- 707 『南満洲警察協会雑誌』1933年2月号(318号)〔発行地・満洲〕(雑誌) 岩藤章編／滿川龜太郎他 ▶ 170頁、満洲事変と關東庁警備概況／海上討匪行他、トジサビシミ／少痛 1933 南満洲警察協会 50,000
- 708 『南満洲警察協会雑誌』1933年4月号(320号)〔発行地・満洲〕(雑誌) 松岡洋右他 ▶ 181頁、管内外匪賊槍挙一覽／開拓を要する警察の領域／「あの時」を訊く座談会(貔子窩の馬賊事件)／警察電話の一日他、頁マワリシミ痛／シミ疲 1933 南満洲警察協会 50,000
- 709 『南満洲警察協会雑誌』1934年4月号(332号)〔発行地・満洲〕(雑誌) 鈴木英夫編 ▶ 178頁、警務局ニュース／笠木良明「満洲国県参事官の重大使命」／安得財「満洲

- 国公文の研究」／唐手の起源及び発達（唐手術の研究其の二）他、49～52頁原本自体落丁／少シミ少疲 1934 南満洲警察協会 60,000
- 710 『南満洲警察協会雑誌』1934年7月号（335号）〔発行地・満洲〕（雑誌）鈴木英夫編 ▶ 142頁、全満式武道試合に剣道部（新京署）優勝す／秩父御名代宮来満／東京御出発より御帰まで／御警衛に関することども他、頁マワリシミ／余白少虫喰／少痛 1934 南満洲警察協会 75,000
- 711 『南満洲警察協会雑誌』1934年9月号（337号）〔発行地・満洲〕（雑誌）鈴木英夫編 ▶ 130頁、美濃部達古氏談／公主領・小林与助「支那馬の研究」／津田元徳「在満行政機構改革問題に関する考察」／現地各都市輿論の帰趨他、トジサビ少シミ少疲 1934 南満洲警察協会 70,000
- 712 『南満洲警察協会雑誌』1935年9月号（346号）〔発行地・満洲〕（雑誌）鈴木英夫編 ▶ 140頁、覇権獲得まで一オール四平街相撲大会記／警務部・福島政喜「横道河子殉職四警察官の追憶」／輝やく受勲者三千二十七名（事変論功行賞発表）他、余白虫喰（0.5×0.8センチ）通貫／少シミ少疲 1935 南満洲警察協会 55,000
- 713 『南満洲警察協会雑誌』1935年12月号（348号）〔発行地・満洲〕（雑誌）鈴木英夫編 ▶ 96頁、支那の貨幣改革と我が國への影響／外事警察上に於ける対謀防衛／任免転退他、ヤケシミ大／不美少カビシミ／資料ナラ可 1935 南満洲警察協会 30,000
- 714 『南満洲警察協会雑誌』1936年4月号（352号）〔発行地・満洲〕（雑誌）鈴木英夫編 ▶ 144頁、関東局移民衛生調査委員会委員奉天医科大学教授・三浦運一「移民家屋の研究」／鞍山・衛連三「潛入した匪賊の一味一七名を巧みに捕ふ」／在興京・谷勝信「興京日より（鮮匪・共産匪・満匪の近情）」／宣伝通信機関の統制／桂川龍三「民衆の太陽（防犯映画小説）」／李鍾熙「流言蜚語とその取締」／国都余満他、1行削除黒塗り／少シミ少疲 1936 南満洲警察協会 80,000
- 715 建国忠靈廟鎮座祭写真帖〔満洲国〕▶ 並、練り歩く奉祝の山車、少シミ少疲 1942 満洲帝国祭祀府総務処 28,600
- 716 脱蛋白質「ゴム」に就て／〔業務〕指示〔書〕、二種一括〔メダナ市〕 南方軍・阪田囑託／軍政部東海岸州農園聯合会理事長・阪田靖人他 ▶ 22頁分、ヤケトジハズレ 1942 軍政部東海岸州農園聯合会 15,000
- 717 『宮城警友』1952年6月号（6巻6号）（雑誌）熊谷深厚編 ▶ 72頁、新明正道「世論をめぐって」／警察官の教養に関する世論調査他、ヤケ痛／不美 1952 宮城県警友会消費生活協同組合 3,500
- 718 『宮城警友』1954年3月号（8巻3号）（雑誌）▶ 82頁、ゾルゲ・尾崎秀実スパイ事件の全貌／亀井勝一郎「公衆道徳について」／鳴子地区警察署の巻／実務・松川事件第二審公判警備記他、ヤケ痲大 1954 宮城県警友会消費生活協同組合 4,000
- 719 『宮城警友』1954年8月号（雑誌）菅野芳春編 ▶ 80頁、県警察新発足特集／亀井勝一郎「死刑の是非」／斎藤婦人訪問記他、ヤケ少疲 1954 宮城県警友会消費生活協同組合 3,500
- 720 『宮城警友』1954年11・12月合併号（雑誌）菅野芳春編 ▶ 100頁、最近に於ける窃盗犯の実体／警友廟遷座合祀並慰靈祭挙行について／佐々木省吾「ボルネオ紀行」他、ヤケ痲大 1954 宮城県警友会消費生活協同組合 4,500
- 721 『宮城警友』1955年1月号（雑誌）菅野芳春編 ▶ 90頁、各署めぐり一若柳警察署の巻／長谷川伸「美貌の仇討」他、ヤケ少疲 1955 宮城県警友会消費生活協同組合 3,500
- 722 『宮城警友』1955年2月号（雑誌）菅野芳春編 ▶ 79頁、映画室・警察日記／村上元三「上総風土記」他、ヤケシミ疲 1955 宮城県警友会消費生活協同組合 3,500
- 723 『宮城警友』1955年7月号（9巻7号）（雑誌）菅野芳春編 ▶ 92頁、中島健蔵「不良出版物の問題」／警察犬の利用について／佐々木清悟「ボルネオ紀行」他、シミ疲／ヤケ大 1955 宮城県警友会消費生活協同組合 4,000
- 724 『宮城警友』1955年11月号（9巻11号）（雑誌）熊谷栄穂編 ▶ 82頁、河上徹太郎「青春の叛逆について」／公衆接遇は如何にあるべきか／故今野警部補の警察選抜行さる他、ヤケ大／シミ疲 1955 宮城県警友会消費生活協同組合 3,500
- 725 天皇帰一的生活（陸軍大将・菱川隆一桜井兵五郎宛印刷書簡1枚（宛名墨書）／「天皇帰一的生活普及会」（案内状・理事名刺）海軍大将・山本英輔 ▶ 203頁、天皇帰一的生活普及会、1942 錦城出版社、発行者・岡本政治 8,000
- 726 福島県勤労報国隊関係資料（1943年9月）▶ 50頁、少シミ少疲 1943 福島県勤労報国隊本部 8,000
- 727 おもいで—平福一郎追悼集 石河利隆編 ▶ 245頁、江頭靖之「戦時中の東大病理と平福先生」／自衛隊中央病院他、経年劣化 2005 発行者・平福貞文 3,500
- 728 敗走千里 陳登元／別院一郎 訳 ▶ 重版裸本／378頁、少シミ少疲／個人印 1938 教材社 1,200
- 729 柱—石川県遺墨集 石川県遺族連合会編 ▶ 根本／132頁／並、石川県遺族連合会会長・林屋亀次郎「発刊に際して」／徳田与吉郎「戦後遺墨集」発刊に当りて」他、少シミ少疲 1966 20,000
- 730 『家の光』1943年11月号（雑誌）中島寅之助編 ▶ 86頁、女の力で守る眷の家の田—山口県右田村神里部落を訪ふ、少シミ少疲／記名 1943 産業組合中央会 1,500
- 731 『毎日情報』1951年10月号（雑誌）北川正夫編 ▶ 164頁、馬順宜「兄周恩来に与える一貴方の義妹である私はなぜ台湾へ逃げたか」／講和で暮しは楽になるか（座談会）／大川周明「アブレ雑談」他、少シミ少疲 1951 毎日新聞社 4,000
- 732 菓子と兵隊〔発行地・金沢〕 荒木友一 ▶ カバ／350頁／並、戦中日記／ああ、阿波九事件他、少シミ少疲 清久えんび行 1993 5,000
- 733 軍神を生んだ母 権閑寺健 ▶ 重版裸本／263頁、情報局課長井上司朗序、少シミ少疲 1944 興亜日本社 800

- 734 忠烈偉勲録 佐々木一雄 ▷ 総270頁、報道陣の勇士南苑戦場に華と散る (岡部記者) / 戦場文芸他、函・本体マワリ装端色テープ補強 / 経年劣化 1937 皇軍発行所 2,000
- 735 北支戦線陣中手記 武藤蔭次郎 ▷ 初裸本 / 208頁、函・本体マワリ装端色テープ補強 1937 第二国民会出版部、発行色・鈴木補次郎 7,000
- 736 愛馬の進軍 安倍季雄 / 伊藤幾久造・挿絵 ▷ 初裸本 / 391頁、ヤケ少疲 / 本体マワリ装端色テープ補強 1940 東京日日新聞社 / 大阪毎日新聞社 3,500
- 737 少年砲兵志願者の為に (1942年度) 教育総監部 ▷ 38頁 / 並上、少シミ少疲 教育総監部 7,000
- 738 関東軍定期航空 [……] 日本航空輸送 (株) 出張所看板・人物写真 (12×9センチ) ▷ チチハルか 1935年頃か 5,000
- 739 天を射る 大谷健夫 ▷ 279頁 / 本体並上、満鉄大連図書館勤務・戦後後重慶図書館に勤務、初函背カケ 1960 二一書房 1,000
- 740 『世界之教育』1930年1月号 [出版地・奉天] (雑誌) 朝日直樹編 ▷ 98頁、寺田喜治郎「読書量速度及び理解度」他、青背シミ少疲 1930 満洲教育専門学校世界之教育通信部、発行人・大田元輔 12,000
- 741 1943年土田タマ宛感謝状六枚一括 (海軍大臣三枚 / 陸軍大臣二枚 / 金沢市長一枚) ▷ 21×30センチ他、飛行機金沢号献納、少シミ少疲 1943 4,000
- 742 『拳闘精神』1941年4月～1943年3月号、不揃20冊分 (雑誌) 中澤丞夫編 / 小山栄三他 ▷ 厚さ4.8センチ / 1941年6～9、11、12月 / 42年1～12月 (うち6月欠) / 43年1月、白石亜細亜丸「日本の紙」 / 山田克郎「南の漁場」 / 蘭郁二郎「蟻」 / 佐佐木信綱選「陸海傷痍軍人の歌」他、少シミ少疲 1941～ 紀元二千六百年奉祝会 38,000
- 743 『サンデー毎日』1942年5月24日号 (雑誌) 須古清編 ▷ 50頁、グラフ・宣撫班活躍他、少シミ少疲 1942 大阪毎日新聞社 2,000
- 744 『サンデー毎日』1946年6月16・23日号 (雑誌) 須古清編 ▷ 22頁 / 並、松枝茂之「コレラ船の嘆き—或る復員船の記録」、少シミ少疲 1946 毎日新聞社 2,500
- 745 『サンデー毎日』1947年1月19日号 (雑誌) 須古清編 ▷ 21頁 / 並上、永井隆「原子病報告記」 / 熊澤復六「満洲に残った邦人」 / 大森寛一「地方文化の種をまく人々」他、少シミ少疲 1947 毎日新聞社 2,500
- 746 日中戦争直後 (1937年10～11月) 戦場色刷画五枚 (劉家行付近写生弾丸運搬少年兵之戦死他) ▷ 従軍画家皓生 / 24×27センチ台紙使用他、少シミ少疲 1937 180,000
- 747 大政翼賛会石川県支部常務委員会議事資料 (1943年5月) ▷ 供木運動 / 翼賛文化団体組織要綱 / 県健民運動協議会設置 / 石川県健民運動協議会委員 [名簿] / 石川県翼賛文化団体聯盟理事幹事名簿、石黒伝六旧蔵さえんびつ書 / 35頁分 / 封筒付 / 少シミ少疲 1943 大政翼賛会石川県支部 40,000
- 748 「翼壯」憲章—日本新政治の光芒 塩沢元次 ▷ 初カバ / 235頁 / 並上、「翼壯」は国民運動の中核なり他、少シミ経年劣化 1943 豊国出版社、発行者・藤谷芳三郎 2,500
- 749 『立志—興亜専門学校報國団誌』1943年2月創刊号 (雑誌) 石井正常編 / 菊池武夫他 ▷ 166頁、鳥有山人「通州の思出」 / 中原稔「興亜専門学校創立以前」 / 五條堀利男「満洲雑草 (宮口草)」 / 報國団規則及編成・部報 / 校内諸事一覽他、印 / 2頁ペン / 少シミ少疲背痛 1943 興亜専門学校報道部 48,000
- 750 支那事变記念写真帖—三田村部隊 輻重兵第九聯隊野戦酒保・記念写真帳編纂委員編 ▷ 厚さ1.7センチ / 並上、師管代表芸芸慰門団一行、少シミ少疲 1939年か 15,000
- 751 本校における強行遠足の意義と其の實際 篠原高三編 ▷ 53頁、ヤケシミ大疲大 / 資料ナラ可 1942 山梨県立甲府中学校 6,500
- 752 『家庭の手帖』1952年1月号 (雑誌) 長谷川国雄編 / 杉山吉良 / 河野鷹思 / 辻まこと / 岩崎ちひろ他 ▷ 293頁、妻のよるとひるの手帖、シミ疲 1952 自由国民社 1,500
- 753 菓草の實際 堀越清三 ▷ 78頁、ヤケ痛背パナレ 1943 満蒙開拓青少年義勇軍訓練所 4,000
- 754 『民衆と医師』1925年9月号 [発行地・神戸市] (雑誌) 遠藤信義編 ▷ 54頁、結婚と結婚及妊娠に就て / 尻池看護婦会を訪ふ他、ヤケ背痛 / トジ穴 1925 ピーエー社 4,000
- 755 結核初感染の臨床的研究—結核症の発生機序 (保健同人結核選書1) 千葉保之 / 所沢政夫 ▷ 154頁、「昭和十四年から六ヶ年約十万人の鉄道員を対象、戦時下の社会状態から、大多数は殆んど治療を加え得ない状態…」、帯6センチ裂 / ヤケ / 記名 1949 保健同人社 15,000
- 756 『伝統医学』が創られるとき—ベトナム医療政策史 小田なら ▷ 初カバ帯 / 316頁 / 並上、極少疲経年劣化 2022 京都大学学術出版会 2,800
- 757 『皇国』1929年8月 (368号) (雑誌) 照本宣編 ▷ 133頁 / 並上、全国神職会評議員会速記録他、少シミ少疲 1929 皇国発行所 3,500
- 758 『皇国』1929年10月 (370号) (雑誌) 照本宣編 ▷ 100頁 / 並上、4教化宣伝資料号、少シミ少疲 1929 皇国発行所 3,500
- 759 『皇国』1929年7月 (367号) (雑誌) 照本宣編 / 前田多門 / 河野省三他 ▷ 99頁、古本漫談他、少シミ少疲 1929 皇国発行所 4,500
- 760 『詩と歌謡と』1941年12月号 (雑誌) 鈴木章弘編 ▷ 56頁 / 並、今井十九二氏の思ひ出 / 鈴木章弘「古書巡礼」他、少シミ少疲 1941 詩と歌謡の社 2,000
- 761 薬物消耗品取扱及貯蔵法 (獣校教第9号) 陸軍獣医学学校 ▷ 重版裸本 / 84頁、個人印記名 / 少シミ少疲 1944 陸軍獣医学学校 1,500
- 762 軍陣病理学 (獣校教第12号) 陸軍獣医学学校 ▷ 重版裸本 / 総232頁、少シミ少疲 / 個人印記名 1944 陸軍獣医学学校 9,000
- 763 軍陣衛生学 (獣校教第13号) 陸軍獣医学学校 ▷ 重版裸本 / 201頁、ヤケシミ少疲 / 個人記名 1940 陸軍獣医学学校 6,000

- 764 化学兵器講義 (獣校教第10号) 陸軍獣医学
学校▷重版課本/229頁/記名印/書込甚
多数、デホスゲン/イペリット/ルイサイト
他、ヤケシミ疲 1944 陸軍獣医学校
20,000
- 765 『日新治療』1939年1月(252号)(雑誌)
三宅静成編/杉田直樹他▷昭和十三年度
医学各科回顧展望(特輯号)/戦時体制下
に躍進する結核病学界他、シミ少疲/印 1939
日新治療社 3,000
- 766 教練実施状況報告(1936年10月6日) 千
葉医科大学配属将校陸軍歩兵大佐・牧野正
三郎▷14頁、「本学学生生徒は多年馴致せ
られたる学風と…」、ヤケシミ疲 1936 千葉
医科大学配属将校陸軍歩兵大佐・牧野正三
郎 15,000
- 767 『日本旬報』1号(1951年7月)(雑誌)
久野邦雄編▷34頁、電力料金値上の真相を
衝く/浮ぶパーゾ解除者・潜る日共指導部/
闇に流れる60万の魂!それに費やされる30
億!墮胎医の実態、少シミ少疲/トジハズレ
1951 記者同人出版 3,500
- 768 『青松』1970年6月号「ハンセン病/らい
他」(雑誌) 縄田正直編/内田守人他▷
64頁、野島名誉園長追悼号他、少シミ少疲
1970 大島青松会 40,000
- 769 嗚呼満州東京報国農場(正誤表付)朝倉康
雅▷156頁、新京東京報国農場勤勞奉仕隊
帰還報告書他、少シミ少疲 1980 発行者・
朝倉康雅 22,000
- 770 地に星は瞬く 鈴木藤太郎▷初帯/323
頁/並、安田康「北京の思い出」/安養寺晴
美「李さん」/引揚げの子他、少シミ少疲
1950 甲文社、発行者・中市弘 2,500
- 771 『真理』1939年7月号(雑誌) 中島文鏡編
▷134頁/並、歩兵軍曹・平野忠三氏訪問記
「傷痍軍人更生物語」/新日本人の創造/家・
孟蘭盆/遺族誌上座談会他、少シミ少疲 1939
全日本真理運動本部 6,500
- 772 『真理』1939年9月号(雑誌) 中島文鏡編
▷126頁、時局は仏教に何を要求するか/宣
撫官・樹車道「隨筆・宣撫一年」/女は内か
外か他 1939 全日本真理運動本部 6,000
- 773 『真理』1939年11月号(雑誌) 中島文鏡
編/館残翁他▷126頁/並、事変下・家庭
の思想問題/北京だより/大谷篤子「頼と明
石海人」他、少シミ少疲 1939 全日本真理
運動本部 5,000
- 774 イタリア国民厚生運動―「勤勞の後」国民
運動 青木治朗▷初標本/114頁、少シミ
少疲 1943 安土書房、発行者・久保田兼治
8,500
- 775 公害の逃げ道を絶て!! 「富山化学の公
害輸出をやめさせる」実行委員会編▷36
頁/並、日韓市民による公害輸出反対運動の
はじまり/「実行委員会」明治大学グループ
のピラ他、経年劣化 1974 「富山化学の公
害輸出をやめさせる」実行委員会 4,000
- 776 猛毒クロムたれ流し企業日本化学は韓国へ
の公害輸出をやめろ!〈日本化学調査レ
ポート〉第2版 「富山化学の公害輸出を
やめさせる」実行委員会編▷20頁、少シ
ミ少疲 1974年か 「富山化学の公害輸出を
やめさせる」実行委員会 4,000
- 777 『月報・公害を逃すな!』1~91号(1974年
6月~1980年6月)、不揃76冊分 「富山化
学の公害輸出をやめさせる」実行委員会
編/(42号~)反公害輸出通報センター編
▷厚さ15センチ/並/1~4、6~14、16、18、
19、21~28、34~58、60~62、65~68、70、
71、73~85、87~91号、連絡先・自主講座分
室内/韓国への公害輸出を告発する/申京煥
君の「強制送還」を許すな!/朴政権が日本
化学蔚山工場稼働をOK!/韓国公害関係資料
集/特集・日韓条約10年を考える/特集・川
崎製鉄のフィリピン進出を許すな!/第3世界
への公害輸出を告発する/50号記念大特集一
バラオ/日本企業を告発するアジア民衆の
声/青山正「反公害輸出運動と私―4年間のた
たかいで感じたこと、考えたこと」他、少シ
ミ少疲 1974~ 「富山化学の公害輸出をや
めさせる」実行委員会 248,000
- 778 『武南だより一日本住宅公団東鳩ヶ谷団地
自治会会報』1~79号うち、不揃63部分
(1958年11月~1965年9月)〔発行地・埼玉
県〕(雑誌)▷厚さ1センチ/3号~針金合
本/月刊非売品/1~50、57、59、61、62、
65、72~74、76、77、79号、号外1960年6月22
日、1962年5月27日、有意義だより商店との懇
談会/商店側の悩み一地元と好みが違う/行
き場のない団地の汚水一農民が流出に反対/
私たちの生活と意見アンケート集計結果/
団地生活の倫理一創刊二周年記念応募論文/
自治会・二年目の歩み一ブタ屋騒動に沸く/
東団地つ子一覽/東団地の「町政刷新」決議
案/町長の即時辞職/「何があった」町長選
一団地の恥部にメス、ヤケシミ疲/3号分ヤケ
シミ疲大少欠 1958~ 埼玉県鳩ヶ谷町日本
住宅公団東鳩ヶ谷団地自治会事務局
85,000
- 779 国民と純血 北川正博 著▷初/総246
頁、業態者と性疾患/純潔生活の建設他、ヤ
ケ少疲/カバ痛/個人印 1943 目黒書店
5,000
- 780 隣保班名簿(第一班部) (昭和十五年十二
月以降)〔石川県/二塚村他〕▷30頁
分/肉筆他、隣保団体員名簿/配給、少シミ
少疲 1940~ 10,000
- 781 結婚調査の秘訣(良縁読本) 高田止戈夫▷
重版課本/506頁/並、結婚道浄化の急務/大
衆自身の調査時代/戸籍関係の公簿他、ヤケ
シミ少疲 1939 帝國秘密探偵社、発行人・
谷元二 3,800
- 782 主婦の訪欧日記◇新書 太田トシ▷137
頁/並、精神病院見学旅行/「ばか病院」と
街の子供に言はれながら、四児を育てあげた
妻への慰勞…」、少シミ少疲 1960 8,500
- 783 貞操の科学 筑紫英太郎▷125頁/並、処
女膜論/古来行はれた処女鑑別法他、少シミ
少疲 1946 東京講演会 2,500
- 784 妊娠・出産・婦人の病氣一切の相談(『婦
人倶楽部』1933年2月号付録)(雑誌)
新井兵吾▷256頁、ヤケシミ疲/不美
1933 大日本雄弁会講談社 800
- 785 婦人衛生宝典(『婦人友』1933年6月号
付録)(雑誌) 八代登編/吉岡弥生/竹
内茂代他▷456頁、処女性はどうして証明
されるか他、ヤケシミ少疲 1933 主婦之友
社 2,000

- 776 妊娠と安産と育児法 (『婦人之友』1937年2月号付録) (雑誌) 八代登編▷474頁、少シミ少疲 1937 主婦之友社 4,000
- 777 妊娠日の前知と分娩日の起算 (合本・婦人の手当) 高橋忠定▷重版裸本/総160頁、シミ少疲 1923 婦人体育会出版部 4,000
- 778 『婦人公論』1953年7月号 (雑誌) 藤田圭雄編▷268頁、本誌編集部・中村智子他▷農村に女性の幸福を求めて/座談会・産児調節の新しい道他 1953 中央公論社 2,000
- 779 歌集夜学生のうた—小川潤治歌集 (短歌人会叢書) 小川潤治著▷129頁/並上、昭和二十七年夏東京療養所入所/病中詠、極少疲経年劣化 1960 日本文芸社 25,000
- 780 『女性と経済』1961年2~7月号 (巻2~7号) 揃、6冊分 (専用バインダー付) (雑誌) 第一証券調査部編▷厚さ2センチ/A5判/並上、(経営者にさく)宝酒造の巻/円地と四松「新へそくり学講座」/特集・家庭の電化でレジャーを楽しむ/経営者にさく/東京芝浦電気巻/世界に名を馳すお料理のマスコット(経営者に聞く)味の素の巻他、極少疲 1961 第一証券 15,000
- 791 『女性研究』1957年11月 (創刊号) 森善次郎編▷234頁、世代研究/高級結婚ガイド/大山瑛子「もはや戦後ではない—売春禁止の功罪」/黄色い太陽の季節風—戦後十二年目の族/探偵家・佐藤みどり「女の不正直」他、ヤケ装疲 1957 女性研究社 4,500
- 792 『デカメロン』1950年5月号 (雑誌) 佃留雄編/吉原病院長・雪吹周他▷168頁、特集・パンパン他、少シミ少疲/記名 1950 竹内書房 2,500
- 793 『デカメロン』1949年12月号 (雑誌) 辻秀雄編/立石鐵臣他▷136頁、北林透馬「レズビアン」の娼婦/特集・性の町を行く他、少シミ背下2センチ欠 1949 竹内書房 1,000
- 794 秘帖 (歌集) 中河与一/齋藤昌三装▷重版/本体1946年版/和装/8丁、少痛/個人印 1946 臼井書房 1,200
- 795 『愛 [に] 輝 [く]』3号 (1928年1月) 愛国婦人会新潟県支部▷28頁、昭和二年産具給与及分娩料支給数各郡市別表/活動写真利用講演会、少シミ少疲 愛国婦人会新潟県支部 4,000
- 796 『銀鐘』1940年6月号 (25号) [鐘紡他] (雑誌) 嵯峨典祥編/東郷青児/深尾須磨子他▷68頁、洋装と身のこなし方他、少シミ背痛 1940 生活社 5,000
- 797 『週刊スリラー』1960年1~12号、ホボ揃11冊分 (3号欠) 専用バインダー合本1冊 (雑誌) 平本一方編/高木彬光/水上勉/久里洋二/表紙・長新太/森脇将光他▷厚さ6センチ/並上/1960年1月1、8・15、22、29日号、2月5、12、19、26日号、3月4、11、18日号、八月子からの少女接客婦周旋ルート/土門拳と筑豊のこどもたち/江戸川乱歩監修・短篇ミステリークイズ他、少シミ少疲 1960 森脇文庫 24,000
- 798 『週刊スリラー』1960年13~24号揃、12冊分専用バインダー合本1冊 (雑誌) 平本一方編/児玉誉士夫/高木健夫/森脇将光他▷厚さ6センチ/並上/1960年3月25日号、4月1、8、15、22、29日号、5月6、13、20、27日号、6月3、10日号、川内康範「新連載小説」/特別レポート・「黒ん坊バー」に売られた12人の娘たち/特集・売春禁止法三年目の彼女たち/通称「ホモ・バー」の馴染み客/「黒い混血児」を拒否した壁/売春の不感症地帯「静岡検番」の場合/「浅草家出人保護所」一週間の収獲/「水俣病諸説」の楽屋裏/第三のセックス「奇譚クラブ」の編集方針/すれすれタクシー繁盛記他、少シミ少疲 1960 森脇文庫 35,000
- 799 『週刊スリラー』1960年25~36号揃、11冊分専用バインダー合本1冊 (雑誌) 平本一方編/森脇将光他▷厚さ6センチ/1960年6月17、24日号、7月1、8、15、22、29日号、8月5、12、19、26日号、児玉誉士夫他▷緊急誌上公聴会—安保改定強行論者にあえて発言を求めろ/「現地ルポ」この「肌」でたしめめたオキナワ/ある交際クラブの勤務日誌—元経営者が公開した売春クラブのメモ/僕ら、「革命の継つ子」と呼ばれようとも—全学連主流派が訴える素っ裸の生活と意見/迷路地帯のキャッチ・バー—セックスが誘惑する盛り場の客引きブラン/「愉しなかった」ストリッパーの慰安旅行/「座ブトン売春街」の女たち—川崎市の旧赤線地帯にみる「ビール・おつまみ付き」売春/ベテラン女給の表章式/「街のダニ」が追い出されるまで—阿佐ヶ谷商店街の「街は自衛する」/〈特別レポート〉混血児—その傷つける記録—終戦十五年目の現実他、少シミ少疲/29号表紙欠/33号裏表紙・頁1枚欠/35号裏表紙欠・グラフィア2枚欠 1960 森脇文庫 25,000
- 800 『週刊スリラー』1960年37~47号揃、11冊分専用バインダー合本1冊 (雑誌) 平本一方編/森脇将光/児玉誉士夫他▷厚さ6センチ/見本印/1960年9月9、16、23、30日号、10月7、14、21、28日号/11月4、11、18日号、トルコ風呂のスペシャル料金/ハダカ出版の新しい波紋—氾濫するグラマー—画報誌に再び取締り旋風/黒線地帯の麻薬業者/ストリップ劇場の「学生さん」/恋人たちは星空の下で何を…—東京のアベック広場ベスト6の実態調査他、少シミ少疲/37号グラフィア1枚欠/39・44・45号裏表紙欠 1960 森脇文庫 25,000
- 801 母性と保健教育 (健民新書) 廣瀬興▷重版裸本/本書1945年6月発行/296頁、少シミ少疲/記名 1945 海洋社 3,500
- 802 ラッパを吹け (宮総自撰詩集1) [孔版]▷12頁、冬の詩一病み、数ヶ月が過ぎて、「日立病院501号」某氏旧蔵 少朱 1951 2,000
- 803 生理休暇はなぜ必要か (改訂版) 新日本医師協会東京支部編▷58頁/並、現場婦人労働者の声とアンケート調査の結果他、少シミ少疲 1971 新日本医学出版社 3,800
- 804 正しく平易な性教育 木村房博▷初裸本/121頁/並、優生法と避妊他、10頁分えんぴつ書/ヤケ少疲 1947 新興之日本社 1,000
- 805 青春のために太田典礼▷136頁、なぜ性教育が拒否されてきたか他、ヤケ疲/22頁分ベン 1948 文理書院 4,500
- 806 純潔教育基本要綱 (付・性教育のあり方) 文部省純潔教育委員会/社会教育連合会編▷46頁、ヤケシミ痛/記名 1949 印刷局 4,000

- 807 保健所に於ける保健婦事業 (1948年8月)▷ 92頁、性病患者との面接/退所患者指導他、シミ痛 4,000
- 808 『こども部屋』1970年6月号 (144号) (雑誌) 長尾忍編▷ 110頁、特集・教師、親、編集者が集まって「ハレンチ漫画をどう考えるか」/グラビヤ・紙芝居は生きている他、少シミ少疲 1970 こども部屋社 4,000
- 809 『漫画文芸』1963年5月号 (1巻4号) (雑誌) 高橋休四郎編/久里洋二/戸川昌子/中村立行他▷ 153頁、記名/少シミ少疲 1963 高橋書店 1,800
- 810 『漫画文芸』1963年6月号 (1巻5号) (雑誌) 高橋休四郎編/やなせたかし/久里洋二/多岐川恭他▷ 153頁、少シミ少疲 1963 高橋書店 1,500
- 811 『かたばみ』1962年9月~1968年2月うち、不揃55冊分 (32、36~42、44~52、54~65、67~89、91、93、94号) (雑誌) 西部百貨店総務部広報課編/大下宇陀児/西泉涉他▷ 厚さ18センチ/並/1963年2~9、11、12月/64年1~4月、5月1日、15日、7~12月/65年1~4、6、7、10~12月/66年1~12月/67年1~8、10月/68年1月号、女子寮訪問記/特集・西部百貨店三十八年上期作戦要務令/座談会「西部は今も私のお店」-「かたばみ」会員想い出を語る/池袋本店大火緊急特集号/店長・堤清二「社員の情熱と馬力に幹部は答えねばならない。」/特集・体験と抱負を語る前線幹部の座談会/岡本太郎他「TKOYMOモードはどうしたら可能か」/『かたばみ』50号記念特集一社社の躍進につれて社内誌もここまで成長しました/堤会長追悼特別号/辻井喬「私の女性観」/特集座談会「われらオリンピック商戦にかく闘えり」/「インターナショナル西部」の確立を目指して/堤清二「独創的なデパートへの道」/私たちが職場のトップニュース/特集・曲り角に立ちの百貨店/特集・堤会長一周忌を迎えて/特集・ああ結婚/西部レディのお花粧調査他/「かたばみ」はみなさんにこう読まれています一読者のアンケートから/管理者はこんな本を読んで勉強しています他、少シミ少疲トジ穴/個人印、少シミ少疲トジ穴/個人印 1962~西部百貨店 168,000
- 812 『実話特報』1956年12月号 (雑誌) 矢沢領一編▷ 318頁、売春婦は潜行する/赤線地帯の女はなぜ売春禁止法に反対するか/ムスメを輸出する横浜の麻窟街/終戦時の混乱記録他、少シミ少疲 1956 双葉社 3,500
- 813 『実話特報』1956年11月号 (雑誌) 矢沢領一編▷ 318頁、裁かれる太陽族/結婚相談所と名づく売春斡旋業/衛生器具/アンコ屋/わたしは「グリーン隊」がこわい他、少シミ少疲 1956 双葉社 2,500
- 814 『オール小説・増刊』1956年12月号 (雑誌) 田口澄編/火野葦平/松本清張他▷ 362頁、現代作家処女作特集/対談・銀座マダム多いに泳ぐ一織田作之助氏未亡人・織田昭子/坂口安吾氏未亡人・坂口三子代他、最終頁1枚6センチ裂/ヤケ少疲 1956 読切出版 15,000
- 815 『オール小説』1956年9月号 (1巻3号) (雑誌) 田口澄編/藤城清治/八木義徳/外村繁他▷ 310頁、石原裕次郎・小島信夫・小沼丹・曾野綾子他「特集・反逆する青春—アプレ・マンボ・太陽族」/特集・わが子「オキナワ」他、ヤケ少疲 1956 荒木書房 40,000

- 816 『オール小説』1956年11月号 (1巻6号) (雑誌) 田口澄編/城戸礼/古川緑波/松本清張他▷ 308頁、(第一特集) ロマンシートは空いている—第三の性と結婚への招待/座談会 (大宅壮一他)/深井迪子「春の雪」/(第三特集) お茶と同情と少年の同性愛「カツパ」と「アンコ」/作家・岩橋邦江他「対談・肉体だけが知っている」他、ヤケ少疲 1956 荒木書房 35,000
- 817 作業員と共に〔発行地・長野県篠ノ井市〕寺次俊雄▷ 82頁、「授産所新聞」について/内職と選挙他、少シミ少疲 1965 篠ノ井市授産所 8,000
- 818 『おきなわ』1950年4月~1955年3月 (通巻1~33~44号)、うち不揃35冊分 神村朝堅編/山之口猷他▷ 厚さ11センチ、1950年5~7、9~11月/51年1、2、4、11月/52年1、5~7、9、12月/53年3~6、8、9、12月/54年1、2、4、5、7、8、10~12月/55年1月、石垣島事件—郷土兵戦犯減刑運動報告書/芸能特集/領土問題号/本土在住沖繩出身児童・生徒作品集/教育座談会/婦人座談会/琉歌集/沖繩民謡集/釈道空他「島袋源七氏追悼号」/組踊名作集/ハワイのうつりを語る座談会(於ホノルル)/ハワイ同胞事業家座談会他、少シミ少疲/少えんぴつ 1950~おきなわ社 120,000

◎

- 819 『読書海』1917年1月号 (4巻1号) (雑誌) 斎藤藤次郎編▷ 34頁、記名/少シミトジハズレ気味 1917 文永館 4,000
- 820 『人間専科』1960年9月号 (雑誌) 鎗田清太郎編/真鍋博カウト他▷ 126頁、中野五郎「(特別記録読物) ナチス宣伝相—ゲッベルス博士」/特集・これが新聞だ!/座談会・政治記者のエンマ帖—池田政権を裸にすれば他、少シミ少疲 1960 人間専科社 6,800
- 821 この人がこゝに (私の経営哲学) 第1集 鈴木啓弘編/鈴木房康編▷ 初版本/243頁、徳間書店社長・徳間康快「日刊紙発行の夢未だ消えず」他、少シミ少疲 1968 近藤プロダクション出版局 10,000
- 822 大正も遠く1~6揃、6冊分 (大島政男肉筆本) (編集1973年~) 大島政男 (文と絵)▷ 厚さ10センチ、活動写真/紙芝居など/『少年倶楽部』のこと/幼少年雑誌(補)/月遅れの雑誌売りと付録売り/少女雑誌のこと/「金の星」について/大震災について/焼け跡ぐら/御大葬の歌他、ヤケシミ疲/トジハズレ 12,000
- 823 『全国新聞・切抜通信』案内書 岩本通信社▷ 6頁、岩本の「全国新聞切抜通信」の取材新聞一覧/特殊新聞/週刊誌/業界誌他、少シミ少疲 1960 岩本通信社 4,000
- 824 周藤勝彦宛新潮社編集部田辺孝治書簡3枚 (封筒付) (1965年1月21日)▷ 「どうも掲載できかねますので」他 1965 2,000
- 825 『新潮』1962年12月号 (雑誌) 斎藤十一編▷ 260頁/別刷・新潮社印税通知書付/全国同人雑誌推薦小説特集/灰谷健次郎「笑いの影『輪』」/人美勝彦「紙傘姉妹」/下界」/「西義之「開高健氏への手紙/鼓真砂子」「『下界』の風景」/寺島珠雄「同人雑誌か異人雑誌か」他、ヤケシミ疲 1962 新潮社 3,000

- 826 彩生会出品記録(1925年～)(1934～43年)・2冊(肉筆)〔金沢/加賀友禪/作家他〕森下冬声/金丸青郊〔水明か〕/村田与一他 ▶ 総158頁/会感想他、少シミ少疲 1925～ 55,000
- 827 同人雑誌『下界』・人美勝彦(周藤【さどう】勝彦)旧蔵書簡40通、ハガキ128枚木全円寿/宮林太郎(全国同人雑誌協会会長他)/稲葉真吾/津田亮一他 ▶ 厚さ9センチ、少シミ少疲 48,000
- 828 EL-Ktab(エル・クターブ)1 ジョン・フレチツク・ジョーンズ ▶ 85頁、邪淫の種々相他、少シミ装痛 1928 エロテック・ビビリオン・ソサイテイ上海支部 2,000
- ◎
- 829 『新読書』1957年12月号(雑誌) 吉野裕編/長谷川竜生/井上頼豊他 ▶ 64頁、田村栄「全国サークル誌を見るに―つばやきと叫びの交響楽」/記録・私たちのサークル(埼玉の文楽図書館)他、シミ痛 1957 新読書社 3,000
- 830 『百貨通信』1964年6月号(雑誌) 林信二郎他 ▶ 152頁、宣伝とギフトの仕入れ/カレンダー業界/団扇・扇子業界/マッチ燐工業界、少シミ少疲 1964 百貨通信社 12,000
- 831 小説14～18、22、23号、3枚〔新聞用達秋〕 ▶ 各54×38センチ、江見水蔭作/徳田秋声作/初山桜厓/一回読切、ヤケシミ疲/1枚余白6センチ裂 新聞用達社 12,000
- 832 蔵書原簿〔金沢/蔵書家/リスト他〕東京市立本郷図書館長・盛城礼蔵編 ▶ 初裸本/厚さ2.4センチ/石黒六旧蔵記名肉筆書物タイトル40頁分、和田万吉推賞、シミ疲 1918 日進堂 40,000
- 833 『新刊図書雑誌月報』1925年4～12月号(12巻4～12号)揃、9冊分合本1冊(雑誌) 大野孫平編 ▶ 厚さ2.5センチ、淡島寒月「明治十年前後の小説」/神代種亮「当世書物談義」/和田伝「長篇小説の一傾向について」他 1925 東京堂 16,000
- 834 『鉄塔』1933年1、2月号、2冊分(雑誌) 小林勇編/犬丸秀雄/庄司浅水他 ▶ 総146頁、少シミ少疲/古書店ラベル 1933 鉄塔書院 10,000
- 835 梢風記 村松喬編/狩野近雄/萱原宏一他 ▶ 箱/166頁/並、経年劣化 1970 村松喬 3,500
- 836 『別冊・潮<日本の将来>』1966年10月号(雑誌) 黒柳明編/加藤周一/松本清張/堀田善衛他 ▶ 330頁、総特集・新聞への提言/新聞界のタブーを切る(座談会)他、少シミ少疲 1966 潮出版社 6,500
- 837 老記者の思い出―随筆と歌集 鈴木悌三(紅村) ▶ 初カバ/121頁、共進会と博覧会/台湾神社参拝他、少シミ少疲 1969 山形市郷土研究会 4,000
- 838 松園印譜 ▶ 二色刷/50頁超/題箋残存、上海在住古物商旧蔵(山中商店関係者)、装欠/痛疲/資料ナラ可 福寿堂 12,000
- 839 機関紙・誌活動強化のために―アカハタ日刊実現へ! ▶ 29頁、戸別訪問でほんとうの話をしながら売ること/「こども会」は新聞を売るふん囲気をつくる、ヤケ少疲 1952年かアカハタ本局 4,000
- 840 農民運動でながいちばん大事な問題か(自由日本放送シリーズ第7集) ▶ 15頁、少シミ少疲/個人印 1955 新聞「自由日本放送」世界ニュース社 4,000
- 841 『街の図書館(東京都読書普及商業組合機関誌)』1955年11月(創刊号)(雑誌) 荒井欣一編/金森徳次郎/都崎友雄他 ▶ 45頁、ネオ書房・宮本雅弘「貸本屋はデフレの申し子ではない」、ヤケシミ少疲/記名 1955 東京都読書普及商業組合 6,000
- 842 『JCJ内報』7、9、10、12～18号、不揃10冊分(1970～73年)(雑誌) 日本ジャーナリスト会議 ▶ 厚さ4センチ/1970年11月/71年2、3、7、9、11月/72年2、5、6、10月、自民党のマスコミ対策/「中公」執筆拒否グループ解除か/同盟大会の舞台裏と新聞記者/広島市の「住民情報化システム」/なぜ、リーダース社は名簿を買い集めるか/沖繩テレビ調印の視聴率/「読書の秋」か「売書の秋」か出版流通・小売店の実状/緊急特集・西山記者起訴事件とジャーナリスト第一線記者座談会/資料・自衛隊番組年表他、記名/少シミ少疲 1970～ 日本ジャーナリスト会議 48,000
- 843 『映画演芸内報』1959年5月5日号(395号)(雑誌) 伊東玉之助編 ▶ 4頁、調整割当通達と各社の分布図が確定、少シミ少疲 1959 映画演芸内報社 3,500
- 844 1955年佐野女子高校図書館発行資料八点一括(図書館利用の契/図書館要覧/本校図書館設置調査/職員「雑誌購読組織」を設置する提案/第1学期図書館利用状況/「生徒から図書館への希望」と「図書館側の対策」/1955年度県費図書購入について/図書館委員会協議事項) 佐野女子高等学校図書館 ▶ B5・30頁、ヤケ疲/1枚折目裂 1955 佐野女子高等学校図書館 8,000
- 845 スライド・図書館の利用解説(在校生用本)(正誤表付)〔学校図書館他〕 佐野女子高等学校図書館 ▶ 73コマ、少ヤケ少痛 1955 佐野女子高等学校図書館 8,000
- 846 雑綴(佐野高等家政女学校)〔1943～47年/栃木県/戦時/敗戦後他〕 佐野高等家政女学校 ▶ 厚さ1.8センチ、男女中等学校夏制服申込に関する件/通学通勤者種別方面別調/慰問袋内容品価格調査表報告/感染病患者発生通報/鉄兜の鍋再生申込調査方の件依頼/白墨配給幹旋に関する件/英霊帰還に付送迎の件/愛林思想普及について、シミ疲 1943～ 佐野高等家政女学校 40,000
- 847 『月刊仕案内』1933年5月号(雑誌) 大谷久雄編 ▶ 198頁、東京金井絵本特別大正味表/全国問屋製作家案内、ヤケ痛/4枚頁製6センチ/表紙10×1センチ欠 1933 仕案内社 4,000
- 848 博運社扱(広告)(11×8センチ) ▶ 出版物・小荷物・商品一市内配達/内外装飾乗隊応求、経年劣化 1910年頃か 1,000
- 849 統制規格及価格表(1942年8月) 金沢市古物商組合 ▶ 45頁、珙珈鉄器、少シミ少疲 1942 金沢市古物商組合 4,000
- 850 私のなかの昭和史―回顧と展望 竹本孫一 ▶ 初カバ帯/253頁/並、「昭和十九年情報局出版課長、満洲国の民報処参事官…」/「厚生省」設置にも参画/民社党議員も、少シミ少疲 1982 荒地出版社 8,000

- 851 書店日記一文月奈津詩集〔発行地・高知市〕 文月奈津 / カバ / 91頁、お客様サービス/同人誌/返品/働くこととお書くと他、経年劣化 2001 ふたば工房 3,000
- ◎
- 852 出版文化研究博物館設立構想(案) 出版文化研究博物館設立準備委員会 ▶ 6頁/並、顧問一布川角左衛門/小保方宇三郎(光文社)他、経年劣化 1991年か 日本出版クラブ 2,000
- 853 『関西大学新聞』復刊第100号(雑誌) 小山好幸編 ▶ 66頁、大阪の同人雑誌小考/関西大学新聞復刊100号までの歩み他、個人印/少シミ少疲 1955年頃か 関西大学新聞会 2,000
- 854 『こだま(金沢大学附属図書館報)』1~80号(1970年9月~1985年7月)揃、80部分上製本合本1冊(雑誌) 宮孝一編/新谷賢太郎編/木羽敏泰編/金沢大学付属図書館編 ▶ 厚さ2センチ/並/中野文夫旧蔵極少えんびつ、柳川昇爾(南陽堂店主)「紙魚のつぶやき」/平沢一「寛文八年の林家の曝書」/近弥二郎(金沢市)「〈近八書房店主遺憶集〉加能真宗僧英伝出版の動機」/山森青規「実話小説家・石井一蛙」、少シミ経年劣化 1970~ 金沢大学附属図書館 60,000
- 855 図書館教育の歩み1960年度(小松市立南部中学校)〔石川県〕 小松市立南部中学校 ▶ B4判・26枚/肉筆、図書館調査〇読書生活について、少シミ少疲 1961 小松市立南部中学校 15,000
- 856 JCI五年の歩み(1960年2月19日JCI五周年記念の夕) ▶ 4頁、日本ジャーナリスト会議、少シミ少疲 1960 3,000
- 857 『ジャーナリスト』1960年10月号(42号) 日本ジャーナリスト会議 ▶ 4頁、浅沼虐殺に抗議する/宏池会が資金提供/岩さんと新聞記者—アバートの四畳半で/沼波新編編集部・田村義也「悲惨・死の谷間—筑豊の小ヤマを行く」 1960 日本ジャーナリスト会議 4,000
- 858 『ジャーナリスト(JCI日経・東京支部機関紙)』1965年12月(21号)(雑誌) JCI日経・東京支部 ▶ 20頁、暴力団松葉会事件/北京特派員の生活から/強盗事件以下の日韓デモ他、ヤケシミ少疲 1965 JCI日経・東京支部 3,000
- 859 『ジャーナリスト(日本ジャーナリスト会議共同支部機関誌)』1962年9月(28号)(別冊)「『ジャーナリスト』についてのお願ひ」(2枚)付(雑誌) 日本ジャーナリスト会議共同支部 ▶ 28頁、政局の波乱はこの一角から—賀屋登場の背景/長谷川才次氏「近ごろのマスコミ」を語る/「アジア反共大会」の準備すすむ他、シミ疲 1962 日本ジャーナリスト会議共同支部 4,000
- 860 『ジャーナリスト(日本ジャーナリスト会議共同支部機関誌)』1966年7月(47号)(雑誌) 日本ジャーナリスト会議共同支部 ▶ 29頁、特集「福島新体制」/「共同通信二十年」への疑問/新井直之「隠されすぎた真実原潜寄港報道」他、少シミ少疲 1966 日本ジャーナリスト会議共同支部 6,000
- 861 『ジャーナリスト(日本ジャーナリスト会議共同支部機関誌)』1967年1月(48号)(雑誌) 日本ジャーナリスト会議共同支部 ▶ 47頁、特集〈黒い霧〉付・自民党派閥一覧表/取材日記/スポーツ記者の目他、10頁分朱/ヤケ少疲 1967 日本ジャーナリスト会議共同支部 8,000
- 862 近代地域新聞からみた社会の実像—宮城県・白石実業新報を読む(東北アジア研究センター叢書69) 荒武賢一朗編著/阿部さやか編著 ▶ 359頁/並上、極少疲経年劣化 2021 東北大学東北アジア研究センター 2,800
- 863 「大虐殺の背景/73年8月ウガンダ民族解放戦線」(『太陽』1973年8月臨時増刊)(刑務所閲読許可証(7×6センチ/女舎)貼付)(雑誌) 馬場一郎編 ▶ 80頁、シミ疲 1973 平凡社 4,000
- 864 創作及著作権とは何ぞや—附・不祥なる挿絵問題とジャーナリズムの検討 中里弥之助 ▶ 厚さ1.2センチ、榎村君(榎原専一)に答ふ、ヤケ/トジサビハズレ 1934 隣人之友社 7,000
- 865 日本経済新聞—世界最大の経済紙 日本経済新聞マーケティング部編/松下幸之助/高橋亀吉他 ▶ カバ/281頁/並、大阪府岡島新聞社社長・岡島真蔵「創業の頃」/東西発行部数の推移他、少シミ少疲 1964 日本経済新聞社 1,000
- 866 泰山木—一場政信追悼集〔七尾市立図書館長他〕 一場政信追悼集出版委員会編/梶井重雄/笠師昇他 ▶ 207頁/並上、図書館元年として七尾市立図書館会館/「昭和三十一年頃生活記録を綴ろうと云う彼が、青年団活動の中で全国的に広まり、この七尾でも笠師昇氏の助言を…」、経年劣化 1991 七尾市立図書館内 6,000
- 867 『コミック・スーパ(サークル情報誌)』1984年2月(2号)〔発行地・大分市〕(雑誌) コミック・スーパ企画室 ▶ 57頁/並上、同人誌放談1984年/大分コミケ(1984年1月4日大分バルコ7F)/開け!これがアニメマイナー県ほんとうの実態、経年劣化 1984 COMIC LIFE WORKS. 6,000
- 868 即売会へ行こう!2/即売会へ行こう!3、2冊分(京阪探検記外伝/京阪神イベント会場ガイド!?) 如月竜 ▶ 総20頁、極少疲 1999 大阪探検隊CI・5 2,000
- 869 日本放送協会東海支部資料六種一括(1928年度予算及実費額、1929年度要求予算比較調書/1928年度追加予算/1929年度事業計画案/1929年度現在員に対する俸給予算内訳/1929年度取支予算案/1929年度増員俸給額調書(名古屋)) 日本放送協会東海支部 ▶ B5判/総78頁、少シミ少疲 1928~ 日本放送協会東海支部 35,000
- 870 聴取者に関する統計表(1928年12月末日調)〔ラジオ〕 日本放送協会東海支部 ▶ 10頁、新聴取者職業別表、少シミ少疲 日本放送協会東海支部 5,000
- 871 聴取者に関する統計表(1928年5月末日調)〔ラジオ〕 日本放送協会東海支部 ▶ 10頁、表紙欠/トジサビハズレ 1928 日本放送協会東海支部 2,500

- 872 聴取者に関する統計表 (1929年1月末日調) 『ラジオ』 日本放送協会東海支部▷10頁/並上、聴取者内訳一無料免除、経年劣化/トジサビハズレ 1929 日本放送協会東海支部 5,800
- 873 『月報』1928年6月(14号)(雑誌) 日本放送協会東海支部宣伝課▷19頁、宣伝/監視/相談/展覧会他、トジサビハズレ/少シミ少疲 1928 日本放送協会東海支部宣伝課 10,000
- 874 1929年度定員俸給額調書(金沢) 日本放送協会東海支部▷石黒伝六旧蔵封筒付/10頁、金沢放送局組織案、シミトジサビ 1929 日本放送協会東海支部 30,000
- 875 『月報』1929年1月(21号)/『月報』1929年2月(22号)、2部分(雑誌) 日本放送協会東海支部宣伝課▷総12頁、無届者職業別表、トジサビハズレ 1928 日本放送協会東海支部宣伝課 10,000
- 876 JOCK名古屋中央放送局放送梗概▷12頁/石黒伝六旧蔵少ベン書入、東海封筒付、放送開始三周年記念放送予定プログラム/10「キロ」放送準備感度試験成績表、少シミ少疲 6,500
- 877 髻の自休〔明治期/貸本アガリ〕 村上浪六▷重版裸本/厚さ1.2センチ/口絵、ヤケシミ疲大 1897 春陽堂 3,000
- 878 当世五人男のうち吉田雄蔵〔明治期/貸本アガリ〕 村上浪六▷重版裸本/厚さ1センチ/木版、ヤケシミ疲 1908 青木高山堂 4,000
- 879 二筋道(後編)〔明治期/貸本アガリ〕 広津柳浪▷重版裸本/厚さ1.2センチ、ヤケシミ痛甚大ソリ 1906 今古堂書店 6,000
- 880 金色夜叉前/中編、2冊分〔明治期/貸本アガリ〕 紅葉▷重版裸本/厚さ2センチ/口絵、ヤケシミ疲大 1905/1899 春陽堂 8,000
- 881 鉄仮面上編/下編、不揃2冊分〔明治期/貸本アガリ〕 黒岩涙香/町田浜雄編▷重版裸本/厚さ3.5センチ/木版、ヤケシミ大/「下」裏表紙欠 1897~ 扶桑堂 9,000
- 882 渦巻 中巻・下巻・続巻、3冊分〔明治期/貸本アガリか〕 渡辺霞亭▷各木版1枚付/厚さ5.5センチ、奥付欠/ヤケシミ疲大 隆文館 10,000
- 883 己が罪 中編/後編、2冊分〔明治期/貸本アガリ〕 菊池幽芳▷初裸本/厚さ3センチ/木版付、ヤケシミ疲大/虫喰 1901 春陽堂 18,000
- 884 日の出島(鶴亀の巻/高砂の巻/住の江巻/富士の巻)2~5巻、不揃4冊分〔明治期/貸本アガリ〕 村井弦齋▷初裸本/厚さ6.5センチ/各木版付、春陽堂書籍目録配布広告、ヤケシミ疲大 1897~ 春陽堂 24,000
- 885 元和豪傑石川紋弥〔明治期/貸本アガリ〕〔発行地・大阪〕 神田伯龍・講演/丸山平次郎・速記▷初裸本/厚さ1.2センチ/木版、ヤケシミ疲大 1902 中川玉成堂 40,000
- 886 夏子一愛と罪 前編/後編、揃2冊分〔明治期/貸本アガリ〕 菊池幽芳▷重版裸本/厚さ3センチ/木版付、ヤケシミ疲大/資料ナラ可 1906 春陽堂 25,000
- 887 明治性的珍聞史全三冊〔内容見本パンフレット〕 文芸資料研究会編輯部▷35頁、見本丈でも珍品也、ヤケシミ大/トジハズレ/資料ナラ可/1頁極少ベン 1926 文芸資料研究会 30,000
- 888 談奇館隨筆 一第三卷(香具師奥義書)/第四卷(同性愛の種々相)〔内容見本パンフレット〕 談奇館編輯局▷44頁、「色々の都合や策戦上、此種の書籍が十日や半月位遅れることは百も承知の上でお申込み願ひます…」、少シミ少疲 1929 文芸市場社 18,000
- 889 梅原北明氏一生一代の快著『続秘蔵指南』〔内容見本パンフレット〕▷8頁、少シミ少疲 1929年か、文芸市場社 5,000
- 890 『グロテスク』〔雑誌案内〕〔内容見本パンフレット〕▷16頁、「で、この臨時号は、凡ゆる意味に於て万遺漏れなきやう期するのために、本号に限り一部も書体は出しません。否、出されないのであります…」、ヤケ少疲 1929 談奇館書局 15,000
- 891 獵奇叢書〔内容見本パンフレット〕 日夏耿之介/西條八十他▷15頁/並上、国際文献刊行会責任者・伊藤竹静、極少疲経年劣化 1928 国際文献刊行会 20,000
- 892 巴里を一夜に席捲したるハッピーナイト(新輸入品)「愛の煙幕」(紳士用智識階級用妊調病毒予防具)(13×30センチ/ちらし)▷ゴムコンドームの弊害について/特約店・粹古堂、経年劣化 1935年か 3,000
- 893 軟派十二考全十二冊〔内容見本パンフレット〕 文芸資料研究会編輯部▷18頁/表紙色刷、「右のような変態新奇な会費払込方法を案出しました…」、少シミ少疲 1928年か、文芸資料研究会 12,000
- 894 資料絵入変態十二史〔内容見本パンフレット〕▷22頁、さて、自慢を少々申述候一文芸資料研究会の歴史や、世界稀覯書の綜合化/著者の苦心と出版者の努力、個人印 1928年か、文芸資料研究会 15,000
- 895 絵入変態文獻叢書〔内容見本パンフレット〕▷16頁、変態文獻叢書に対する文芸資料研究会の立場、少シミ少疲/個人印 1928 文芸資料研究会 10,000
- 896 世界奇書異聞類聚〔内容見本パンフレット〕▷20頁、計算を無視した道楽出版完奇書珍籍の特価提供、トジサビハズレ 1926年か、国際文献刊行会 5,000
- 897 日本猥談集〔内容見本パンフレット〕▷20頁、坂田俊夫「猥談のために弁ず」、少シミ少疲 1928 潮文閣 5,000
- 898 特別番外出版報告!モダン・カアマスウトラの出現!!一補精学〔内容見本パンフレット〕▷4頁、少シミ少疲 国際文献刊行会/伊藤竹静 3,000
- 899 解説変態十二史〔内容見本〕▷20頁/谷沢永一旧蔵、「成るたけくだらしない人には頒けられない方針です。此叢書のために感化され刺戟されて、脱線や妄動をされては困るんですから、本統の人格者だけにお譲りいたします。大正十五年四月廿日…」、少シミ少疲/2頁少ベン 1926 文芸資料研究会 3,000
- 900 近代犯罪科学全集〔内容見本パンフレット〕 松井茂/菊池寛他▷16頁/並上、少シミ少疲 1929年か、武井閣 10,000

- 901 フロッキー／恋の百面相〔世界好色文献叢書〕、合本〔内容見本パンフレット〕▷ 8頁、少シミ少疲 1929 日本文献書房／高原史郎 3,500
- ◎
- 902 『新文学』1949年1月号 齋藤菊太郎▷ 116頁、発行者田中秀吉、ヤケ疲／背欠 1949 全国書房 800
- 903 『文章倶楽部』1954年3月号 牧野武夫▷ 110頁、手帖（谷川俊太郎）／伊達得夫／合評今月の応募詩から（鮎川信夫・谷川俊太郎）、ヤケ少痛 1954 牧野書店 9,000
- 904 『文章倶楽部』1955年6月号 牧野武夫▷ 102頁、感動と伝達の問題（鮎川信夫・谷川俊太郎）／新鋭女流詩人抄他、シミ少疲 1955 牧野書店 9,000
- 905 『文章倶楽部』1954年4月号 牧野武夫▷ 102頁、私の小説観（安部公房）／『文章倶楽部』6年の歩み／詩雑誌月評（中村稔）／同人雑誌評（天城肇一）他、少シミ少疲 1954 牧野書店 6,500
- 906 『文章倶楽部』1952年7・8月号 牧野武夫▷ 96頁、徳田秋声研究局／川端康成／徳田一穂／作家訪問・浅見淵他、ヤケ／ヤケ少疲／背欠 1952 文章倶楽部社 6,500
- 907 『文章倶楽部』1952年12月号 牧野武夫▷ 88頁、ヤケ大／表紙綴じ外れ／不美 1950 文章倶楽部社 3,500
- 908 『文章倶楽部』1950年10月号 牧野武夫▷ 88頁、青春彷徨一文科より理科へ（柳澤健）／生活に真実な詩を（竹内てるよ）／作家訪問記・吉川英治氏他、背痛／少シミ少疲／個人印 1950 文章倶楽部社 2,500
- 909 『文章倶楽部』1950年6月号 牧野武夫▷ 96頁、観潮楼の跡に立ちて（佐藤春夫）／科学小説一むづかしいがのぞましい（木々高太郎）／作家生活訪問・井伏鱒二氏一病床よもやま／相聞秀歌一投書短歌より（鈴木寛）他、少シミ少疲 1950 文章倶楽部社 4,000
- 910 『文章倶楽部』1955年4月号 牧野武夫▷ 102頁、対談現代詩は難解か（鮎川信夫・谷川俊太郎）／「改造」問題の焦点一文壇時評／詩コンクール入選詩集（石原吉郎）他、ヤケシミ少疲／表紙ペン書 1955 牧野書店 8,000
- 911 『文芸首都』1954年8月号 保高德蔵▷ 128頁、文芸首都新人賞と細則／全国同人雑誌評他、少シミ少疲 1954 文芸首都社 1,000
- 912 『文章倶楽部』1956年6月号 牧野武夫▷ 102頁、文学と私の生き方一生活のなかからなぜ書かねばならないか／現代詩教室（伊東信吉・鮎川信夫）／グループだより他、ヤケ少疲 1956 牧野書店 4,000
- 913 『文章倶楽部』1956年1月号 牧野武夫▷ 94頁、特集1私は小説をこう読む／特集2現代詩に何を求めるか／詩と生活の結びつき方（鮎川信夫・谷川俊太郎）他、少シミ／背痛 1956 牧野書店 6,500
- 914 『文章倶楽部』1955年12月号 牧野武夫▷ 94頁、55年の詩壇展望（鮎川信夫・谷川俊太郎）／俳句教室（秋元不死男）他、少シミ少疲／2頁極少ペン 1955 牧野書店 8,000
- 915 『文章倶楽部』1955年11月号 牧野武夫▷ 102頁、遠藤周作訪問記 読者における言葉一小説教室（丹羽文雄）／現代詩教室（鮎川信夫・谷川俊太郎）他、少シミ少疲 1955 牧野書店 9,000
- 916 『文章倶楽部』1954年11月号 牧野武夫▷ 102頁、同人誌最高の作品一人雑誌月評（朽木寒三）／石原吉郎／読者と編集者の頁他、少シミ少疲 1954 牧野書店 4,000
- 917 『文章倶楽部』1955年9月号 牧野武夫▷ 102頁、グループだより（三多摩支部他）／仮装の市一10年前の終戦直前の上海の状況を描く（小泉譲）／対談現代詩の実作指導（鮎川信夫・谷川俊太郎）他、少シミ少疲 1955 牧野書店 9,000
- 918 『塔』1949年4月号（1巻4号） 堀木克三▷ 96頁、丸山幹治／犬田卯／所武雄他、少シミ少疲 1949 羽田書店 1,200
- 919 『現代一早稲田大学第一文学部学生会機関誌』1957年10月号 清本湧司▷ 112頁、特集戦争と人工衛星／表紙原弘／大槻健／鶴見俊輔／安部公房／岡本太郎他 1957 早稲田大学第一文学部学生会 8,000
- 920 『新興婦人』1940年5月号 相馬基▷ 68頁、表紙宮本三郎／汪政権の成立その他（阿部眞之助）／高村光太郎／河崎なつ／石上玄一郎／朝鮮の女（金史良）／吉岡彌生女史に国民優生法案（断種法）について訊く他、ヤケ疲／頁10枚下部4×4センチシミ痛 1940 日本婦人連盟 8,000
- 921 『読物朝日』（『家庭生活』1950年9月臨時増刊） 奥山武生▷ 192頁、吉原病院長が身を以て綴る悩める夜の天使の悲しき愛欲絵図／家庭生活／林房雄他、少シミ少疲 1950 家庭活字社 2,000
- 922 『エコー』1940年6月号（394号） 長田恒雄▷ 32頁、平野止夫／I SEE ALL（北園克衛）／イカルス（稲垣足穂）他、少シミ少疲 1940 三省堂書店 20,000
- 923 『エコー』1937年9月号（361号） 亀井寅雄▷ 32頁、創作・忘れ物（新田潤）他、少シミ少疲 1937 三省堂書店 10,000
- 924 『エコー』1937年10月号（362号） 亀井寅雄▷ 32頁、創作・鳳祥（小田巖夫）／レビュー時評松竹と宝塚（水城冨子）他、少シミ少疲 1937 三省堂書店 10,000
- 925 『エコー』1937年11月号（363号） 亀井寅雄▷ 32頁、秋・美術（北園克衛）／軍歌くらべ（弓矢八郎）／少女歌劇月旦（水城冨子）／推薦図書（長谷川己之吉）他、少シミ少疲 1937 三省堂書店 12,000
- 926 『エコー』1937年12月号（364号） 長田恒雄▷ 32頁、レビュー時評（水城冨子）／新劇点描（田所太郎）／創作・片ちゃんばの靴（稲垣足穂）他、少シミ少疲 1937 三省堂書店 35,000
- 927 『エコー』1938年1月号（365号） 長田恒雄▷ 48頁、スキー特集／表紙写真土門拳／伊藤整／創作・深夜の恋人（石川淳）／エコーお便り（神戸市／中桐雅夫）他、綴じサビ外れ／シミ痛大／資料なら可 1938 三省堂書店 15,000
- 928 『エコー』1938年5月号（369号） 長田恒雄▷ 32頁、表紙写真土門拳／村野四郎／衣巻省三／出征した彼一コント（武野武介）他、少シミ少疲 1938 三省堂書店 10,000